

---

宮城第一高改築設計  
公募型プロポーザル 実施要項

---

平成 30 年 8 月  
宮城県土木部営繕課

## 目 次

I	本プロポーザルの背景及び目的	1
1	本プロポーザルの背景	
2	本プロポーザルの目的	
II	一般事項	1
1	名称	
2	主催者	
3	趣旨	
4	選定方式	
5	事務局	
III	参加申込者の資格要件等	1, 2
1	参加申込者の資格要件	
2	参加申込者の参加形態	
IV	評価・選定	2, 3
1	判定委員会	
2	評価・選定方式	
3	選定結果の発表	
4	技術提案をを求める評価テーマ	
V	手続等	3, 4
1	実施要項の入手	
2	参加申込等	
3	現地見学会	
VI	プロポーザルの日程（予定）	4
VII	設計業務委託	4, 5
1	業務委託契約	
2	業務内容	
3	設計業務委託料	
4	管理技術者等	
VIII	著作権及び提出図書の取扱い	5
1	著作権の帰属	
2	技術提案書の取扱い	
IX	経費の負担	5
X	失格	5
XI	その他	5, 6

---

別添 1 宮城第一高改築設計公募型プロポーザル 参加申込書・技術提案書作成要領  
様式関係

別添 2 宮城第一高改築設計公募型プロポーザル 評価・選定基準

別添 3 宮城第一高改築設計 計画概要書  
別表・別図・別添資料・参考資料

## I 本プロポーザルの背景及び目的

### 1 本プロポーザルの背景

宮城第一高等学校の現在の校舎や屋内運動場は、第一女子高等学校の建物として建築されたが、県立学校の男女共学化に伴い平成20年度から男女共学校の建物として使用しています。校舎は昭和41年から44年、屋内運動場は昭和46年の建築であり、老朽化が著しいことから、生徒・教職員等の安全を確保するとともに、進学重視型単位制のような学校の特色が活かされる施設の整備による学習効果の向上及び男女共学に対応した魅力的な学習環境の整備による学習意欲の向上等を図るため、当該校舎及び屋内運動場等の改築事業を実施することになりました。

### 2 本プロポーザルの目的

本プロポーザルは、宮城第一高改築設計業務に当たり、選定方法の公平性等を確保しつつ、上記方針の下で、より優れた設計者を選定するため、公募型プロポーザル方式により広く提案を求め、この業務に最も適した設計業務委託候補者(以下「設計候補者」という。)を選定することを目的とします。

## II 一般事項

1 名 称 宮城第一高改築設計公募型プロポーザル

2 主催者 宮城県

3 趣 旨 本プロポーザルは、具体的な設計案を求めるものではなく、設計候補者の選定のために必要な技術提案書の提出を求めるものです。

4 選定方式 本プロポーザル方式は、公募型とし、2段階の選定方式とします。

5 事務局 宮城県土木部営繕課

担当：企画調査班

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL：022-211-3264

FAX：022-211-3190

E-Mail：[eizenp@pref.miyagi.lg.jp](mailto:eizenp@pref.miyagi.lg.jp)

営繕課ホームページ(以下「営繕課HP」という。)：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/eizen/>

## III 参加申込者の資格要件等

### 1 参加申込者の資格要件

本プロポーザルに参加を申し込む建築設計事務所(以下「参加申込者」という。)の必要な資格は、参加申込日において次の各号に該当することです。なお、参加できる者は、単体企業とします。

(1) 宮城県建設関連業務指名競争入札参加資格承認者名簿(業種「建築設計」に限る。)に登録されたA等級の格付けを有する者であること。

(2) 宮城県内に本社(店)、支社(店)又は営業所があること。

(3) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者であること。

(4) 宮城県建設工事入札参加登録者等指名停止要領に基づく入札参加指名停止措置を受けていな

い者であること。

- (5) 建築士法(昭和25年法律第202号)第23条の規定に基づく一級建築士事務所の登録を受けている者であること。

## 2 参加申込者の参加形態

- (1) 設計は、管理技術者及び総合、構造、電気、機械の各業務分野を分担する主任担当技術者から構成される「設計チーム」によって行うこと。
- (2) (1)に規定する「設計チーム」の構成員のうち管理技術者を含む2名以上は、参加申込者に所属する一級建築士とすること。
- (3) (1)に規定する「設計チーム」の構成員のうち(2)に規定する一級建築士以外の者は、参加申込者以外の事務所に所属する技術者とすることができる。ただし、「設計チーム」の構成員が他の「設計チーム」の構成員を兼ねることはできない(※参加申込者において各構成員へ他の「設計チーム」の構成員となっていないことを確認すること)。
- (4) 同一の参加申込者からの設計チームは、1チームに限ること。

## IV 評価・選定

### 1 判定委員会

技術提案書の審査は、宮城第一高改築設計公募型プロポーザル判定委員会(以下「判定委員会」という。)が行います。

判定委員会は、次の判定委員5名により組織されます(五十音順、敬称略)。

- 石井 敏 (東北工業大学工学部建築学科 教授)  
佐々木 章一 (国土交通省東北地方整備局営繕部 整備課長)  
高橋 剛彦 (宮城県教育庁 教育次長)  
三浦 俊徳 (宮城県土木部 技監兼次長(技術担当))  
吉野 隆 (宮城県宮城第一高等学校 校長)

### 2 評価・選定方式

#### (1) 第1段階

判定委員会が、宮城第一高改築設計公募型プロポーザル評価・選定基準(以下「評価・選定基準」という。)(別添2参照)に基づき参加申込書の内容を評価し、参加申込者の中から評価得点上位5位までをプロポーザルの提案予定者(以下「プロポーザル提案者」という。)として選定し、技術提案書の提出を求めます。

ただし、第5位が複数の場合は、全てプロポーザル提案者に含むものとし、応募者総数が5者以下の場合は、全ての応募者をプロポーザル提案者とします。

#### (2) 第2段階

判定委員会の会議(以下「判定会」という。)において、プロポーザル提案者から技術提案書の内容についてヒアリングを行った上で評価・選定基準に基づき評価し、最高得点者を設計候補者として選定します。また、評価得点順位2位の者を次点候補者とします。

なお、ヒアリングの実施方法については、プロポーザル提案者に対して別途通知します。

### 3 選定結果の発表

第1段階の選定結果については平成30年9月25日(火)午後4時(予定)に、第2段階の選定結果については平成30年10月24日(水)午後4時(予定)に、それぞれ営繕課HPに掲載します。

#### 4 技術提案を求める評価テーマ

- 課題1 敷地の有効活用と既存施設を考慮した配置計画の考え方
- 課題2 進学重視型単位制など学校の特色に対応するため設計上考慮すべき事項
- 課題3 地域の特色を活かした意匠上の考え方

### V 手続等

#### 1 実施要項の入手

本プロポーザルの参加申込方法等を含む実施要項は、営繕課HPから出力してください。

#### 2 参加申込等

##### (1) 参加申込書等（様式－1～2）

本プロポーザルの参加申込者は、参加申込書・技術提案書作成要領(別添1)に従い、参加申込書(様式－1)及び「設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書」(様式－2)を提出してください。

- ① 提出場所：事務局
- ② 期 間：平成30年8月22日(水)から平成30年9月7日(金)まで  
土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前10時から午後4時まで  
郵送の場合は、平成30年9月6日(木)の消印のあるものまで有効としますが、到着の有無を必ず事務局まで確認願います。
- ③ 提出方法：持参又は書留による郵送とします。封書には「宮城第一高改築設計プロポーザル 参加申込書在中」と朱書きしてください。

##### (2) 技術提案書（様式－3，4－1～4－3）

技術提案書を提出できるのは参加申込者のうち第1段階で選定されたプロポーザル提案者とし、判定委員会から技術提案書の提出要請の通知(以下「要請通知」という。)を行います。

- ① 提案書：1チームにつき1提案に限ります。
- ② 提出場所：事務局
- ③ 期 間：平成30年9月25日(火)から平成30年10月12日(金)まで  
土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前10時から午後4時まで  
郵送の場合、平成30年10月11日(木)の消印のあるものまで有効。
- ④ 提出方法：持参又は書留による郵送とします。封書には、「宮城第一高改築設計プロポーザル 技術提案書在中」と朱書きしてください。

##### (3) 質問書（様式－5）

本プロポーザルの参加申込書及び技術提案書についての質問は、質問書(様式－5)により提出してください。

- ① 提出場所：事務局
- ② 期 間：平成30年8月22日(水)から平成30年8月30日(木)まで  
土曜日、日曜日及び休日を除く日の午前10時から午後4時まで
- ③ 提出方法：持参又は郵送とし、郵送の場合は、提出期間末日必着とします。
- ④ 回 答：平成30年9月6日(木) 午後4時(予定)  
営繕課HPに掲載します。  
なお、質疑事項の内容により回答できない場合があります。

### 3 現地見学会

参加希望者を対象に、次のとおり現地見学会を実施します。

- ① 見 学 日：平成30年8月29日（水）
- ② 行 程：14：00～15：00 宮城第一高等学校 見学
- ③ 注意事項：
  - ・参加希望者は、当日13：55までに宮城第一高等学校 秋桜館1階会議室に集合してください。
  - ・参加人数は、1チームにつき2名までとします。
  - ・駐車場の台数に限りがありますので、駐車は1チーム1台までとしてください。
  - ・現地見学会参加中に発生した参加者の事故等について、県は一切責任を負いません。
  - ・参加希望者及び参加申込者を対象とした現地見学の機会は、本見学会のみとなります。

### VI プロポーザルの日程（予定）

平成30年 8月10日(金)	: 第1回プロポーザル判定会
平成30年 8月22日(水)	: 実施要項の公表(営繕課HPに掲載)
平成30年 8月22日(水)	: 参加申込書等の提出
～ 9月 7日(金)	
平成30年 8月22日(水)	: 参加申込書等に関する質問書の提出
～ 8月30日(木)	
平成30年 8月29日(水)	: 現地見学会
平成30年 9月 6日(木)	: 質問に対する回答
平成30年 9月 7日(金)	: 参加申込締切(郵送は前日消印有効)
平成30年 9月25日(火)	: 第1段階選定結果の公表(営繕課HPに掲載) 及びプロポーザル提案者への要請通知
平成30年 9月25日(火)	: 技術提案書の提出
～ 10月12日(金)	
平成30年10月12日(金)	: 技術提案書提出締切(郵送は前日消印有効)
平成30年10月23日(火)	: ヒアリング及び第2回プロポーザル判定会
平成30年10月24日(水)	: 第2段階選定結果の通知・公表(営繕課HPに掲載)
平成30年12月 下旬	: 契約締結予定

### VII 設計業務委託

#### 1 業務委託契約

設計候補者との間で設計業務委託契約（随意契約）を締結することを基本とします。

#### 2 業務内容

(1) 業務委託名 宮城第一高改築設計業務委託

(2) 業務概要

① 校舎新築設計	延べ面積	約 8,260㎡
屋内運動場新築設計	延べ面積	約 1,970㎡
その他附属建物等新築設計	延べ面積	約 1,030㎡
	合計 延べ面積	約11,260㎡

(基本・実施設計、敷地全体の土地利用計画を含む。)

- ② 仮設建物等建設設計
  - ③ 既存校舎棟等解体設計
- ※建築設備・外構設計を含む。

(3) 履行期限

- ① 校舎・屋内運動場・その他附属建物等新築設計 平成32年12月22日 (予定)
- ② 仮設建物等建設設計 平成31年 9月下旬 (予定)
- ③ 既存校舎棟等解体設計 平成32年 3月下旬 (予定)

### 3 設計業務委託料

業務に対する設計業務委託料は、県が定める方法により算出した額を上限とします。

### 4 管理技術者等

本業務委託の受託者の管理技術者及び各業務分野の担当者は、設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書(様式-2)に記載した設計チームの管理技術者及び各業務分野の主任担当技術者をそれぞれ選任するものとします。

## VIII 著作権及び提出図書取扱

### 1 著作権の帰属

提出された技術提案書の著作権は、参加申込者に帰属するものとします。

なお、著作権が第三者に帰属する著作物の使用の責は、参加申込者に全て帰するものとします。

### 2 技術提案書の取扱い

前項の規定にかかわらず、本プロポーザルに関する公表、展示及びその他県が必要と認める場合に、県は提出された技術提案書を無償で使用することができるものとします。

## IX 経費の負担

参加申込者が本プロポーザルの参加(技術提案書の作成及び提出を含む。)に要した全ての経費は、参加申込者の負担とします。

## X 失 格

次の各号に該当した場合は、失格となる場合があります。

- (1) IIIの参加申込者の資格要件等に違反した場合
- (2) 提出書類に虚偽の記載をした場合
- (3) 「実施要項」の基本的な条件に違反した場合
- (4) 参加申込書提出後、宮城県建設工事入札参加登録者等指名停止要領に基づく入札参加指名停止措置を受けた場合

## XI その他

- (1) 県は、VIII 2 の場合を除き、提出書類を無断で使用しないものとします。
- (2) 県は、設計候補者の選定を行う作業に必要な範囲において、提出書類の複製を製作することがあります。
- (3) 「設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書」(様式-2)に記載された管理技術者及び各主任担当技術者は、病気、死亡等極めて特別の理由があると認められた場合を除き、変更することはできません。
- (4) 提出された書類は、返却いたしません。

- (5) 書類等の作成において使用する言語, 通貨, 時刻及び単位は, 日本語, 日本円, 日本の標準時及び計量法(平成4年法律第51号)に規定された単位に限ります。
- (6) 設計候補者及び次点候補者は選定の通知後, 技術提案書の電子データを提供していただきます。
- (7) 提出された書類の訂正, 差し替えは, 認められません。
- (8) 提出された書類の内容により, 必要に応じ追加資料の提出を求めることがあります。

# 宮城第一高改築設計公募型プロポーザル 参加申込書・技術提案書作成要領

## 1 参加申込書

### (1) 参加申込書（様式—1）

#### イ 「参加申込者」欄について

- (イ) 参加申込者は、実施要項 Ⅲ「1 参加申込者の資格要件」を満足する建築士事務所名を記載して下さい。
- (ロ) 押印欄は、当該建築士事務所の開設者が法人の場合は当該法人の社印及び代表者印を、個人の場合は当該個人の印を押印して下さい。

### (2) 設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書（様式—2）

#### イ 「参加申込者」欄について

- (イ) (1) イに同じ。

#### ロ 「一級建築士事務所登録」「管理建築士（一級建築士）」欄について

- (イ) 参加申込者である一級建築士事務所の登録番号、登録年月日及び有効期限を記入すること。
- (ロ) 当該事務所の管理建築士の一級建築士登録番号、登録年月日及び氏名を記入すること。

#### ハ 「【設計チーム】 資格・CPD単位取得実績」欄について

- (イ) 管理技術者予定者及び各主任担当技術者予定者について、それぞれ氏名及び所属事務所・役職を記入すること。
- (ロ) 「専門分野の技術資格」欄は、管理技術者予定者及び各主任担当技術者予定者について、資格の名称、登録番号及び登録年月日を記入すること。
- (ハ) 「CPD単位取得実績」欄については、以下のとおりとします。
  - a 建築CPD運営会議（事務局：（公財）建築技術教育普及センター）を構成する各団体が主催した講習会等で参加申込書の提出期限から過去1年以内に発行されたCPD単位取得証明書等に記載されたCPD（継続能力/職能開発）の単位について記入すること。
  - b CPDを取得した団体の名称、当該団体の推奨単位数、当該団体での取得単位数及び当該取得単位数を当該団体の推奨単位数で除した値(%)を記入すること。
  - c 推奨単位数は、制度（参加申込者独自の制度及び推奨単位を定めていない制度を除く。）を定めている当該団体が示す値とすること。

#### ニ 「【設計チーム】 設計業務実績」欄について

- (イ) 今回の設計業務実績の対象とする施設の用途は、学校（幼稚園を除く。）の校舎と屋内運動場とします。ただし、校舎が含まれていない場合は、対象としません。

※ 校舎、屋内運動場の定義は、公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目によります。

- (ロ) 設計業務実績は、一つの施設についての基本設計と実施設計の両方を行った場合を1件とします（一つの施設についての設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれている場合は、両方を記載（添付書類共）すること）。

- (ハ) 改修工事（耐震補強工事を含む。）及び模様替工事の設計業務は、今回の設計業務実績とはしません。

- (ニ) 設計業務実績については、平成20年4月1日以降に完了した業務についていずれか1件のみを記入すること。

- (ホ) 記入上の留意事項については、以下のとおりとします。

- a 業務委託名称欄には、その設計業務の業務名称を記入すること。
- b 一つの施設についての設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれている場合は、業務委託名称及び履行期間については、上下2段にそれぞれ記入することができる（設計業務委託が基本設計と実施設計に分かれていない場合は、1段のみの記入で可）。
- c 工事種別欄には、新築、増築、改築のいずれかを記入すること。
- d 規模欄には、上記（イ）で対象としている施設の用途に供する新築、増築、改築工事に係る部分の床面積(m<sup>2</sup>)を記入すること。

e 立場欄には、設計業務における役割分担における管理技術者、主任技術者、担当技術者等の別を下記の例により記入すること。

- ・管：管理技術者
- ・主：主任技術者
- ・担(総)：担当技術者(総合)
- ・担(構)：担当技術者(構造)
- ・担(電)：担当技術者(電気)
- ・担(機)：担当技術者(機械)

#### ホ 資格・CPD単位取得実績・実績等を証明する書類について

(イ) 資格、CPD単位取得実績及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類を必ず添付すること。

(ロ) 資格及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類は、以下のものを参考とすること。

- a 資格欄に記載した内容を証明する書類
  - ・各資格の免許状その他の証明書の写し
- b CPD単位取得実績欄に記載した内容を証明する書類
  - ・各団体又は建築CPD運営会議が発行するCPD単位取得証明書等の原本の写し（ホームページ等の画面の印刷は不可とする）
- c 設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類
  - ・契約書の写し
  - ・当該契約に係る物件の図面（設計概要が判別できる程度のもの）
  - ・建築士法第24条の4に基づく帳簿の写し
  - ・管理技術者、主任技術者等の通知書の写し等

※ 証明書類の内容確認の結果、設計業務実績が記載内容どおりと認められない又は確認できない場合は、その部分の記載を修正又は削除して評価します。

#### ヘ 「【設計事務所】設計業務実績」欄について

(イ) 設計業務実績については、当該事務所が委託契約等を締結した(2)ニ(イ)で対象としている施設の用途における設計業務のうち平成20年4月1日以降に完了した、いずれか2件を記入すること。

(ロ) 記入上の留意事項については、(2)ニに準じる。

#### ト 事務所登録・実績等を証明する書類について

(イ) 一級建築士事務所登録を証明する書類(登録通知書等)を添付すること。

(ロ) 設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類を必ず添付すること。

(ハ) 資格及び設計業務実績欄に記載した内容を証明する書類は、(2)ホに準じる。

※ 証明書類の内容確認の結果、設計業務実績が記載内容どおりと認められない又は確認できない場合は、その部分の記載を修正又は削除して評価します。

### (3) 提出部数 1部

## 2 技術提案書

### (1) 業務実施方針(様式—3)

業務の取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項(様式—4—1～4—3に記載する内容を除く)、その他の業務実施上の配慮事項について記載して下さい。

### (2) 課題に対する提案(様式—4—1～4—3)

別添3「宮城第一高改築設計 計画概要書」を基に、実施要項IV「4 技術提案を求める評価テーマ」の課題1～3について提案して下さい。

### (3) 提案書作成上の留意事項

提案書の作成には、以下の事項に留意して下さい。

- ① 提案書は、業務実施方針(様式—3)についてA4判縦1枚、課題に対する提案(様式—4—1～4—3)についてA3判横1枚とし、各8部を提出して下さい。
- ② 説明文字の大きさは、9ポイント以上の大きさと作成して下さい。また、各提案には、カラーコピーを用いても構いません。

- ③ 各提案書の用紙右上に幅50mm、高さ20mm以上の余白を設けてください。
- ④ 提案は、文章での表現を基本としますが、文章を補完するための必要最小限な視覚的表現は構いません。
- ⑤ 視覚的表現については、具体的な建物の設計ではなく、イメージや模式的な表現としてください。
- ⑥ 提案書の提出者（「設計チーム」の各構成員が所属する参加申込者以外の事務所、協力事務所を含む。）を特定することができる内容の記述（具体的な社名（組織名）、技術者名、過去に設計した建築物の名称、過去に受注した設計業務の名称等）を記載することは認められません。

宮城第一高改築設計公募型プロポーザル

参 加 申 込 書

宮 城 県 知 事  
村 井 嘉 浩 殿

標記について、必要書類を添付して参加を申し込みます。

平成 年 月 日

(参加申込者) 住 所 〒

参加申込者名  
(代表者名)

印

電 話 番 号

F A X

メールアドレス

## 設計チーム・設計事務所 資格・業務実績等説明書

参加申込者名

(代表者名)

㊞

一級建築士事務所登録				管理建築士（一級建築士）			
登録番号	都道府県	第	号	氏名			
登録年月日	平成	年	月	登録番号	(大臣)第		号
有効期限	平成	年	月	登録年月日	S・H	年	月
【設計チーム】 資格・CPD単位取得実績							
<b>A 管理技術者予定者</b>				氏名			
所属事務所・役職							
専門分野の技術資格				CPD単位取得実績			
資格名称	一級建築士			団体の名称			
登録番号	(大臣)第		号	取得単位数	推奨単位数		
登録年月日	S・H	年	月	取得単位数/推奨単位数		%	
<b>G 主任担当技術者（総合）予定者</b>				氏名			
所属事務所・役職							
専門分野の技術資格				CPD単位取得実績			
資格名称				団体の名称			
登録番号	( )第		号	取得単位数	推奨単位数		
登録年月日	S・H	年	月	取得単位数/推奨単位数		%	
<b>S 主任担当技術者（構造）予定者</b>				氏名			
所属事務所・役職							
専門分野の技術資格				CPD単位取得実績			
資格名称				団体の名称			
登録番号	( )第		号	取得単位数	推奨単位数		
登録年月日	S・H	年	月	取得単位数/推奨単位数		%	
<b>E 主任担当技術者（電気）予定者</b>				氏名			
所属事務所・役職							
専門分野の技術資格				CPD単位取得実績			
資格名称				団体の名称			
登録番号	( )第		号	取得単位数	推奨単位数		
登録年月日	S・H	年	月	取得単位数/推奨単位数		%	
<b>M 主任担当技術者（機械）予定者</b>				氏名			
所属事務所・役職							
専門分野の技術資格				CPD単位取得実績			
資格名称				団体の名称			
登録番号	( )第		号	取得単位数	推奨単位数		
登録年月日	S・H	年	月	取得単位数/推奨単位数		%	

(注1) 内容は、申込日現在で記入してください。

【設計チーム】 設計業務実績					
A 管理技術者予定者					
	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	立場
		H H 年 月 月 から まで		m <sup>2</sup>	
		H H 年 月 月 から まで			
G 主任担当技術者（総合）予定者					
	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	立場
		H H 年 月 月 から まで		m <sup>2</sup>	
		H H 年 月 月 から まで			
S 主任担当技術者（構造）予定者					
	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	立場
		H H 年 月 月 から まで		m <sup>2</sup>	
		H H 年 月 月 から まで			
E 主任担当技術者（電気）予定者					
	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	立場
		H H 年 月 月 から まで		m <sup>2</sup>	
		H H 年 月 月 から まで			
M 主任担当技術者（機械）予定者					
	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	立場
		H H 年 月 月 から まで		m <sup>2</sup>	
		H H 年 月 月 から まで			
【設計事務所】 設計業務実績					
No.	業務委託名称	履行期間 (開始・完了年月)	工事種別 (新・増・改築)	規模	
		H H 年 月 月 から まで			m <sup>2</sup>
		H H 年 月 月 から まで			
		H H 年 月 月 から まで			m <sup>2</sup>
		H H 年 月 月 から まで			

（注2）設計業務実績欄は、平成20年4月1日以降に完了したものを記載して下さい。

業務実施方針

業務の取組体制, 設計チームの特徴, 特に重視する設計上の配慮事項 (様式—4—1～4—3に記載する内容を除く),  
その他の業務実施上の配慮事項

(A4版縦1枚)

課題に対する提案

課題1	敷地の有効活用と既存施設を考慮した配置計画の考え方	
		(A3版横1枚)

課題に対する提案

課題2	進学重視型単位制など学校の特色に対応するため設計上考慮すべき事項	
		(A3版横1枚)

課題に対する提案

課題3	地域の特色を活かした意匠上の考え方	
		(A3版横1枚)





## 宮城第一高改築設計公募型プロポーザル 評価・選定基準

## ■ 第1段階

## ● 評価方法

- ・ 設計者・設計事務所の資格・実績等技術力を客観評価

## ● 配点

評価項目	評価の着目点			配点ウェイト	
	判断基準			小計	
(1) 資格<設計者>	専門分野の技術資格			5点 (16.7%)	
	主任担当技術者(*1)	総合	2		
		構造	1		
		電気	1		
		機械	1		
(2) 技術力<設計者>	特定期間(*2)の同種又は類似業務の実績(*3)			13点 (43.3%)	
	管理技術者		4		
	主任担当技術者	総合	3		
		構造	2		
		電気	2		
		機械	2		
	CPD推奨単位取得実績			7点 (23.3%)	
	管理技術者		2		
	主任担当技術者	総合	2		
		構造	1		
		電気	1		
		機械	1		
(3) 技術力<事務所>	特定期間(*2)の同種又は類似業務の実績(*4)			5点 (16.7%)	
合計点				30点 (100%)	

## (1) 資格&lt;設計者&gt;の評価点

次式で計算される各主任担当技術者(\*1)の技術資格に係る評価点とする。

$$\begin{aligned} \text{主任担当技術者の技術資格に係る評価点} &= \sum(\text{各主任担当技術者の技術資格に係る評価点}) \\ &= \sum(\text{配点ウェイト} \times \text{技術資格評価係数}) \end{aligned}$$

\*1 各主任担当技術者の分担業務分野の業務内容並びに評価対象技術資格及び評価係数

分担業務分野	業務内容	評価対象技術資格	技術資格評価係数
総合	H21国交省告示15号別添一第1項第1号及び第2号で示される設計の種類における「総合」	一級建築士	1.0
構造	同上「構造」	一級建築士	1.0
電気	同上「設備」のうち、「電気設備」に係るもの	建築設備士, 一級建築士	1.0
機械	同上「設備」のうち、「給排水衛生設備」, 「空調換気設備」及び「昇降機等」に係るもの	建築設備士, 一級建築士	1.0

(2) 技術力<設計者>の評価点

\*2 特定期間：平成20年4月1日以降に完了したもの。

\*3 同種又は類似業務の実績

下記の用途要件及び規模要件を満たす新築・改築・増築の基本・実施設計の実績

	用途要件	規模要件
同種業務	学校(幼稚園を除く。)の校舎と屋内運動場 (校舎が含まれていない場合は対象外)	延べ面積5,000㎡以上
類似業務		延べ面積3,000㎡以上

※校舎, 屋内運動場の定義: 公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目による。

① 特定期間(\*2)の同種又は類似業務の実績(\*3)

次式で計算される管理技術者及び各主任担当技術者の特定期間の同種又は類似業務の実績に係る評価点とする。

$$\begin{aligned} \text{設計者の業務実績に係る評価点} &= \sum(\text{管理技術者及び主任担当技術者の業務実績に係る評価点}) \\ &= \sum(\text{配点ウェイト} \times \text{設計者業務実績評価係数}) \end{aligned}$$

$$\text{設計者業務実績評価係数} = \text{㉑ 同種又は類似業務に係る係数} \times \text{㉒ 携わった立場に係る係数}$$

$$\text{㉑ 同種又は類似業務に係る係数} = \begin{cases} 1.0 & (\text{同種業務}) \\ 0.5 & (\text{類似業務}) \end{cases}$$

㉒ 携わった立場に係る係数

過去の実績での立場	管理技術者の 実績評価の場合	主任担当技術者の 実績評価の場合
管理技術者の立場	1.0	1.0
主任担当技術者の立場	0.5	1.0
担当技術者の立場	0.3	0.5

※ 当該実績の分担業務分野が、本業務での分担業務分野と同じ場合に限る。

※ 照査技術者の立場は、評価の対象とならない。

② CPD推奨単位取得実績

次式で計算されるCPD単位取得実績に係る評価点とする。

$$\begin{aligned} \text{設計者のCPD単位取得実績に係る評価点} &= \sum(\text{管理技術者及び主任担当技術者の業務実績に係る評価点}) \\ &= \sum(\text{配点ウェイト} \times \text{設計者のCPD単位取得実績評価係数}) \end{aligned}$$

取得した単位数	CPD単位取得実績 評価係数
推奨単位以上	1.0
推奨単位の1/2以上	0.5
推奨単位の1/2未満	0

(3) 技術力<事務所>の評価点

\*2 特定期間：平成20年4月1日以降に完了したもの。(2) 技術力<設計者>の評価点の場合と同じ。)

\*4 同種又は類似業務の実績

次式で計算される設計事務所の特定期間(\*2)の同種又は類似業務の実績に係る評価点とする。

$$\text{設計事務所の業務実績に係る評価点} = \text{配点ウェイト} \times \text{事務所業務実績評価係数}$$

事務所業務実績評価係数

類似業務の実績	同種業務の実績		
	2件	1件	0件
2件			1.0
1件		0.8	0.6
0件	0.4	0.2	0

●選定

- ・ 選定基準に基づき、プロポーザル提案者5者を選定

■ 第2段階

● 評価方法

- ・ 技術提案：実施方針および評価テーマ(3つ)
- ・ 技術者の能力の直接確認のため、ヒアリングを実施
- ・ 第1段階の実績等評価＋技術提案に対する評価

● 配点

	評価項目	評価の着目点		配点ウェイト		
		判断基準		小計		
第1段階	資格<設計者>	専門分野の技術資格		5点 (5%)		
		主任担当技術者	総合	2		
			構造	1		
			電気	1		
	機械		1			
	技術力<設計者>	特定期間の同種又は類似業務の実績		13点 (13%)		
		管理技術者	総合	4		
			主任担当技術者	総合		3
				構造		2
				電気		2
機械		2				
CPD推奨単位取得実績		7点 (7%)				
管理技術者		総合	2			
		主任担当技術者	総合		2	
			構造		1	
	電気		1			
機械	1					
技術力<事務所>	特定期間の同種又は類似業務の実績		5点 (5%)			
小計			30点 (30%)			
第2段階	業務実施方針及び手法	業務の理解度及び取組意欲		8点 (8%)		
		業務内容、業務背景、手続の理解及び積極性	8			
	業務の実施方針	業務への取組体制、設計チームの特徴、特に重視する設計上の配慮事項等について、的確性、独創性、実現性等を総合的に評価		12	12点 (12%)	
		評価テーマに対する技術提案		50点 (50%)		
	課題	課題1	各テーマについて、その的確性(与条件との整合性が取れているか等)、独創性(工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等)、実現性(提案内容が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等)を考慮して総合的に評価する。	20		
		課題2		20		
		課題3		10		
	小計			70点 (70%)		
	合計点				100点 (100%)	

※各者の合計点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

● 技術提案の評価方法

- ・ 各項目について各判定委員が5段階に評価し、各項目ごとに各判定委員の評価点の合計に(配点ウェイト/出席判定委員数×5)を乗じたものを、各項目の評価点とする。



## 宮城第一高改築設計 計画概要書

平成30年8月  
宮城県土木部営繕課

## I 基本方針

## 1 整備の目的

宮城第一高等学校の校舎は昭和41年から44年、屋内運動場は昭和46年の建築であり、老朽化が著しいことから、生徒・教職員等の安全を確保するとともに、進学重視型単位制など、学校の特色が活かされる施設の整備による学習効果及び学習意欲の向上等を図るため、当該校舎及び屋内運動場等の改築工事を実施するための設計を行うもの。

## 2 設計基本コンセプト

- (1) 機能的で使いやすい、維持管理が容易な学校。
- (2) 災害に強く、安全性の高い学校。
- (3) 全ての人々が利用しやすい学校。
- (4) 自然エネルギーの活用等、環境に配慮した学校。

## II 施設計画・設計条件等

## 1 業務委託名称

宮城第一高改築設計業務委託

## 2 建築場所

仙台市青葉区八幡一丁目6-2

敷地面積 約30,000㎡

## 3 施設用途

高等学校

## 4 法規制等

- (1) 都市計画区域等 都市計画区域内 市街化区域
- (2) 用途地域等 第二種中高層住居専用地域
- (3) 容積率 200%
- (4) 建ぺい率 60%
- (5) 防火地域等 準防火地域
- (6) 高度地区 第2種高度地区
- (7) 下水道処理 区域内
- (8) 道路 市道 幅員：4.81m～10.38m

## 5 事業規模（予定）

### （1）新設建物等

- ・校舎 延べ面積 約8,260㎡
- ・屋内運動場 延べ面積 約1,970㎡
- ・その他附属建物等 延べ面積 約 900㎡
- ・工作物（駐輪場） 延べ面積 約 130㎡

（別表2参照）

### （2）仮設建物等

- ・校舎 延べ面積 約8,110㎡
- ・附属建物 延べ面積 約1,040㎡
- ・工作物（駐輪場） 延べ面積 約130㎡

（別表3参照）

※仮設建物の設置は必須とする（既存グラウンドに整備予定）。

### （3）解体建物等

- ・校舎棟 RC造 3・4階建て 延べ面積 約8,110㎡
- ・屋内運動場 S造 2階建て 延べ面積 約1,970㎡（本業務委託対象外）
- ・その他附属建物等 プール・倉庫・部室・弓道場・駐輪場等

（別表4参照）

### （4）屋外施設等

- ・外構・植栽等
- ・グラウンド整備
- ・工事に伴う電気・機械設備の盛替え

### （5）予定工期

- ・設計
  - ①新築基本・実施設計 平成32年12月22日まで（予定）
  - ②仮設建物等建設設計 平成31年 9月下旬まで（予定）
  - ③既存校舎棟等解体設計 平成32年 3月下旬まで（予定）

- ・工事  
平成32年度から平成35年度まで（予定）

※仮設建物建設は平成31から32年度（予定）

（別表1参照）

### （6）予定工事費

約60.4億円（税抜き）。下記の費用は含まない。

- ・（3）解体建物等のうち、屋内運動場の解体工事費及び（4）屋外施設等のうちグラウンド整備工事費
- ・仮設建物等の解体等工事費

## 6 整備方針

(1) 以下を参照すること。

- ・宮城第一高等学校校舎等改築事業基本計画  
／宮城県教育庁施設整備課作成（別添資料1）
- ・宮城県宮城第一高等学校 学校要覧  
／宮城県宮城第一高等学校作成（別添資料2）
- ・宮城県宮城第一高等学校 学校案内  
／宮城県宮城第一高等学校作成（別添資料3）

(2) その他

- ・既存の特別教室棟と秋桜館は残すこととした上で、敷地の有効活用に配慮した配置・動線計画とすること。
- ・現状の地形を活かした配置とすること。（造成は想定していない。）
- ・周辺の住環境との調和に努めること。
- ・新設建物は、残置する建物（特別教室棟、秋桜館）と渡り廊下等で接続すること。
- ・校舎等の改築に伴い、現有の校庭グラウンドに比べ実効面積が広がるように、効率的な校庭グラウンドの再整備を含めた計画とすること。具体的にはソフトボール、弓道、陸上競技（直線100m走）、テニス（3面）が行える程度の広さを確保すること。
- ・既存プール及び関連施設解体後の新設は行わない。
- ・工事期間中の生徒・職員の安全確保、工事車両等の動線を考慮した配置計画・動線計画の合理性、全体コストやライフサイクルコストなどの経済合理性、その他の妥当性の検討を行うこと。
- ・建物は、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減に配慮すること。
- ・地質調査は、設計業務委託期間中に別途実施する予定である。
- ・既存屋内運動場解体及び校庭グラウンド整備工事は、平成36年度に実施予定。
- ・正門、裏門の位置は原則、現状のとおりとすること。
- ・進学重視型単位制については、別添資料1を参照すること。

## 7 添付資料

別表1 事業スケジュール

別表2 新設建物等計画面積一覧（目安）

別表3 仮設建物等計画面積一覧（目安）

別表4 解体建物等一覧

別表5 既存活用建物等一覧

別図1 学校位置図

別図2 宮城第一高等学校 配置図

別図3 既存活用建物 平面略図

別添資料1 宮城第一高等学校校舎等改築事業基本計画

別添資料2 宮城県宮城第一高等学校 学校要覧

- 別添資料3 宮城県宮城第一高等学校 学校案内
- 参考資料1 平成9年度秋桜館新築工事地盤関連資料
- 参考資料2 平成9年度特別教室棟増築工事基礎関連図



別表2

## 新設建物等計画面積一覽(目安)

分類	室名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	備考	
管理諸室	校長室	1	40.00		
	応接室	1	58.00		
	職員室	1	280.00		
	事務室	1	70.00		
	事務室倉庫	1	10.00		
	書庫	1	20.00		
	図書館	1	250.00		
	書庫	1	30.00		
	司書室	1	25.00		
	技師室	1	18.00		
	技師室倉庫	1	20.00		
	相談室	2	28.00		
	保健室	1	74.00	健康相談室(保健室の内部屋)を含む。	
	会議室	1	140.00		
	放送室	1	30.00		
	進路資料室	1	80.00		
	印刷室	1	30.00		
	購買(売店)	1	9.00		
	職員更衣室(男)	1	20.00		
	職員更衣室(女)	1	20.00		
	職員休憩室(男)	1	10.00		
	職員休憩室(女)	1	10.00		
	学友会室(生徒会室)	1	30.00		
		小計	24	1,302.00	
普通教室	普通教室	21	1,512.00		
	選択教室(小)	6	270.00	選択授業で使用。	
	選択教室(中)	1	90.00	同上。間仕切り等で分割して使用することを想定。	
	大講義室	1	400.00		
		小計	29	2,272.00	
特別教室	物理実験室	1	130.00		
	物理地学準備室	1	60.00		
	地学実験室	1	130.00		
	生物実験室	1	130.00		
	生物化学準備室	1	60.00		
	化学実験室	1	130.00		
	薬品保管室	1	21.00		
	被服室	1	130.00		
	家庭科準備室	1	60.00		
	調理室	1	130.00		
	美術室	1	130.00		
	美術準備室	1	41.50		
	視聴覚室	1	150.00		
	音楽室	1	130.00		
	音楽準備室	1	25.00		
	ピアノ室	2	24.00		
	楽器倉庫	1	25.00		
	国語・数学科室	1	30.00		
	英語・社会科室	1	30.00		
		小計	20	1,566.50	
共用部分	昇降口・来賓玄関	1	202.50		
	トイレ	10	285.40		
	職員用トイレ	1	17.10		
	来賓用トイレ	1		共用部分3120.7m <sup>2</sup> の中で、「来賓用トイレ」の設置を希望。	
	身障者用EV	4	20.00	@5m <sup>2</sup> ×4階	
	その他共用部		2,595.70	階段・廊下等	
	小計	34	3,120.70	※共用部率37.7% (共用部分/校舎棟合計)	
	校舎合計		8,261.20		
附属建物	器具庫	1	158.00		
	倉庫	1	81.00		
	部室(運動部)	1	120.00		
	文化部部室	1	180.00		
	弓道場	1	96.00		
	運動部部室	1	134.00		
	屋外トイレ	1	36.00		
	その他		100.00		
		小計	7	905.00	
	屋内運動場	アリーナ	1	1,302.00	
ステージ		1	84.00		
控え室		2	60.00		
男子更衣室		1	45.00		
女子更衣室		2	80.00		
トレーニング室		1	100.00		
トイレ		2	20.00		
玄関		1	37.50		
保体教室		1	60.00		
倉庫		1	100.00		
職員室(体育教官室)		1	37.50		
シャワー室		1	20.00		
階段		1	22.00		
		小計	16	1,968.00	
総合計			11,134.20		
工作物	駐輪場	2	128.20		

## 仮設建物等計画面積一覽(目安)

分類	室名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	備考	
管理諸室	校長室	1	40.0		
	応接室	1	58.0		
	職員室	1	280.0		
	事務室	1	70.0		
	事務室倉庫	1	10.0		
	書庫	1	20.0		
	図書室	1	250.0		
	書庫	1	30.0		
	司書室	1	25.0		
	技師室	1	18.0		
	技師室倉庫	1	20.0		
	相談室	2	28.0		
	保健室	1	74.0		
	会議室	1	140.0		
	放送室	1	30.0		
	進路資料室	1	80.0		
	印刷室	1	30.0		
	購買(売店)	1	9.0		
	職員更衣室(男)	1	20.0		
	職員更衣室(女)	1	20.0		
	職員休憩室(男)	1	10.0		
	職員休憩室(女)	1	10.0		
	学友会室	1	30.0		
		小計	24	1,302.0	
	普通教室	普通教室	21	1,512.0	
		選択教室(小)	6	270.0	
選択教室(中)		1	90.0		
大講義室		1	400.0		
		小計	29	2,272.0	
特別教室	物理実験室	1	130.0		
	物理地学準備室	1	60.0		
	地学実験室	1	130.0		
	生物実験室	1	130.0		
	生物化学準備室	1	60.0		
	化学実験室	1	130.0		
	薬品保管室	1	21.0		
	被服室	1	130.0		
	家庭科準備室	1	60.0		
	調理室	1	130.0		
	美術室	1	130.0		
	美術準備室	1	41.5		
	視聴覚室	1	150.0		
	音楽室	1	130.0		
	音楽準備室	1	25.0		
	ピアノ室	2	24.0		
	楽器倉庫	1	25.0		
	国語・数学科室	1	30.0		
	英語・社会科室	1	30.0		
		小計	20	1,566.5	
共用部分	昇降口・来賓玄関	1	202.5		
	トイレ	10	285.4		
	職員用トイレ・来賓用トイレ	1	17.1		
	その他共用部		2,461.7	階段・廊下等	
		小計	12	2,966.7	
校舎計			8,107.2		
附属建物	器具庫	1	158.0		
	倉庫1	1	182.0		
	倉庫2	1	138.0		
	部室(運動部①)	1	120.0		
	部室(文化部)	1	180.0		
	弓道場	1	96.0		
	部室(運動部②)	1	134.0		
	外トイレ	1	36.0		
附属建物計			1,044.0		
合計			9,151.2		
工作物	駐輪場	2	128.2		

別表4

## 解体建物等一覧

別図2上の 番号	名称	構造	階数	築年	延床面積	再建築 (不要: ×)	備考
④	校舎(北棟)	RC	4	S41	3,181.28		
⑤	校舎(西棟)	RC	4	S42	1,177.91		
⑥	校舎(南棟)	RC	4	S43	521.87		
⑦	校舎(東棟)	RC	3	S44	3,145.45		
⑨	屋内運動場(体育館)	S	2	S46	1,968.22		仮設校舎と同時期に解体予定。
⑩	天体観測室	S	1	S51	16.64	×	
⑫	倉庫	RC	1	S44	81.00		
⑱	西器具庫	S	2	S54	157.99		
⑳	弓道場	S	1	S59	96.12		
㉒	渡り廊下	S	2	H10	61.48		校舎棟と特別教室棟を結ぶ部分。 校舎棟と同時期に解体予定。
㉔	運動部部室	S	1	H10	134.29		
㉕	文化部部室	S	2	H10	179.75		
㉖	油庫	CB	1	H10	4.84		
㉗	プール附属棟	RC	1	H12	182.05	×	
㉙	部室(運動部)	S	1	H20	120.00		
⑳	屋外トイレ	RC	1	H20	36.00		
㉓	プール	FRP	1	H12	743.60	×	工作物
㉔	駐輪場	S	1	H18	128.28		工作物

## 既存活用建物等一覧

別図2上の番号	名称	構造	階数	築年	延床面積	備考 (室構成等)
②1	秋桜館	RC	4	H9	2,693.92	1階:食堂・会議室・事務室・柔剣道場等 2階:和室・浴室等 3階:体育室等
②2	特別教室棟	RC	2	H10	730.33	1階:化学実験室・生物実験室 2階:コンピュータ室・理科講義室 <small>※「渡り廊下(61.48㎡)」部分は解体・再建築するため、延床面積から除いている。</small>
⑥2	駐輪場	S	1	H20	不明	工作物 北側裏門付近のもの。 サイクルラック付き15.3m×4, 同33.15m×1
このほか、設計により活用可能と判断された建物等は、積極的に活用を検討する。						

# 学校位置図



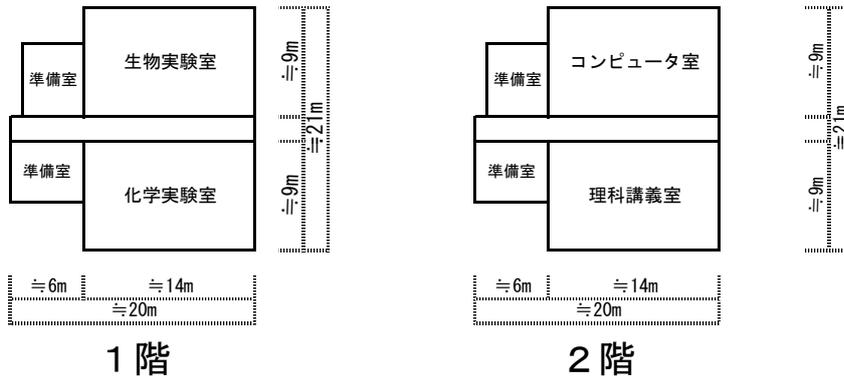
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平29情複、第501号)



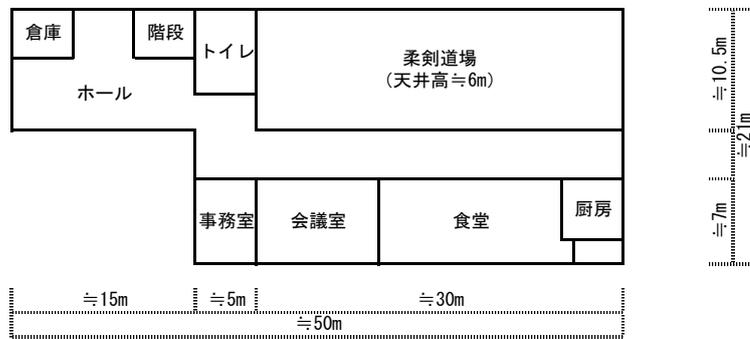
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平29情複、第501号)



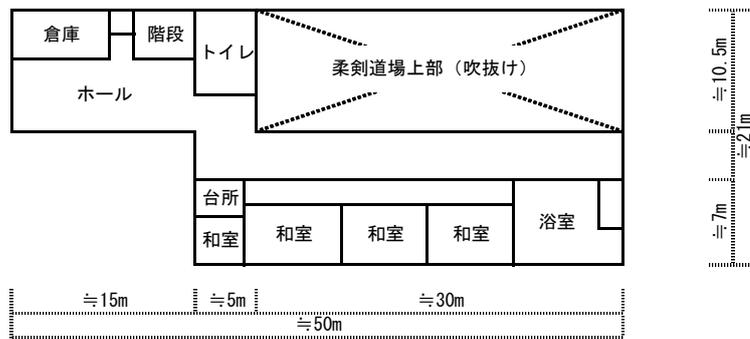
# 既存活用建物 平面略図



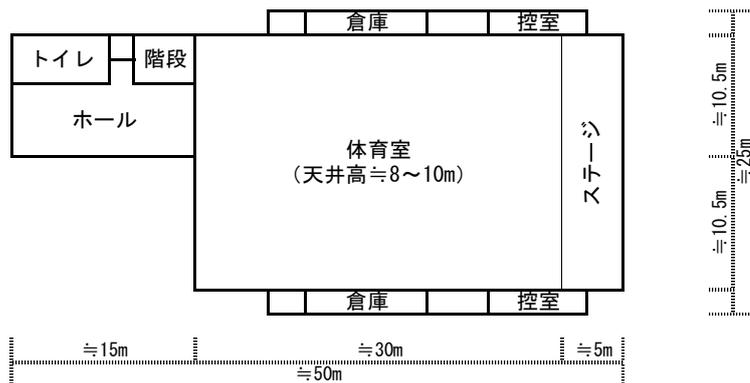
## 特別教室棟



## 秋桜館 1階



## 秋桜館 2階



## 秋桜館 3階

# 宮城第一高等学校校舎等改築事業基本計画

平成30年8月

教育庁施設整備課

## I 基本計画策定の背景・目的

近年、本県教育を取り巻く環境が大きく変化している中、第2期宮城県教育振興基本計画（平成29年3月）※1では、施策の基本方向として「安心して楽しく学べる教育環境づくり（学校施設・設備の整備充実）」を掲げている。また、新県立高校将来構想第3次実施計画（平成29年2月）※2においても、「効率的・効果的な施設整備の推進（校舎改築等の計画的推進）」を高校教育改革の取組のひとつとしており、教育環境の改善を図るため、建築後40年を目処に、各学校の施設実態を踏まえながら、順次計画的に改築を進めている。

宮城第一高等学校の校舎施設は、昭和41年から昭和44年に建築されたものである。また屋内運動場は昭和46年の建築であり、これまで耐震補強工事及び必要最小限の改修により施設の保全を図ってきたほか、平成20年度の男女共学化に伴いトイレ等を改修したが、大規模な改修は行っておらず、校舎及び屋内運動場の老朽化が著しいことから、生徒・教職員等の安全を確保するとともに、進学重視型単位制など、学校の特色が活かされる施設の整備による学習効果の向上、及び共学化に対応した魅力的な学習環境の整備による学習意欲の向上等を図るため、当該校舎等改築事業基本計画を策定するものである。

※1 添付1 第2期宮城県教育振興基本計画（平成29年3月）概要版

※2 添付2 新県立高校将来構想第3次実施計画（平成29年2月）抜粋

## II 宮城第一高等学校の現状

### 1 学校沿革（抜粋）

明治30.	4月	仙台市高等女学校として開校（所在地：仙台市東二番丁42番地）
32.	9月	校舎新築移転（所在地：仙台市元寺小路143番地）
33.	4月	県移管宮城県高等女学校と改称
34.	4月	宮城県立高等女学校と改称
34.	7月	県立宮城県高等女学校と改称
大正7.	4月	宮城県立第一高等女学校と改称
	8. 11月	宮城県第一高等女学校と改称
昭和22.	10月	仙台市北六番丁210番地に校舎新築移転（旧二高跡）
23.	4月	宮城県第一女子高等学校と改称
28.	7月	八幡一丁目（旧中島丁旧宮城女師）現在地に移転
平成20.	4月	宮城県宮城第一高等学校と改称（単位制移行）男女共学開始

### 2 現況及び将来推計

(1) 設置課程等	全日制課程 普通科15学級 理数科6学級
(2) 修業年限	3年
(3) 募集定員	（年次あたり）普通科200名 理数科80名
(4) 生徒数	1年次 281名（7学級）

- 2年次 280名（7学級）  
3年次 274名（7学級） 計835名（H30.4.8現在）
- (5) 生徒数の将来推計 少子化の影響により県全体での生徒数は減少傾向にあるが、当面のところ、学級減で対応していくことが可能である。  
(添付3 本県の中学校卒業生数の推移・将来予測)
- (6) 教職員数 75名（平成30年度：非常勤講師等を除く。）

### 3 教育目標

- (1) 個性の確立（個人生活）
- (2) 社会性の陶冶（家庭生活及び社会生活）
- (3) 職業教育（経済生活及び職業生活）
- (4) 明るい生活の創造（総合）

### 4 学校経営方針

- (1) 開かれた学校運営をとおして、すべての教育力を結集し、本校教育目標の達成を目指す。
- (2) 教育活動をとおして生徒一人ひとりの潜在的な力を引き出すとともに、教職員のさらなる資質と力量の向上に努める。
- (3) ねらいを明確にした、意図的・計画的な教育活動を展開するとともに、そのためにそれぞれの責任を明確化し、組織的な取組を推進する。

## III 基本計画

### 1 建築場所の概要

現有施設の所在地に建築する。

- (1) 所在地 仙台市青葉区八幡一丁目6-2
- (2) 敷地面積 約29,971㎡

### 2 基本計画の概要

基本計画は、基本コンセプトに基づく施設規模、配置計画、諸室計画、構造計画、設備計画、防災安全計画に関する基本的な考え方を整理し、設計等の指針となることを目的とする。

### 3 基本コンセプト

- (1) 基本的な施設機能  
機能的で使いやすい、維持管理が容易な建物とする。
- (2) 防災に配慮した施設機能  
災害に強く、安全性の高い建物とする。
- (3) バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮した施設機能

全ての人が利用しやすい施設とする。

(4) 地球環境へ配慮した施設機能

自然エネルギーの活用等，環境に配慮した建物とする。

(5) 共学化に対応した魅力的な学習環境

敷地を有効利用することにより多様な運動部活動が行えるなど，男女いずれの生徒にも魅力的な学習環境が整備された施設とする。

#### 4 施設規模

本事業は施設老朽化に伴う改築事業であるため，施設規模は現有施設と同程度とする。

(1) 現有施設の規模

- ・校舎 延べ面積 約 8, 107 m<sup>2</sup>
- ・屋内運動場 延べ面積 約 1, 968 m<sup>2</sup>
- ・その他附属建物 延べ面積 約 1, 045 m<sup>2</sup>
- ・工作物（駐輪場） 延べ面積 約 347 m<sup>2</sup>

（添付 4 航空写真）

（添付 5 配置図）

（添付 6 現有諸室配置図（概略図））

#### 5 配置計画

(1) 現状の地形を活かした配置とする。（造成は想定していない。）

(2) 周辺の住環境との調和（風向き・採光など）を保つために，新設校舎の配置は，現有校舎と大きく変わらないようにする。ただし，周辺の住環境との調和を保つことができる場合は，この限りではない。（高層化等）

(3) 周辺への騒音に配慮するため，弓道場の配置は現有施設と大きく変わらないようにする。

(4) 新設校舎は，残置する建物（特別教室棟，秋桜館）と渡り廊下等で接続することを前提とする。

(5) 校舎等の改築に伴い，現有の校庭グラウンドに比べ実効面積が広がるように，効率的な校庭グラウンドの再整備をすることとし，ソフトボール，弓道，陸上競技（直線 100m 走），テニス（3面）が行える程度の広さを確保する。

(6) 現有プール及び関連施設は，解体後の新設を行わない。

（添付 7 解体建物等一覧）

#### 6 諸室計画

本事業は施設老朽化に伴う改築事業であるため，諸室は現有諸室と同程度とするが，必要な機能を満たしながら柔軟に計画する。

(1) 現有諸室 添付 8 現有諸室一覧のとおり。

(2) 必要諸室 添付9 必要諸室一覧（目安）のとおり。

## 7 構造計画

### (1) 耐震性能

耐震安全性は、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省）」に基づき、生徒の安全性に配慮する。

### (2) 構造・階数

構造は、安全性・機能性・快適性・経済性・耐久性に配慮するものとする。

## 8 設備計画

設備は、安全性・快適性・省エネルギー性・経済性・耐久性・メンテナンス性に配慮するものとする。またバリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮するものとし、シックスクール対策を講ずるものとする。

## 9 防災安全計画

自然災害発生時や非常時における安全性及び不法侵入防止等の施設保安管理に留意する。

## 10 求める学校像

宮城第一高等学校における、今後の求める学校像は、次のとおり。

### ～求める学校像～

本校は平成20年進学重視型単位制高校として新たな一步を踏み出しました。平成32年には新学習指導要領に基づいた新カリキュラムの実施、新高校入試制度の導入など、学校を取り囲む環境も大きく変化します。現在、宮城第一高等学校ではこれらの変化を前向きに捉え、本校独自のカリキュラムの作成、新高校入試制度の確立に取り組んでいます。特に、単位制高校の特徴である少人数・習熟度別学習を取り入れたきめ細やかな授業を通して、新学習指導要領にも掲げられる探究型学習を導入し、自ら見つけた課題の解決に向けて主体的に取り組む生徒を育てます。さらに、大講義室はもとより、小さなスペースもグループ討論や協議の場として活用を図りながら、主体的で対話的な深い学びの実践に努めます。英国シティオブロンドンフリーメンズスクール(CLFS)、台南第一高級中学など国際交流事業を推進することで、グローバル課題に積極的に取り組む生徒、社会の変化に柔軟に対応できる思考力・判断力・表現力をもった生徒の育成を目指しています。

## 11 進学重視型単位制

単位制とは、生徒が授業を自由に選択し、3年間で一定以上の単位を修得することで卒業が認定される制度である。科目が細分化され、一科目当たりの生徒数が少ないことが特徴で、一人一人の生徒にきめ細かい指導を行うことができ、また、自らの進路を主体的に決定、明確化することで、生徒のモチベーションの向上が図られる制度でもある。

一般的な学年制の学校に比べ、単位制・選択制授業の性質上、同時時間帯に複数の教室が必要になる場合や、科目毎の人数の変動が想定されるため、それらに柔軟に対応可能な環境が望ましい。そのため、普通教室（ホームルーム）や教科ごとの特別教室だけでなく、「少人数用教室」や分割使用可能な教室が、複数必要である。

宮城第一高等学校では、進学重視型単位制の導入により、幅の広い選択科目の中から、生徒の多様なニーズや進路目標、一人ひとりの興味・関心、適性等に応じた授業を選択することができるようにしている。少人数授業や習熟度別授業を展開し、個に応じたきめ細かな授業を行い、生徒の学習意欲の向上に努めている。

### ※ 単位制の選択制授業や課題研究での教室使用状況

習熟度別授業や単位制の選択授業による少人数授業を行う場合、1教科で複数の教室を使用することがある。さらに、理数科における課題研究の場合においては、下表のように多数の教員が同時に生徒の指導にあたるため、多くの教室を同時に使用することになる。

選択教室だけでなく、普通教室・特別教室等を含めて、学校全体の教室を運用することで授業を展開している。

#### <教室の同時使用状況 具体例>

上段:教室名 下段:授業教科

普通教室	1-1教室	1-2教室	1-3教室	1-4教室	1-5教室	1-6教室	1-7教室
	音楽	家庭基礎	数学A	コミュニケーション英語	数学I	国語総合	国語総合
	2-1教室	2-2教室	2-3教室	2-4教室	2-5教室	2-6教室	2-7教室
	世界史A	コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語II	コミュニケーション英語II	政治経済	課題研究	課題研究
	3-1教室	3-2教室	3-3教室	3-4教室	3-5教室	3-6教室	3-7教室
	政治経済	現代文B	体育	現代文B	体育	英語表現II	英語表現II
選択教室	選択北1	選択北2A	選択北2B	選択北2C	選択北3	選択南2	武道場
	課題研究	英語表現II	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	体育
特別教室	理科講義室	生物室	生物実験室	化学室	化学実験室	地学室	物理室
	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究	課題研究

※ 課題研究:理数科における必修科目で、設定した課題について少人数で研究を深めるもの。

# 第2期宮城県教育振興基本計画 ～ 志を育み、復興から未来の創造へ～【概要】

## 第1章 計画の策定に当たって

### ◆策定の趣旨

平成22年3月に「宮城県教育振興基本計画」(計画期間：平成22年度から平成31年度までの10年間、以下「第1期計画」という。)を策定後、人口減少と少子高齢化の急速な進行、東日本大震災の発生等により、子供や社会を取り巻く環境が大きく変化していることに加え、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会制度の抜本的な改革が行われたことなどから、改めて教育施策の方向性等を示す「第2期宮城県教育振興基本計画」を策定するもの。

### ◆計画の位置付け

・ 第1期計画の後継計画として、本県教育の目指すべき姿を明らかにするとともに、取り組むべき施策の方向性等を示す計画  
 ・ 教育基本法第17条第2項の規定に基づき地方公共団体が策定する計画

### ◆計画の期間

・ 平成29年度を初年度とし、平成38年度を目標年度とする10年間

## 第2章 本県教育の現状

### ◆本県教育を取り巻く社会の状況

- (1) 東日本大震災からの復興
- (2) 人口減少社会の到来と地方創生の推進
- (3) グローバル化の進展
- (4) ICT(情報通信技術)の進展
- (5) 雇用情勢の動向
- (6) 子供の貧困率の悪化
- (7) 家庭環境や地域社会の変化
- (8) 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
- (9) 国の教育改革の動向

### ◆本県教育の課題

- (1) いじめ問題への対応
- (2) 不登校児童生徒の増加
- (3) 体力・運動能力の低下
- (4) 基礎的・基本的な学習内容の定着
- (5) 英語教育の推進
- (6) 教育の情報化の推進
- (7) 幼児教育の推進
- (8) 特別な支援を必要とする児童生徒の増加
- (9) 文化財の活用促進
- (10) 防災体制の確立と次世代への継承
- (11) 教員の資質能力の向上と知識・技能の伝承
- (12) 家庭教育への支援
- (13) 地域の教育力の向上
- (14) 県民の学習ニーズを捉えた生涯学習の推進
- (15) 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実

### ◆第1期計画の検証

県及び県教育委員会では、毎年度、「宮城の将来ビジョン」及び「宮城県震災復興計画」に係る政策評価・施策評価並びに「宮城県教育振興基本計画」に係る点検及び評価を行っている。このうち、「宮城県教育振興基本計画」に係る点検及び評価では、アクションプランに掲げられている事業の点検・評価を通じて、6つの基本方向と26の取組について、総合的に評価を行っている。

これらの評価に基づき第1期計画の検証結果を十分に踏まえ、本計画を実施する。

## 第3章 本県教育の目指す姿

### ◆目指す姿

学校・家庭・地域の強い絆のもとで、多様な個性が輝き、ふるさと宮城の復興を支え、より良い未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子供が育っています。  
 そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、豊かな文化と活力のある地域社会が形成されています。

## 第4章 施策の展開

### ◆計画の目標

<目標1>  
 自他の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。

<基本方向1：豊かな人間性と社会性の育成>  
 (1) 生きる力を育む(志教育)の推進  
 (2) 思いやりが有り感性豊かな子供の育成  
 (3) いじめ・不登校等への対応、心のケアの充実

<目標2>  
 夢や志の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

<基本方向2：健やかな体の育成>  
 (1) 健康な体づくりと体力・運動能力の向上  
 (2) 食育の推進  
 (3) 心身の健康を育む学校保健の充実

<目標3>  
 ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。

<基本方向3：確かな学力の育成>  
 (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長  
 (2) 国際理解を育む教育の推進  
 (3) ICT(情報通信技術)教育の推進

<目標4>  
 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくる。

<基本方向4：幼児教育の充実>  
 (1) 幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進  
 (2) 幼児教育の充実のための環境づくり  
 (3) 幼児教育の推進に向けた体制づくり

<目標5>  
 生涯にわたる学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができ、地域社会をつくる。

<基本方向5：多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進>  
 (1) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進  
 (2) 多様な個性が生かされる教育の推進

<目標6>  
 命を守る力と共に支え合う心の育成>  
 (1) 系統的な防災教育の推進  
 (2) 地域と連携した防災・安全体制の確立

<基本方向6：郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成>  
 (1) 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成  
 (2) 文化財の保護と活用  
 (3) 宮城の将来を担う人づくり

## 第5章 計画の推進

### ◆計画の推進に向けた施策の在り方

- (1) アクションプランの策定及び計画の見直し
- (2) 計画の点検・評価

### ◆関係機関、関係団体等との連携

- (1) 家庭や地域、企業や大学等との連携・協働
- (2) 市町村教育委員会との連携

### ◆学校における教育施策の着実な推進

### ◆県民総がかりによる教育施策の展開

- (3) 県関係部局との連携
- (4) 国への働きかけ

<基本方向7：命を守る力と共に支え合う心の育成>  
 (1) 系統的な防災教育の推進  
 (2) 地域と連携した防災・安全体制の確立

### ◆基本方向8：安心して楽しく学べる教育環境づくり

- (1) 教員の資質能力の総合的な向上
- (2) 教職員を支える環境づくりの推進
- (3) 学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実
- (4) 開かれた魅力ある学校づくりの推進
- (5) 学校施設・設備の整備充実
- (6) 私学教育の振興

### ◆基本方向9：家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり

- (1) 家庭教育力を支える環境づくり
- (2) 地域と学校の新たな連携・協働体制の推進
- (3) 子供たちが安全で安心して学べる環境づくり

<基本方向10：生涯にわたる学習・文化芸術・スポーツ活動の推進>  
 (1) 誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実  
 (2) 多様な学びによる地域づくり  
 (3) 文化芸術活動の推進

(4) スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築  
 (5) 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進

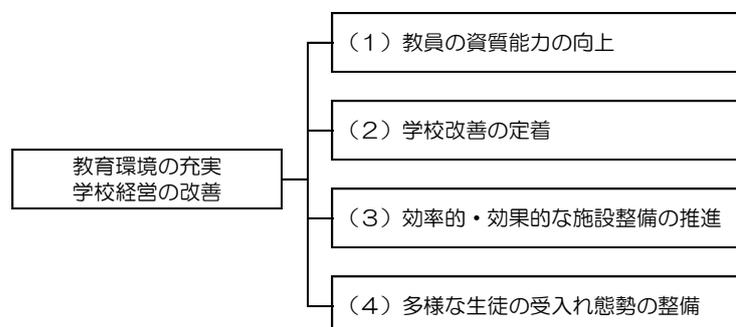
# **新県立高校将来構想**

## **第3次実施計画 (抜粋)**

**平成29年2月**  
**宮城県教育委員会**

## 4 教育環境の充実・学校経営の改善 —安心して学べる魅力ある教育環境づくり—

### 【構想の概要】



### (1) 教員の資質能力の向上

教員の資質能力の向上を図り、教員一人一人の教科指導力、即ち授業力を向上させるため、教育委員会主催による授業力向上に向けた研修会などに加え、日々の教材研究や各学校における校内研修を充実します。

また、社会や時代の変化に対応できるよう、教科外の各種研修等の充実も図ります。

項目	内容
教職員研修の充実 (教職員CUP(キャリア・アップ・プログラム)事業・明日を担う産業人材養成教員派遣研修事業・いじめ・不登校等対策強化事業・高等学校学力向上推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県教員研修マスタープランに基づき、多様化する学校教育課題に対応するための実践力と基盤となる意欲・人間力を育成するための教職研修を実施します。</li> <li>教員が自己の崇高な使命を深く自覚するとともに、自ら学び姿勢を持ち、新たな教育課題に対応できる力量を高められるよう意識の向上に努めます。</li> <li>初任者研修、教職経験者研修等において、模擬授業等を取り入れた研修を行います。</li> <li>授業力向上に関する調査研究や県内外の指導資料を総合教育センターに収集・蓄積し、学校・教員がいつでも活用できる体制を整備し、教員の指導力の向上を図ります。</li> <li>専門教科担当の教員を一定期間、民間企業等に派遣し、専門的・実践的な技能の向上と指導力の強化に取り組みます。</li> <li>防災教育の充実や防災等に係る対応能力を高めるため、防災教育等の推進的役割を担う人材を育成します。</li> <li>深刻化するいじめの実態とその対応の在り方等について研修会を開催し、いじめ問題に関する教員の資質能力の向上を図ります。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• OJT※の強化を図り、教員同士がともに支え合いながら日常的に学び合える校内研修の充実に取り組みます。</li> <li>• 新たな人事評価制度を活用し、教職員一人一人の資質能力の向上と学校の教育活動の活性化を図ります。</li> <li>• 全ての学校に研究・研修担当者を設置し、校内研究・研修体制を整備します。</li> <li>• 校内研修の充実に向け、指導主事や大学教員等の外部機関による訪問支援の体制を充実します。</li> <li>• 進路指導担当者等を対象とした系統的な校内の進路指導研修を実施します。</li> <li>• 生徒指導や特別支援教育に関する研修を実施します。</li> </ul>
--	---

※OJTとは、仕事の現場で、業務に必要な知識や技術を習得させる研修のこと。オン・ザ・ジョブ・トレーニング (on-the-job training) の略。

## (2) 学校改善の定着

校長のリーダーシップにより、社会の変化等に連動した学校改善に速やかに着手できる仕組みを整備するため、学校関係者評価の定着など、学校内外の声を踏まえた学校経営における「改善の循環」を促進します。

項 目	内 容
①学校評議員制度の効果的な運用 (学校評価事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各学校においては、特性・役割を踏まえて教育目標や成果指標等を定めるとともに、学校評議員制度を活用しながら、適切な進行管理を行います。</li> </ul>
②学校におけるPDCAサイクルの定着 (学校評価事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校評議員による学校評価の結果を学校運営の改善に生かすための研修会を実施するなど、学校におけるPDCAサイクルを定着させることで、学校現場において課題等を認識した際に、適切な改善措置を講じる確実かつ安定的な体制を確立します。</li> </ul>

## (3) 効率的・効果的な施設整備の推進

各学校における教育活動に支障が生じないよう施設設備の計画的な整備を進めるとともに、生徒数減少による高校再編も視野に入れ、効率的な施設・設備の整備を推進します。

項 目	内 容
①計画的な施設・設備整備の推進 (校舎改築事業・校舎大規模改造事業・学科転換対応設備整備費)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各学校の教育環境確保のための校舎等改築及び大規模改造等を計画的に推進します。</li> <li>• 技術の進歩に対応した職業系専門学科等の実習施設・設備等を整備します。</li> </ul>

<p>②生徒数減少に伴う高校再編を踏まえた効率的な施設・設備整備の推進 (再編統合施設整備事業・新增改築等設備整備費・学科転換対応設備整備費)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校再編や学科改編等にあわせて、効率的に施設・設備等を整備します。</li> </ul>
---	---

#### (4) 多様な生徒の受入れ態勢の整備

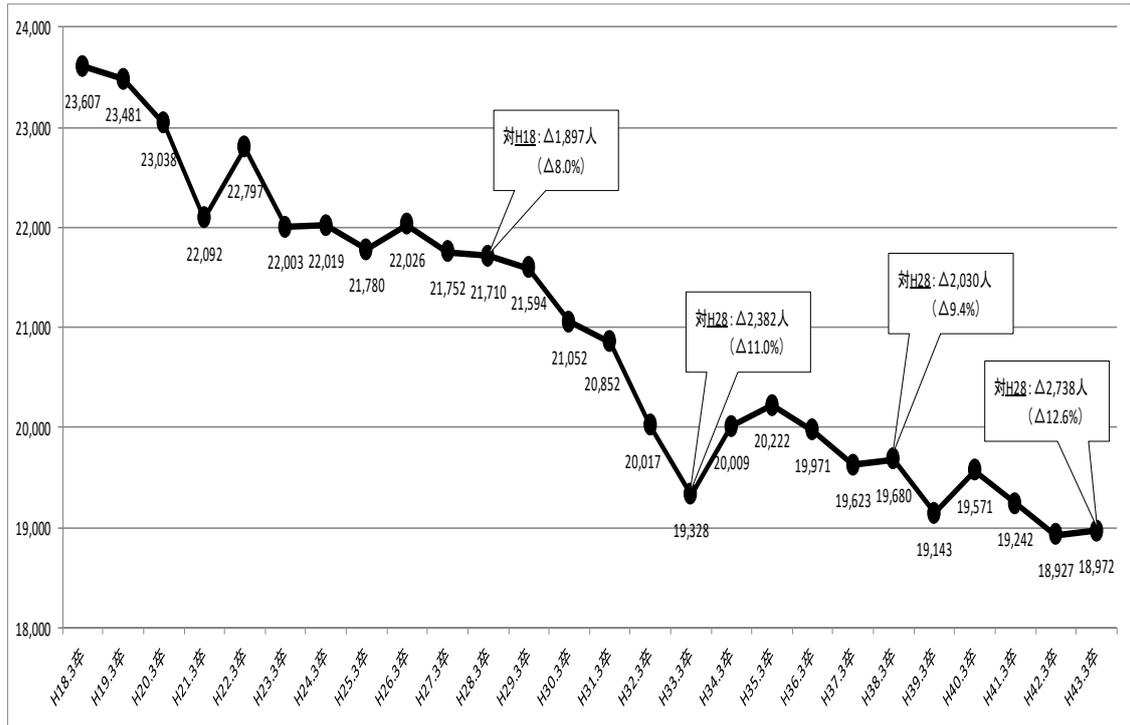
不登校傾向の生徒やコミュニケーション等に問題を抱える生徒、あるいは発達障害のある生徒等に対応するため、研修会の実施など校内での受入れ態勢のより一層の整備・充実を図ります。

項目	内容
<p>①教育相談事業の充実 (総合教育相談事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が抱えている心の問題や不登校、非行等の諸問題の解消を図るため教育相談事業を展開します。</li> </ul>
<p>②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置 (高等学校スクールカウンセラー活用事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、不登校や中途退学、問題行動等に的確に対応するため、生徒・保護者・教員の相談に応じるとともに、校内教育相談体制の充実を図ります。</li> </ul>
<p>③特別支援教育に関する研修の充実 (特別支援教育地域支援推進事業・特別支援教育研修充実事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別な教育的ニーズを有する生徒やその保護者に対して適切な支援を行うため、各学校で指定されている特別支援教育コーディネーターの資質能力向上に向けた研修及び特別支援教育に携わる教員の専門性向上に向けた研修を実施します。</li> <li>・ 各学校において、発達障害など様々な課題を抱える生徒に的確に対応し得る校内受入れ態勢整備に向け、特別支援学校や関係機関等と連携を図りながら、校内研修会等を実施します。</li> <li>・ 各学校において、従前から行ってきた様々な配慮の内容について整理を行い、「合理的配慮」※の観点から適切な対応ができるよう努めます。</li> <li>・ 地域ブロック研修会を実施し、特別な配慮を要する生徒の地域における支援体制の向上を図ります。</li> </ul>

※「合理的配慮」とは、障害者が他の者と平等に全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの。例えば教育内容・方法、支援体制等の配慮。

本県の中学校卒業生数の推移・将来予測

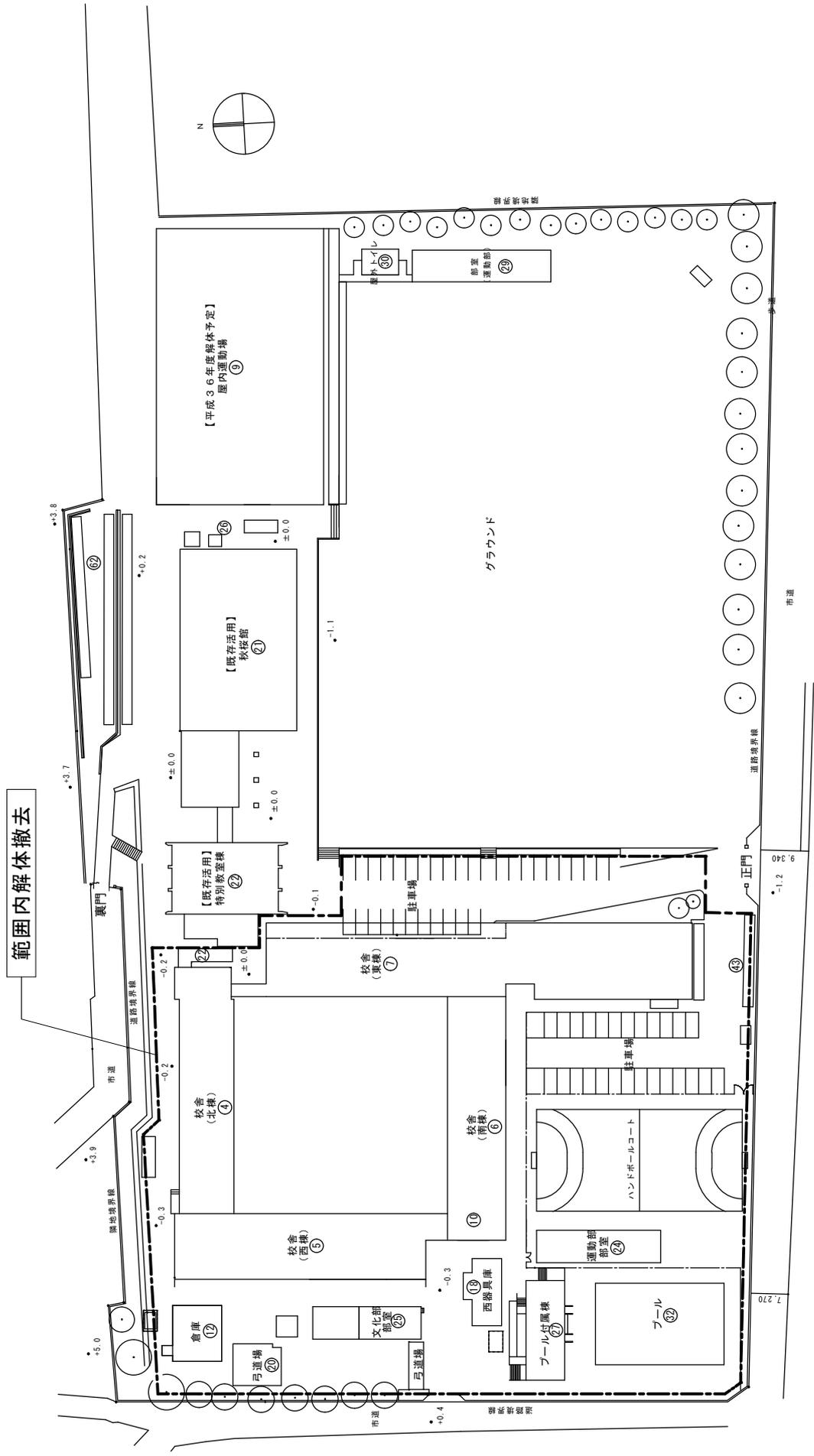
○ 全県



※平成 28 年度データまでは実数。平成 29 年度以降は推計値（データ出典：学校基本調査、幼児人口調査）

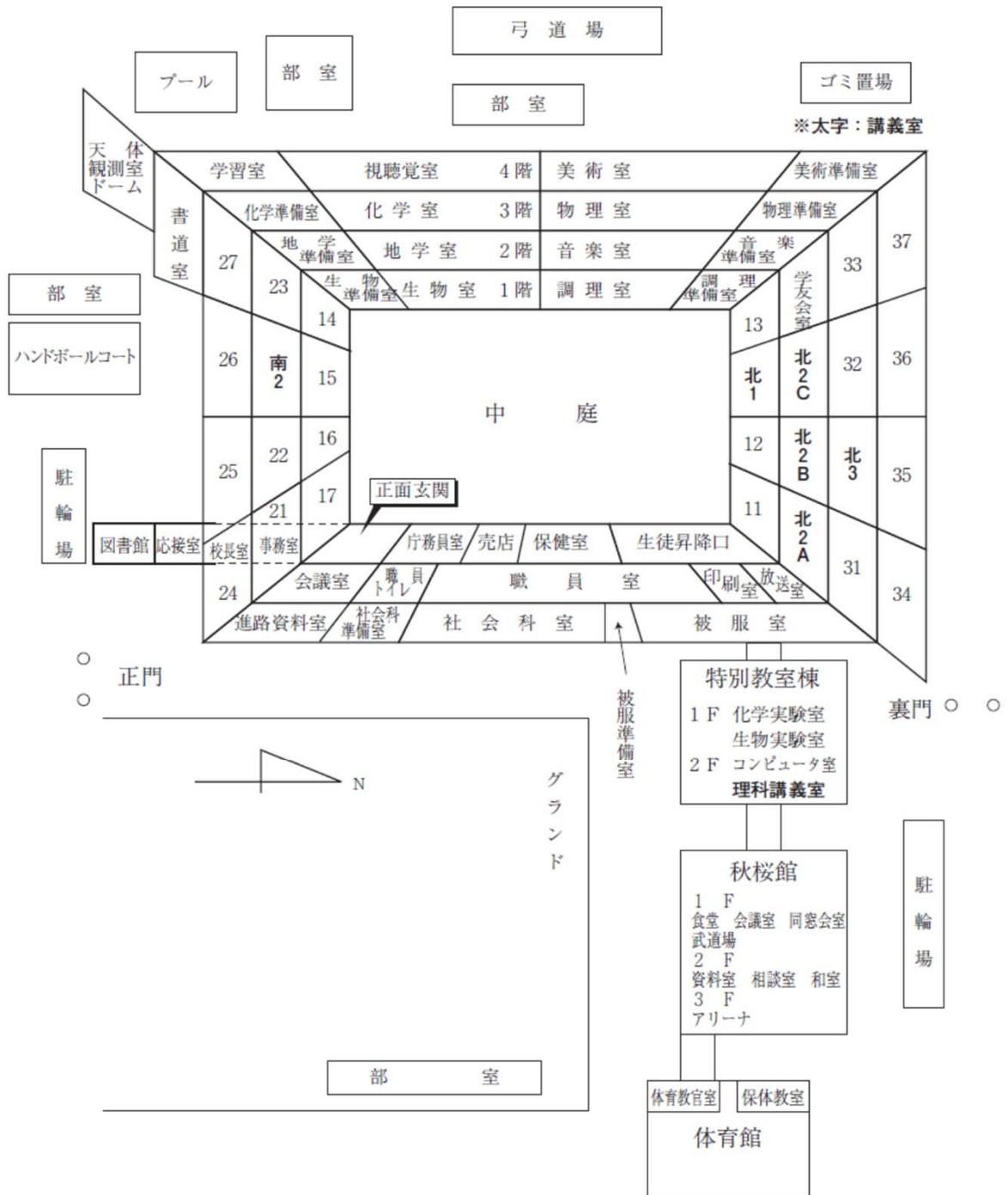
航空写真





宮城第一高等学校 配置図 S=1/1200

現有諸室配置図(概略図)



解体建物等一覧

添付5上の番号	名称	構造	階数	築年	延床面積	再建築 (不要: ×)	備考
④	校舎(北棟)	RC	4	S41	3,181.28		
⑤	校舎(西棟)	RC	4	S42	1,177.91		
⑥	校舎(南棟)	RC	4	S43	521.87		
⑦	校舎(東棟)	RC	3	S44	3,145.45		
⑨	屋内運動場(体育館)	S	2	S46	1,968.22		仮設校舎と同時期に解体予定。
⑩	天体観測室	S	1	S51	16.64	×	
⑫	倉庫	RC	1	S44	81.00		
⑱	西器具庫	S	2	S54	157.99		
⑳	弓道場	S	1	S59	96.12		
㉒	渡り廊下	S	2	H10	61.48		校舎棟と特別教室棟を結ぶ部分。 校舎棟と同時期に解体予定。
㉔	運動部部室	S	1	H10	134.29		
㉕	文化部部室	S	2	H10	179.75		
㉖	油庫	CB	1	H10	4.84		
㉗	プール附属棟	RC	1	H12	182.05	×	
㉙	部室(運動部)	S	1	H20	120.00		
⑳	屋外トイレ	RC	1	H20	36.00		
㉓	プール	FRP	1	H12	743.60	×	工作物
㉔	駐輪場	S	1	H18	128.28		工作物

## 現有諸室一覧

分類	室名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	備考
管理諸室	校長室	1	41.25	
	応接室	1	56.25	
	職員室	1	202.50	
	事務室	1	71.25	
	事務室倉庫	1	11.40	
	図書館	1	195.00	
	書庫	1	28.50	
	庁務員室	1	18.00	
	相談室	1	14.40	
	保健室	1	67.50	
	会議室	1	90.00	
	放送室	2	36.00	
	進路資料室	1	95.50	
	印刷室	1	31.50	
	購買(売店)	1	9.00	
		小計	16	968.05
普通教室	普通教室	28	1,890.00	選択教室・学生会室(生徒会室)を含む。
	小計	28	1,890.00	
特別教室	物理室	1	150.00	
	物理準備室	1	75.00	
	地学室	1	150.00	
	地学準備室	1	75.00	
	生物室	1	150.00	
	生物準備室	1	75.00	
	化学室	1	150.00	
	化学準備室	1	75.00	
	被服室	1	136.50	
	被服準備室	1	40.95	
	調理室	1	150.00	
	調理準備室	1	75.00	
	書道室	1	67.50	
	美術室	1	150.00	
	美術準備室	1	75.00	
	視聴覚室	1	150.00	
	学習室	1	75.00	選択授業等で使用。
	音楽室	1	150.00	
	音楽準備室	1	75.00	
	社会科室	1	95.55	
	社会準備室	1	40.95	
天体観測室	1	81.00		
	小計	22	2,262.45	
共用部分	生徒昇降口	1	202.50	
	東トイレ	3	55.35	
	北トイレ	4	140.00	
	南トイレ	3	90.00	
	職員用トイレ	1	17.10	
	その他共用部		2,481.50	
	小計	12	2,986.45	
			8,106.95	
附属建物	西器具庫	1	157.99	
	倉庫	1	81.00	
	プール附属棟	1	182.05	
	部室(運動部)	1	120.00	
	文化部部室	1	179.75	
	弓道場	1	96.12	
	運動部部室	1	134.29	
	屋外トイレ	1	36.00	
	その他		57.35	
		小計	8	1,044.55
屋内運動場 (体育館)	アリーナ	1	1,302.00	
	ステージ	1	84.00	
	控え室	2	60.00	
	男子更衣室	1	45.00	
	女子更衣室	2	80.00	
	トレーニング室	1	100.00	
	トイレ	2	20.00	
	玄関	1	37.50	
	保体教室	1	60.00	
	倉庫	1	100.00	
	体育教官室	1	37.50	
	シャワー室	1	20.00	
	階段	1	22.00	
	小計	16	1,968.00	
	総合計		11,119.50	
工作物	駐輪場	5	347.30	

## 必要諸室一覧(目安)

分類	室名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	備考
管理諸室	校長室	1	40.00	
	応接室	1	58.00	
	職員室	1	280.00	
	事務室	1	70.00	
	事務室倉庫	1	10.00	
	書庫	1	20.00	
	図書館	1	250.00	
	書庫	1	30.00	
	司書室	1	25.00	
	技師室	1	18.00	
	技師室倉庫	1	20.00	
	相談室	2	28.00	
	保健室	1	74.00	健康相談室(保健室の内部屋)を含む。
	会議室	1	140.00	
	放送室	1	30.00	
	進路資料室	1	80.00	
	印刷室	1	30.00	
	購買(売店)	1	9.00	
	職員更衣室(男)	1	20.00	
	職員更衣室(女)	1	20.00	
	職員休憩室(男)	1	10.00	
	職員休憩室(女)	1	10.00	
	学友会室(生徒会室)	1	30.00	
	小計	24	1,302.00	
普通教室	普通教室	21	1,512.00	
	選択教室(小)	6	270.00	選択授業で使用。
	選択教室(中)	1	90.00	同上。間仕切り等で分割して使用することを想定。
	大講義室	1	400.00	
小計	29	2,272.00		
特別教室	物理実験室	1	130.00	
	物理地学準備室	1	60.00	
	地学実験室	1	130.00	
	生物実験室	1	130.00	
	生物化学準備室	1	60.00	
	化学実験室	1	130.00	
	薬品保管室	1	21.00	
	被服室	1	130.00	
	家庭科準備室	1	60.00	
	調理室	1	130.00	
	美術室	1	130.00	
	美術準備室	1	41.50	
	視聴覚室	1	150.00	
	音楽室	1	130.00	
	音楽準備室	1	25.00	
	ピアノ室	2	24.00	
	楽器倉庫	1	25.00	
	国語・数学科室	1	30.00	
	英語・社会科室	1	30.00	
	小計	20	1,566.50	
共用部分	昇降口・来賓玄関	1	202.50	
	東トイレ	3	55.40	
	北トイレ	4	140.00	
	南トイレ	3	90.00	
	職員用トイレ	1	17.10	
	来賓用トイレ	1		共用部分3120.7m <sup>2</sup> の中で、「来賓用トイレ」の設置を希望。
	身障者用EV	4	20.00	@5m <sup>2</sup> ×4階
	その他共用部		2,595.70	階段・廊下等
	小計	34	3,120.70	※共用部率37.7% (共用部分/校舎棟合計)
校舎合計		8,261.20		
附属建物	西器具庫	1	158.00	
	倉庫	1	81.00	
	部室(運動部)	1	120.00	
	文化部部室	1	180.00	
	弓道場	1	96.00	
	運動部部室	1	134.00	
	屋外トイレ	1	36.00	
	その他		100.00	
	小計	7	905.00	
屋内運動場	アリーナ	1	1,302.00	
	ステージ	1	84.00	
	控え室	2	60.00	
	男子更衣室	1	45.00	
	女子更衣室	2	80.00	
	トレーニング室	1	100.00	
	トイレ	2	20.00	
	玄関	1	37.50	
	保体教室	1	60.00	
	倉庫	1	100.00	
	職員室(体育教官室)	1	37.50	
	シャワー室	1	20.00	
	階段	1	22.00	
	小計	16	1,968.00	
総合計		11,134.20		
工作物	駐輪場	5	347.30	解体・再建築2+現有存続3

# 学 校 要 覧

平成 30 年度



宮城県宮城第一高等学校

〒980-0871 仙台市青葉区八幡一丁目 6 番 2 号

TEL 022 (227) 3211

FAX 022 (227) 3213

<http://www.miyaichi.myswan.ne.jp/>

# 校 歌

旗 野 十 一 郎 作 詞  
山 田 源 一 郎 作 曲

す す む ま な び の み ち の お く ち  
よ ち ェ う も じ に ち な む さ と わ  
ざ の な る ひ を ま つ し ま の ま  
つ か い も は や ち が の う ー ら こ  
れ わ が と の の も の と し て よ  
そ に す ぐ れ し と こ ろ な り

一、すすむ学びのみちのおく

千代てふ文字にちなむ郷

業の成る日を松島の

まつかひもはや千賀の浦

これわが校とののものとして

よそに優れしところなり

二、とはに青葉の映る窓

あけくれ書に向ふ山

時はこがねの華と咲き

世に誉ある名取川

これわが校とののものとして

よそに優れしところなり

(明治三十二年秋制定)

# 目 次

I	学校沿革並びに歴代校長	1
II	教育計画	3
A	教育目標	3
B	学校経営方針	3
C	校務組織表	8
D	校内各種委員会一覧	9
E	教育課程	10
F	行事予定	11
III	教職員組織	13
A	定数	13
B	教職員一覧	13
C	校内分掌・各部諸係	15
IV	生徒に関する事項	17
A	設置課程・学科及びクラス別生徒数	17
B	各種統計	17
1.	保護者現住所	17
2.	通学方法	17
3.	出身中学校	18
4.	進路状況	19
C	卒業生数	21
D	学友会	22
1.	学友会組織図	22
2.	部・同好会・愛好会登録状況	23
V	図書館	24
A	設備	24
B	在庫図書数	24
C	視聴覚関係	24
VI	校舎配置図1	25
〃	2	26
VII	P T A	27

# I 学校沿革並びに歴代校長

## A 学校沿革抄

明治30.	4.	12	仙台市高等女学校として開校（所在地：仙台市東二番丁42番地）
32.	9.		校舎新築移転（所在地：仙台市元寺小路143番地，密乗院跡）
32.	11.		校歌制定
33.	4.	1	県移管 宮城県高等女学校と改称 補習科設置
			定員本科補習科合計400名
34.	4.	1	宮城県立高等女学校と改称
34.	7.		県立宮城県高等女学校と改称
35.	10.		定員450名（本科補習科合計）
37.	4.		技芸専修科（二年制）設置（定員100名）
37.	6.		宮城県立高等女学校と改称
39.	4.		校章制定
44.	4.		実科（三年制）設置（定員150名）
45.	3.		技芸専修科廃止
45.	4.	27	創立十五周年記念式
大正2.	3.		補習科廃止
5.	2.		本科定員600名
7.	3.		実科廃止
7.	4.		宮城県立第一高等女学校と改称
8.	11.		宮城県第一高等女学校と改称
11.	4.	22	創立二十五周年記念式
昭和2.	10.	29	創立三十周年記念式
3.	4.		定員800名
12.	11.	12	創立四十周年記念式
15.	4.	12	黒川郡富谷村に学校林を設ける（紀元二千六百年記念事業 20,231㎡）
20.	7.	10	仙台空襲により校舎全焼。二高女，連坊小，盲啞学校に分散授業。
21.	4.		学校令改正により修業年限五年となる
22.	10.	30	仙台市北六番丁210番地に校舎新築移転（旧二高跡）
22.	11.	12	創立五十周年記念式並びに新校舎落成式
23.	4.	1	学制改革により新制高等学校となり宮城県第一女子高等学校と改称，定員900名
24.	4.	25	学友会結成
24.	6.	1	P T A結成
24.	10.	20	講堂落成式 第1回文化祭
27.	4.	30	財団法人奨学会設立
28.	7.	25	八幡一丁目（旧中島丁旧宮城女師）現在地に移転（昭和32.2まで宮三女高と同居）
29.	10.	29	講堂兼体育館新築落成
30.	4.		専攻科（修業一年定員80名）設置
32.	4.	1	校地拡張 旧付属小学校 面積9,900㎡
32.	7.	10	循環式滅菌濾過装置プール竣工式（創立六十周年記念事業の一環）
32.	10.	19	創立六十周年記念式
33.	3.	29	校舎新築期成会発会式
38.	4.	1	定員1,050名（一学年9学級，二・三年6学級）—9学級制開始
39.	4.	1	定員1,200名（一・二年9学級，三学年6学級）
40.	3.	31	専攻科廃止
40.	4.	1	定員1,350名（全学年9学級）
40.	9.	17	新校舎建設着工
41.	9.	1	普通教室16室 特別教室4室完成，二・三年生新校舎へ移転
42.	4.	1	特別教室4室完成 使用開始
43.	4.	26	創立七十周年記念式，創立七十周年記念会館新築落成
44.	5.	29	全校新校舎に移転
44.	7.	19	一年夏季特別研修開始
45.	3.	25	旧校舎解体運動場整地完了
45.	10.	26	新体育館建築着工
46.	4.	1	募集定員一学年405名（一学級45名，二・三年50名）
46.	6.	11	新校舎，新体育館落成記念式
47.	10.	9	全校遠足（修学旅行は中止）
48.	10.	1	服装自由化実施
50.	7.	1	クラブ活動後援会設立
52.	3.	1	記念会館前庭園造成
52.	4.	1	仙台北学区制発足
52.	11.	1	創立八十周年記念式
53.	3.	6	教育振興会設立

昭和	53.	10.	12	二年秋季研修開始
	54.	2.	15	クラブ活動器具庫兼部室竣工（二棟）
	54.	12.	21	天体観測室竣工
	56.	3.	25	自転車置場竣工
	57.	3.	31	管理棟外装工事竣工
	59.	6.	10	弓道場竣工
	62.	9.	30	中庭竣工（創立九十周年記念事業の一環）
	62.	10.	30	創立九十周年記念式
平成	5.	3.	30	自転車置場竣工
	5.	8.	21	視聴覚教室に冷暖房設置
	6.	3.	14	推薦入試導入される
	6.	7.	21	校舎大規模改造工事開始
	7.	4.	1	募集定員一学年387名（一学級43名，二・三年45名）
	8.	4.	1	募集定員一学年360名（一学級40名，二年43名，三年45名）
	8.	9.	30	校舎大規模改造工事竣工
	9.	4.	1	理数科設置二学級80名 募集定員一学年360名（普通科280名・理数科80名）
	9.	9.	19	秋桜館竣工
	9.	11.	7	創立百周年記念式典
	10.	3.	25	特別教室棟，新部室竣工
	11.	3.	26	バックネット・防球ネット竣工
	12.	3.	31	プール竣工
	14.	2.	13	体育館小規模改修工事竣工
	14.	4.	1	募集定員一学年320名（普通科240名・理数科80名）
	14.	5.	23	文部科学省「スーパーサイエンスハイスクール」の教育研究開発校に指定される
	16.	6.	30	保健室空調設備設置
	17.	2.	28	校内LAN整備
	18.	6.	9	駐輪場・外構工事竣工
	18.	11.	24	校舎外1棟耐震補強工事竣工
	19.	4.	1	募集定員一学年280名（普通科200名・理数科80名）
	19.	6.	20	創立百十周年記念式典
	20.	1.	18	男女共学化・耐震補強工事竣工
	20.	4.	1	宮城県宮城第一高等学校と改称（単位制移行） 男女共学開始（普通科男子9名，女子191名・理数科男子16名，女子64名入学）
	23.	1.	11	南校舎トイレ改修工事竣工
	24.	3.	16	北校舎トイレ改修工事竣工
	26.	2.	21	連絡通路改修工事竣工
	26.	9.	26	理科講義室空調設備工事竣工
	26.	12.	24	体育館窓外部防護ネット設置工事竣工
	27.	1.	9	FFストーブ更新工事竣工
	27.	3.	19	文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」の研究開発校に指定される
	28.	12.	6	英国シテイ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールと姉妹校締結
	29.	11.	10	創立百二十周年記念式典

## B 歴代校長

		在職期間				在職期間			
1.	国分 行道	明30.	4～明36.	3	17.	鎌本 武男	昭55.	4～昭58.	3
2.	和達 孚嘉	〃36.	3～〃38.	4	18.	瀬戸 渉	〃58.	4～〃61.	3
3.	大沢 彌治	〃38.	4～大10.	5	19.	関 壽和	〃61.	4～平 2.	3
4.	和田喜八郎	大10.	5～〃13.	7	20.	平井 英夫	平 2.	4～〃 4.	3
5.	宮田勝三郎	〃13.	10～昭 2.	8	21.	山下 裕	〃 4.	4～〃 6.	3
6.	山下勝太郎	昭 2.	9～〃10.	4	22.	荒 環	〃 6.	4～〃 8.	3
7.	斎藤 文	〃10.	4～〃17.	5	23.	佐藤 成晃	〃 8.	4～〃10.	3
8.	金内 五七	〃17.	5～〃17.	9	24.	加茂 宏	〃10.	4～〃13.	3
9.	諸石 靖	〃17.	12～〃21.	11	25.	舟越 總真	〃13.	4～〃17.	3
10.	樋口 佐平	〃21.	11～〃27.	4	26.	村松 健	〃17.	4～〃19.	3
11.	長田雅太郎	〃27.	5～〃30.	6	27.	黒川 利司	〃19.	4～〃21.	3
12.	江渡 丈夫	〃30.	7～〃40.	3	28.	大内 悦夫	〃21.	4～〃23.	3
13.	村上 忠孝	〃40.	4～〃44.	3	29.	佐々城 洋	〃23.	4～〃26.	3
14.	片平 正人	〃44.	4～〃48.	3	30.	石上 正敏	〃26.	4～〃28.	3
15.	松田 文人	〃48.	4～〃52.	3	31.	庄子 英利	〃28.	4～〃30.	3
16.	高橋 清久	〃52.	4～〃55.	3	32.	吉野 隆	〃30.	4～	

## Ⅱ 教 育 計 画

### A 教育目標

#### 個性の確立（個人生活）

- 1 人格の尊厳を自覚させ、自分及び他人の人格を互いに尊重する態度を養う。
- 2 真実を尊び真理を探究する精神を昂揚して、文化に対する広く深い理解力を養う。
- 3 自主自律的な実践力を培い、健全な批判力を養う。
- 4 さまざまな困難を自ら克服していく強い意思を養う。

#### 社会性の陶冶（家庭生活及び社会生活）

- 1 遵法の精神を涵養し、正しい権利の行使と義務遂行の習慣をつける。
- 2 他人の言動を理解し包容する寛容の精神を養うと共に、常に他人と協調する積極的な生活態度を養う。
- 3 正義と秩序を重んずる精神を養い、常に責任をもって発言し行動する意思と態度を養う。
- 4 他人に迷惑をかけず、進んで善をなす態度を養う。

#### 職業教育（経済生活及び職業生活）

- 1 社会生活における勤労の意義を理解させ、勤労を愛し尊ぶ習慣を養う。
- 2 自発的に創意工夫し、能率的に事を処理する能力を養う。
- 3 職業を理解させ、職業に対する適性を伸張せしめ、職業選択の能力を養う。

#### 明るい生活の創造（総合）

- 1 健康な身体と健全な生活意欲を培い、常に健康を維持するために必要な知識を与える。
- 2 豊かな情操と調和的な性格を養い、常に生活を享受する感覚と余暇を有効に利用する態度と能力を養う。

### B 学校経営方針

- 1 開かれた学校運営をとおして、すべての教育力を結集し、本校教育目標の達成を目指す。
- 2 教育活動をとおして生徒一人ひとりの潜在的な力を引き出すとともに、教職員のさらなる資質と力量の向上に努める。
- 3 ねらいを明確にした、意図的・計画的な教育活動を展開するとともに、そのためにそれぞれの責任を明確化し、組織的な取組を推進する。

#### 1 本年度の重点項目

本校がこれまでに培ってきた歴史と伝統を「継承」とともに、本校を取り巻く社会環境の変化と生徒の実態に十分に対応し、今後も発展し続ける宮城第一高校を「創生」する。

- (1) 一人一人が輝く魅力ある学校づくりを推進するために、年次、分掌、教科において、具体的な実施計画を策定し、組織的にその実現を図る。
- (2) 生徒の学力向上に向け、授業研究（ICTの利活用の研究や主体的・対話的で深い学びの具現化の取組等）を積極的に推進する。
- (3) 理数科教育の充実に努めるとともに、生徒全員の進路希望の実現に向け、全ての教職員が共通理解し組織的に指導にあたる。
- (4) 部活動の一層の充実に努める。
- (5) 校舎改築に向けて業務の着実な推進を図るとともに、本校の将来構想策定に向けて準備を進める。
- (6) 新しい高校入試への準備を進め、新学習指導要領の研究をさらに深める。
- (7) 通級指導に関する研究と取組を推進する。

#### 2 本年度の学校運営上の配慮事項

- (1) 本校の抱える教育課題解決のために、組織間の連携を密にしながら、年次・学級経営、学習指導、生徒指導、進路指導等の充実に努める。
- (2) 学校評価・授業公開等を十分に活用し、開かれた学校づくりを一層推進するとともに、学習指導にあたっては、教科内の共通理解の確保及び指向性の共有等により、各教職員の個性的・自立的・創造的な教育活動のより効果的な展開を図る。

- (3) 「明るく、楽しく、安心できる学校づくり」のために、生徒の個性・能力・特色を生かすように各組織の連携に努める。
- (4) 進学重視型単位制高校のメリットを最大限活かし、習熟度別授業や少人数授業等でよりきめ細やかな指導を行い、生徒一人ひとりを伸ばし、進路目標の達成につなげる。
- (5) 本校の魅力をアピールするために、県内各中学校や民間教育団体への情報発信を積極的に推進するとともに、新しい高校入試への対応の準備を進める。
- (6) 理数科の特色を充実させ、なお一層魅力ある教育活動を推進する。
- (7) 生徒のメンタルケアを重視し、校内におけるカウンセリング体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、通級指導のあり方についての研究を進める。

### 3 各部・各年次の重点目標

#### <企画研究部>

##### 重点目標

##### (1) 企画事業

学校の自主性・自律性の確立と創意工夫による特色ある学校づくりに向け、教育活動の企画事業の実施を図る。

- ① 国際交流事業の充実と発展を目指す。
- ② 総合的な学習の時間を通して、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。
- ③ 高大連携事業を充実させ、生徒の将来における研究への意識・関心を高める。
- ④ 生徒自身による進路目標設定とその実現に向けた一助としてC C I事業を実施する。

##### (2) 研究事業

次の研究事業を推進し、教員の資質・指導力向上に努めるとともに、本校の将来構想の作成とその実現を図る。

- ① 高度な教育を受けるに足る生徒の育成に向けた教員の授業改善の意識向上に努める。
- ② 変わりゆく教育システムに対応するため、I C Tを積極的に活用した教員研修を実施する。
- ③ 教員の授業力向上を目指し、研究授業（公開授業）の実施を支援する。
- ④ 本校の未来構想を見据えたカリキュラムの開発・研究に努める。

##### (3) 調査事業

組織間の連携を深めながら、学校経営の基盤となる調査事業の実施を図る。

- ① 生徒の学力向上を目指し、授業評価の実施と分析・評価・改善が継続的に行われる体制を整える。
- ② よりよい学校経営を目指し、校内外における学校評価の実施と分析・評価・改善を実施する。

##### (4) 広報事業

広報事業を活性化させ、開かれた学校づくりを推進する。

- ① 学校のHP更新を円滑に行うなど、I C Tを活用した情報発信に努める。
- ② 学校案内を作成し、校外への広報活動を推進する。
- ③ 各種学校説明会へ積極的に参加し、本校の魅力について校外に発信する。
- ④ 学校通信を発行し、本校の教育活動を広く知らせる。

#### <総務部>

(1) 校内各部署との連携を深めながら、校務の円滑な運営を図る。

(2) 諸行事の企画・調整を行い、常に課題を検証しながら運営の改善を図る。

(3) P T A組織の充実、活動の活性化に努め、学校と家庭の連携を図る。

(4) 実効的な防災体制づくりと訓練に努め、必要に応じてマニュアルの改善を図る。

#### <教務部>

(1) 生徒の学力向上に対する環境の整備

- ① 全校体制で、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせ、家庭学習時間の確保に努めさせる。
- ② 55分授業の実施により、授業時間数を十分確保し、質の高い充実した指導を実現する。
- ③ 授業、定期考査、実力テスト等への取り組みに関し、生徒の意識をより一層高める。
- ④ シラバスを生徒に配付し、計画的に学習に取り組ませる。

- ⑤ 生徒が授業や家庭学習で生じた疑問を質問できる体制づくりに努める。
- ⑥ 成績不振者に対するよりきめ細かな指導体制の確立を図る。
- (2) 学習指導に関する研修体制の確立
  - ① 各教科の研究授業実施を支援する。
  - ② 生徒の実態把握のための追跡資料を作成し提供する。
  - ③ 開かれた学校づくりに対応した学校公開日を設定する。
- (3) 進学重視型単位制の確立
  - ① 単位制のメリットを最大限に活用し、生徒一人ひとりの興味・関心や進路目標に可能な限り対応する指導体制の確立に努める。
  - ② 中学校（中学生・保護者・教職員）への広報活動に力を入れる。

### <進路指導部>

一人ひとりの生徒が自分の将来の生き方や在り方について考え、主体的に進路目標を定め、それを実現する力を身につけさせられるよう、計画的・継続的・組織的な指導を行う。

#### 各年次での進路目標

- 1年次 自己理解。社会について知る。
- 2年次 社会と学問の関係について理解を深めながら大学研究を行う。
- 3年次 志望校研究。希望進路を実現する。

#### 重点目標

- (1) キャリア教育の充実
  - ① 進路希望調査やスタディサポート、模擬試験等を利用し、個々の生徒に対応するきめ細やかな進路情報の提供と情報交換、共有を図る。
  - ② 進路目標設定と強い意欲の維持を図るため大学説明会やオープンキャンパス、大学からの情報の積極的な活用を図る。
- (2) 実力考査・校内模試・校外模試の効果的活用を図る。
  - ① 模試分析会の実施により、年次・教科との共通理解を図り生徒への指導を行う。
  - ② 生徒への模擬試験の事前事後指導を充実する。
  - ③ 模擬試験結果データの管理、分析、活用の工夫を図る。
  - ④ 効果的活用に向けて研究・検討を行う。
- (3) 課外講習の充実
 

生徒の実態に対応した課外講習を計画し、生徒の進路希望実現に有効なものとする。
- (4) 進路資料の整理並びに進路情報の有効活用
  - ① 生徒に対して有効かつ精選した進路情報を提供する。
  - ② 教員に対する進路情報の提供をスムーズに行えるよう情報管理体制の充実を図る。
  - ③ 教員に対して新大学入試制度についての情報提供を行い、変化する入試制度に対応した生徒への指導についての研究、分析を行っていく。

### <生徒部>

- (1) 基本的な生活習慣を身につけさせ、自主・自律的な生活の確立を図る。
- (2) 生徒の各種委員会を支援し、生活全般に対する意識を喚起する。
- (3) 部活動、学校行事等に積極的に取り組み、本校の校風と伝統を自覚させると共に、学校生活の充実を図る。
- (4) 安全教育の充実とマナーアップの推進を図る。

### <保健厚生部>

- (1) 生徒の健康保持増進に向けた支援体制の確立
  - ① 生徒の健康診断を効果的に実施し、疾病異常の早期発見に努め、事後措置を行う。
  - ② 生徒の健康相談、校医による健康相談の充実を図り、生徒の健康の保持増進に積極的に取り組む。
- (2) 教育環境の整備・充実に努める
  - ① 3S（整理・整頓・清掃）を徹底し、衛生的で学習効果の高い環境の確立を図る。
  - ② 特に生徒のトイレ使用のマナーの向上とトイレ掃除の徹底を図る。

- ③ 大掃除において、普段実施されにくい個別の場所の清掃・整頓を行う。
- (3) カウンセリングを基軸とする個々の生徒への支援体制の充実化
  - ① 様々な悩みや問題を抱える生徒にきめ細かく対応し、健全でより充実した学校生活を送れるように支援する。
  - ② 情報交換会・ケース会議を充実させ、各年次・各分掌との連携を密にして、生徒に対し適切かつ十分な支援ができるようにする。
  - ③ アンケートや研修会を実施し、多様化する生徒に対し柔軟な指導ができるような支援体制の充実に努める。

#### <図書 I T 部>

- (1) 授業及び進路達成に向けての資料となる書籍を充実させる。
- (2) 自学の場として、図書館の快適な学習環境を維持向上させる。
- (3) 校務処理の円滑な運営を目指し、校務支援システムの保守を行う。
- (4) 校内の I T 機器（パソコンやプリンター等）の把握と管理を行う。
- (5) L H R での読書会の活性化を推進する。
- (6) 図書委員会活動を充実させる。
- (7) 視聴覚機材を授業・課外・クラスの活動等において円滑に利用できるように管理する。
- (8) 青年期の読書が生涯にわたる実りにつながるよう読書習慣を育成する。

#### <理数部>

##### 目標

- (1) 基礎基本の習得に重点を置いた丁寧な指導で学習内容の定着を図るとともに、実験、観察、演習に十分時間をかけ、科学的な事象に対する興味・関心、洞察力や科学的思考力を高めるための教育課程の編成・実行を目指す。
- (2) 様々な分野の最先端の研究に触れる機会を提供し、自然科学や数学に対する興味・関心を高め、学習意欲や進路意識の向上を目指す。
- (3) 研究結果や考えを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養い、将来、国際社会で貢献する科学者・研究者・医療従事者・技術者等を目指す人材の育成を目指す。

##### 今年度の重点目標

- (1) 本校理数科の特色づくりとその実現に向けた取り組みを継続する。
- (2) 「課題研究」について体系的な指導を行い生徒の主体性を伸ばす。
- (3) 高大連携事業等を充実させ、大学における研究への関心を高める。
- (4) 広報活動をより活性化し、理数科の魅力について校外に発信する。
- (5) 本校理数科の将来像について、学校全体としても方向性を考える。

#### <事務部>

- (1) 一人一人の資質能力の向上と職種別の専門性を高め、「チーム事務室」としての組織力の強化を図る。
- (2) 経費節減に努め、適切かつ効率的な予算執行を行う。
- (3) 第二グラウンドの管理替及び校舎改築に向け着実な推進を図る。
- (4) 施設設備の危険箇所の早期発見及び迅速な修繕対応に努め、安心・安全な学習環境を図る。

#### <1年次>

##### (1) 学習指導

- ① 自主的・主体的な学習態度を確立させ、基礎学力の充実を図る工夫を行う。
- ② 学習の記録をつけさせ、学習量を常に意識させて確固たる学習習慣を身につけさせる。
- ③ 知的関心を高め、自己実現を図るための機会を積極的に設ける。
- ④ I C T を利用した学習指導を積極的に取り入れる。

##### (2) 生徒指導

- ① 高校生としての生活習慣を身につけ、時間の厳守、ルールやマナーを守る指導を行う。
- ② 学校行事、学友会活動、部活動などへの積極的な参加を促し、互いの高め合いを通して、充実した有意義な学校生活を送れるように指導する。

③ 清掃活動に積極的に取り組み、清潔で整った学習環境を維持させる。

(3) 進路指導

- ① 自己啓発に資する機会を与え、自己の適性、能力を見出させ、自分にふさわしい進路目標を考えさせる。
- ② 二者面談・三者面談、進路講演会等を通して、適切な進路指導を行う。
- ③ 適切な進路情報や資料を与え、進路実現の一助とする。
- ④ e-ポートフォリオの活用により、データを蓄積させ、進路指導に活用する。

< 2年次 >

(1) 学習指導

- ① 自主的・主体的な学習態度を確立させ、より高いレベルを目指して自ら学習に励む姿勢を育てる。
- ② 予習・復習を徹底させ、授業を中心とした学習の遂行と意欲的な確固たる学習習慣を定着させる。
- ③ 知的関心を高め視野を拡大し、自己実現を図るための機会を積極的に設ける。

(2) 生徒指導

- ① 基本的な生活習慣を保持しながら、礼節を持って他人に接し、互いに思いやりのある人間関係を構築させる。
- ② 学校行事、学友会活動、部活動などへの積極的な参加を促し、各自が進んで責任ある役割を果たすことで有意義で充実した学校生活を送るようにさせる。
- ③ 自己の個性や適性についての理解を深めさせ、志を高く持つよう意欲を喚起するとともに心の健康について十分に留意させる。
- ④ 清掃活動に積極的に取り組み、整った学習環境の維持を図る。

(3) 進路指導

- ① 自己啓発に資する機会を与え、自己の適性・能力をよく理解し、自分にふさわしい進路希望の明確化とその実現のための努力を促す。
- ② 二者・三者面談、総合的な学習の時間、LHR等を通じ、適切な進路情報や資料を与えながらより高い進路意識の涵養に努めさせる。
- ③ 大学見学や説明会などへの積極的な参加を促すことで、進路目標の実現に向けて志望学部・大学等についての理解を深めさせる。

< 3年次 >

(1) 学習指導

- ① 授業を中心とした学習計画の遂行に努めさせ、総合的な学力の養成をはかって希望進路達成の礎とする。
- ② 自主的・主体的な学習ができるよう、個人面談等をとおして生徒理解に努め、個々に応じた指導を心がける。

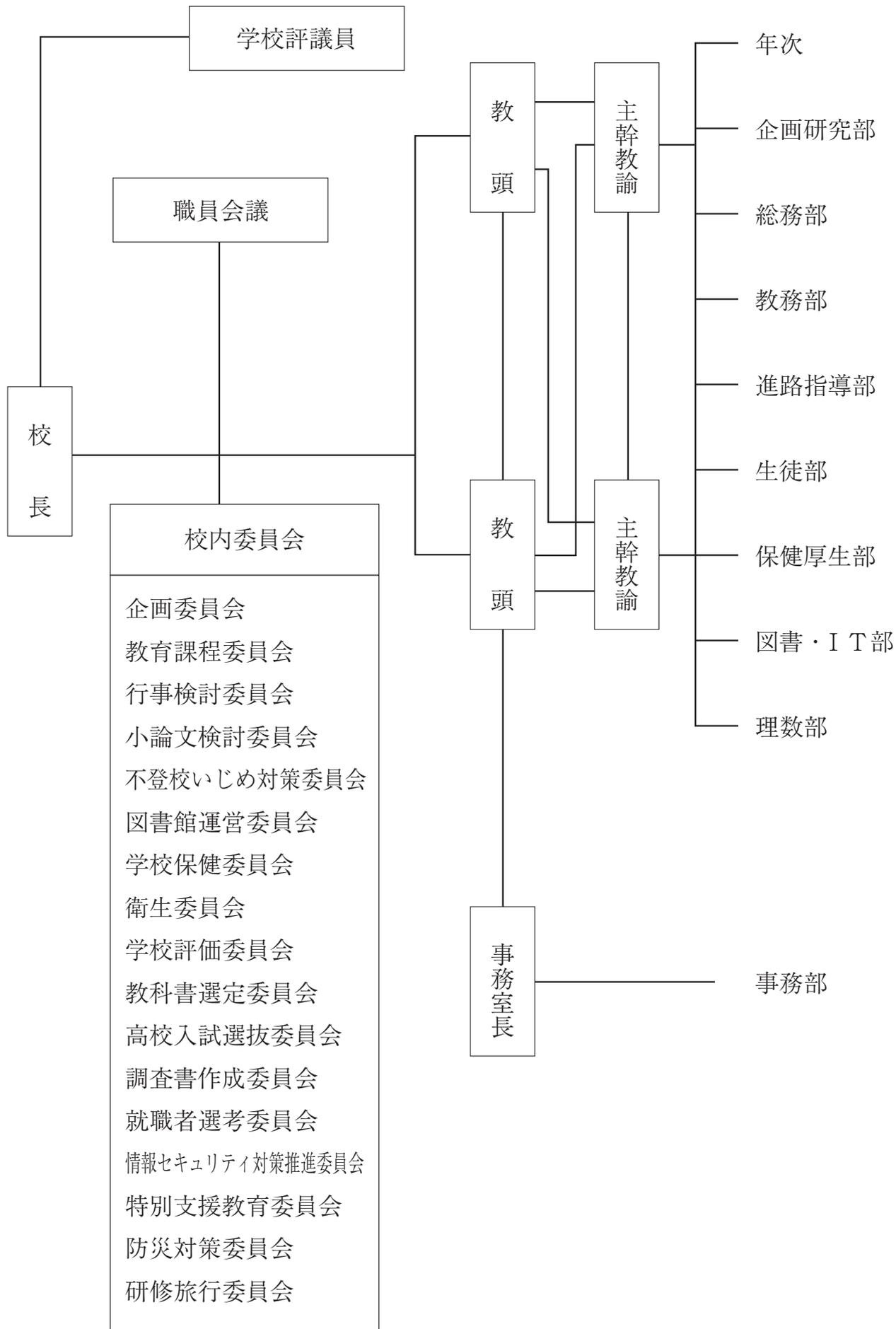
(2) 生徒指導

- ① 最上級生としての自覚を持たせ、学校行事、学友会活動、部活動などさまざまな場面において責任感・指導力・リーダー性を発揮できるよう指導する。
- ② 常に心身の健康に留意して規則正しい生活習慣を維持するよう促すとともに、社会に対する視野も広げて、有り得べき社会性を身につけさせる。
- ③ 常に礼節を持って他人に接し、互いに思いやりのある人間関係を構築し、クラスや年次、部活動等の中で自らの役割を果たす高い意識をもって行動する姿勢を養成する。
- ④ 清掃活動に積極的に取り組み、整った学習環境の維持を図る。

(3) 進路指導

- ① 自己の能力・適性をよりの確に把握させるため随時面談や相談を実施し、進路決定・実現のために生徒・保護者・担任の相互理解を図る。
- ② 適切な進路情報の提供や大学紹介・進路講演会等の実施によって視野を広げさせ、多様な進路決定に対応できるよう配慮する。

C 校務組織表



## D 校内各種委員会一覧

	委員会名(人数)	主管	委員構成	協議内容
1	企画 (18)	教頭	校長・教頭(2)・事務室長・事務次長・主幹教諭(2)・各部部长(8)・年次主任(3)	学校運営全般に係わる事項
2	教育課程 (21)	教務	教頭(2)・主幹教諭(2)・企画研究部長・教務(6 ※部長を含む)・進路(1)・生徒(1)・理数部長・教科主任(社会は地歴・公民別に)(8)	教育課程の立案・実施, 評価に係わる研究, 校内研修推進に関する事項
3	行事検討 (17)	総務	教頭(2)・主幹教諭(2)・企画研究(1) 総務(2)・教務(2)・進路(1)・生徒(1)・保厚(1)・図書IT(1)・理数(1) 以上は部長を含む。各年次(3)・事務(1)	反省・要望会議の企画立案 年間計画の作成に関する事項
4	小論文(最大15)	進路	進路(部長を含む3)・各年次(3)・各教科(9) 進路と各教科の重複は可	校内小論文指導の企画立案・実施に関する事項
5	不登校・いじめ対策 (16)	保厚	教頭(2)・主幹教諭(2)・生徒(部長を含む2)・保厚(部長と養教2)・特別支援コ(2)・教務(部長を含む2)・各年次主任(3)	いじめの防止対策並びに不登校生徒の対応に関する事項
6	図書館運営 (12)	図書IT	図書IT(部長と司書を含む3)・各教科(9)	図書の選定や図書館業務全般に関する事項
7	学校保健(校内) (24)	保厚	教頭(2)・主幹教諭(2)・企画研究部長・総務部長・教務部長・進路部長・生徒部長・生徒部・保健厚生部全員(9)・保健体育科(1)・年次主任(3)・事務室長	生徒の安全管理, 健康管理, 保健指導に関する事項
8	衛生 (10)	事務	校長・教頭(2)・主幹教諭(2)・保厚部長・養護教諭(2)・事務(事務室長を含む2)	職員の安全と健康管理に関する事項
9	学校評価 (13)	企画研究	教頭(2)・主幹教諭(2)・企画研究部(部長を含む2)・総務部長・教務部長・進路部長・生徒部長・保健厚生部長・図書IT部長・理数部長	学校自己点検・自己評価の実施計画の企画立案に関する事項
10	教科書選定 (23)	教務	教頭(2)・主幹教諭(2)・教務(部長を含む6)・進路(1)・生徒(1)・理数部長・教科主任(社会は地歴・公民別に)(10) (事務室長: オブザーバー)	教科書採択に係わる調査・研究・選定に関する事項
11	高校入試選抜 (20)	教務	校長・教頭(2)・事務室長・主幹教諭(2)・教務(3)・各部部长(8)・年次主任(3)	高校入試に関する実施内容の企画・検討
12	調査書作成 (30)	進路	教頭(2)・主幹教諭(2)・3年次主任・3年正副担任2年次主任・生徒部長・進路(部長を含む4)・教務部長・情報リーダー(2)	調査書作成に関する事項 推薦入試に関する推薦希望者の選考に係わる事項
13	就職者選考 (30)	進路	教頭(2)・主幹教諭(2)・3年次主任・3年正副担任2年次主任・生徒部長・進路(部長を含む4)・教務部長・情報リーダー(2)	調査書作成に関する事項 就職に関する推薦希望者の選考に係わる事項
14	情報セキュリティ対策推進 (15)	教頭	教頭(2)・主幹教諭(2)・情報リーダー(2)・企画研究(1)・教務(1)・進路(1)・生徒(1)・総務(1)・保厚(1)・各年次(3)	情報セキュリティ対策基準の制定, ハードウェアの管理他
15	特別支援教育 (11+a)	教頭	校長・教頭(2)・主幹教諭(2)・特支援コーディネーター(2)・教務部長・生徒部長・保健厚生部長・養護教諭(2)・該当年次主任・組担任	特別支援教育に関する全校的な支援体制の確立等
16	防災対策 (15)	総務	校長・教頭(2)・主幹教諭(2)・防災主任・総務部長・企画研究部長・教務部長・進路部長・生徒部長・保健厚生部長・図書IT部長・理数部長・事務室長	防災計画の作成ならびに実施に関する事項
17	研修旅行(兼任可) (16)	教頭	教頭(2)・主幹教諭(2)・年次主任(3)・担当年次(2) 企画研究(1)・総務(1)・教務(1)・進路(1)・生徒(1) 理数(1) 国語科(1)・社会科(1) ※兼任可	2年次研修旅行に関する実施内容の企画・検討

## E 教育課程

単位	1 年 次		2 年 次		単位	
	普通科	理数科	普通科			理数科
			文系	理系		
1	国語総合(5)	国語総合(5)	現代文 B(2)		現代文 B(2)	
2			現代文 B(2)			
3			古典 B(2)	古典 B(2)		
4			古典 B(2)			
5	倫理(2)	世界史 A(2)	政治経済(2)		現代社会(2)	
6			現代社会(2)			
7	数学Ⅰ(3)/数学Ⅱ(1)	理数数学Ⅰ(6)	日本史 B(4)+世界史 A(2)	日本史 A(2), 地理 A(2)	理数数学Ⅱ(4)	
8			地理 B(4)+世界史 A(2)	から1科目選択(2)		
9			世界史 B(4)+日本史 A(2)	世界史 A(2)		
10			世界史 B(4)+地理 A(2)	化学(2)		
11			からいずれかを選択(6)	化学(2)	理数数学特論(3)	
12			数学 A(2)	化学(2)	理数数学特論(3)	
13	化学基礎(2)	理数化学(2)	《物理基礎(2)/物理(2)》	課題研究(1)		
14	生物基礎(2)	理数生物(2)	《地学基礎(2)/地学(2)》	理数物理(4)		
15	生物基礎(2)	理数生物(2)	《物理基礎(2)/生物(2)》			
16	情報の科学(2)	理数物理(2)	《地学基礎(2)/地学(2)》	理数化学(2)		
17	情報の科学(2)	理数物理(2)	《物理基礎(2)/生物(2)》			
18	体育(2)	体育(2)	からいずれかを選択(4)	理数生物(2)		
19	体育(2)	体育(2)	からいずれかを選択(4)			
20	保健(1)	保健(1)	数学Ⅱ(4)	理数生物(2)		
21	保健(1)	保健(1)	数学Ⅱ(4)			
22	音楽Ⅰ(2), 美術Ⅰ(2)	音楽Ⅰ(2), 美術Ⅰ(2)	《数学Ⅱ(3)/数学Ⅲ(1)》	理数化学(2)		
23	から1科目選択(2)	から1科目選択(2)	からいずれかを選択(4)			
24	コミュニケーション英語Ⅰ(4)	コミュニケーション英語Ⅰ(4)	数学 B(2)	理数生物(2)		
25			体育(3)			
26	英語表現Ⅰ(2)	英語表現Ⅰ(2)	保健(1)	理数生物(2)		
27			保健(1)			
28	英語表現Ⅰ(2)	英語表現Ⅰ(2)	コミュニケーション英語Ⅱ(4)	理数化学(2)		
29			コミュニケーション英語Ⅱ(4)			
30	家庭基礎(2)	家庭基礎(2)	英語表現Ⅱ(2)	英語表現Ⅱ(2)		
31	家庭基礎(2)	家庭基礎(2)	英語表現Ⅱ(2)	英語表現Ⅱ(2)		
32	総合的な学習の時間(1)	総合的な学習の時間(1)	総合的な学習の時間(1)	総合的な学習の時間(1)		
33	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)		
34	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)		

※一年次、数学Ⅱは数学Ⅰの履修後に行う。二年次、数学Ⅲは数学Ⅱの履修後に行う。  
《物理基礎(2)/物理(2)》、《地学基礎(2)/地学(2)》はそれぞれ基礎科目の履修後に基礎を付さない科目を行う。

単位	3 年 次		単位	
	普通科			理数科
	文系	理系		
1	現代文 B(2)		現代文 B(2)	
2	現代文 B(2)		現代文 B(2)	
3	古典 B(3)		古典 B(3)	
4	古典 B(3)		古典 B(3)	
5	体育(2)		体育(2)	
6	体育(2)		体育(2)	
7	体育(2)		体育(2)	
8	コミュニケーション英語Ⅲ(4)		コミュニケーション英語Ⅲ(4)	
9	コミュニケーション英語Ⅲ(4)		コミュニケーション英語Ⅲ(4)	
10	コミュニケーション英語Ⅲ(4)		コミュニケーション英語Ⅲ(4)	
11	英語表現Ⅱ(2)		英語表現Ⅱ(2)	
12	英語表現Ⅱ(2)		英語表現Ⅱ(2)	
13	英語表現Ⅱ(2)		英語表現Ⅱ(2)	
14	発展数学α(3), 音楽表現 B(2), 造形表現 B(2), 体育実践(2) から1科目選択(3 or 2)	数学Ⅲ(5), 実践数学α(5) から1科目選択(5)	理数数学Ⅱ(5)	
15				数学Ⅲ(5), 実践数学α(5)
16	から1科目選択(3 or 2)	から1科目選択(5)	理数数学Ⅱ(5)	
17	発展数学β(2), 音楽Ⅱ(2), 美術Ⅱ(2), 近代文学研究(2), フードデザイン(2) から1科目選択(2)	数学研究(2), 実践数学β(2) から1科目選択(2)	地理 B(4), 地理 A(2)+政治経済(2), 地理 A(2)+倫理(2) からいずれかを選択(4)	
18	から1科目選択(2)			
19	国語探究(2), 古典文学研究(2), 時事問題研究(2), 国際政治史(2), 数学探究(2), デザイン・素描(2) から1科目選択(2)	日本史 B(4), 地理 B(4), 世界史 B(4), 政治経済(2)+倫理(2), 政治経済(2), 倫理(2), 英語研究(2) からいずれかを選択(4 or 2)	理数数学特論(2)	
20	から1科目選択(2)			
21	日本史 B(4), 地理 B(4), 世界史 B(4) から1科目選択(4)	化学(4)	日本史 B(6), 世界史 B(6) から1科目選択(6)	
22	から1科目選択(4)			
23	政治経済(2), 倫理(2), 政治経済(2)+倫理(2), 世界史 B(4) からいずれかを選択(4 or 2)	化学(4)	理数化学(4)	
24	から1科目選択(4 or 2)			
25	生物研究 A(2), 化学研究 A(2), 地学研究 A(2), 古典文学研究(2), <英語探究(2) or 実践英語(2)> から1 or 2 科目選択(2, 4)	物理(4), 生物(4), 地学(4), 化学研究 B(2) から1科目選択(4 or 2)	理数物理(4), 理数生物(4), 理数地学(4) から1科目選択(4)	
26	から1 or 2 科目選択(2, 4)			
27	政治経済(2), 倫理(2), 政治経済(2)+倫理(2), 世界史 B(4) からいずれかを選択(4 or 2)	物理(4), 生物(4), 地学(4), 化学研究 B(2) から1科目選択(4 or 2)	理数物理(4), 理数生物(4), 理数地学(4) から1科目選択(4)	
28	から1科目選択(4 or 2)			
29	生物研究 A(2), 化学研究 A(2), 地学研究 A(2), 古典文学研究(2), <英語探究(2) or 実践英語(2)> から1 or 2 科目選択(2, 4)	物理(4), 生物(4), 地学(4), 化学研究 B(2) から1科目選択(4 or 2)	理数物理(4), 理数生物(4), 理数地学(4) から1科目選択(4)	
30	から1 or 2 科目選択(2, 4)			
31	政治経済(2), 倫理(2), 政治経済(2)+倫理(2), 世界史 B(4) からいずれかを選択(4 or 2)	物理(4), 生物(4), 地学(4), 化学研究 B(2) から1科目選択(4 or 2)	理数物理(4), 理数生物(4), 理数地学(4) から1科目選択(4)	
32	から1科目選択(4 or 2)			
33	総合的な学習の時間(1)	総合的な学習の時間(1)	総合的な学習の時間(1)	
34	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	L.H.R.(1)	

F 平成30年度年間行事予定

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1	㊤ 学年始休業 (~4/7)	1	火 体育大会予備日	1	金	1	㊤	1	水	1	土 同窓会総会 (仙台国際ホテル)
2	月	2	㊤ 振休 (4/21)	2	土 県高校総体 (~6/4)	2	月	2	木 つくば宿泊研修 (~8/4)	2	㊤ 3年全統記述模試 (全員・公開会場)
3	火	3	㊤ 憲法記念日	3	日	3	火	3	金	3	㊤ 振休 (9/1)
4	水	4	㊤ みどりの日	4	㊤ 振休 (6/2)	4	水	4	㊤	4	火
5	木	5	㊤ こどもの日	5	㊤ 振休 (6/3)	5	木 みやぎ学力状況調査 学校公開 (~7/11)	5	㊤	5	水
6	金	6	㊤	6	水 総体報告会	6	金 健康相談	6	月	6	木 センター試験説明会 大掃除④
7	㊤	7	月	7	木 歯科健康相談①	7	㊤	7	火	7	金 健康相談
8	㊤	8	火	8	金	8	㊤	8	水	8	㊤
9	月 新任式 始業式 第73回入学式	9	水	9	㊤	9	月	9	木	9	㊤
10	火 2・3年実力考査 1年スタディサポート	10	木 P T A 役員会①	10	㊤	10	火	10	金	10	月
11	水 1年オリエンテーション 対面式・学友会入会 式・部紹介	11	金 教科研究会	11	月 教育実習 (~6/29)	11	水	11	㊤ 山の日 3年全統マーク模試 (全員・公開会場)	11	火 課題研究中間発 表会
12	木 創立記念日 身体測定・尿検一次① 1年英数国ガイダンス	12	㊤	12	火	12	木	12	㊤	12	水
13	金 P T A 役員会⑤ 尿検一次①	13	㊤	13	水 3年前期中間考査	13	金 歌合戦準備	13	月	13	木 交通安全教室 P T A 役員会②
14	㊤	14	月	14	木 1・2年前期 中間考査 年次P T A	14	土 歌合戦	14	火	14	金
15	㊤	15	火	15	金	15	㊤	15	水	15	㊤
16	月	16	水 尿検二次①	16	㊤ (3年GTEC)	16	㊤ 海の日	16	木	16	㊤
17	火	17	木 学友会総会 総体壮行式	17	㊤	17	火 3年課外Ⅱ (~9/11)	17	金 3年出校日	17	㊤ 敬老の日
18	水 耳鼻科検診	18	金 内科検診①	18	月	18	水	18	㊤	18	火
19	木	19	㊤	19	火 生徒図書購入① 3年課外Ⅰ (~7/16) 研究室訪問	19	木	19	㊤	19	水 2・3年前期 期末考査
20	金	20	㊤	20	水	20	金 集会 大掃除③	20	月 3年出校日	20	木 1年前期 期末考査
21	土 授業参観 P T A 総会	21	月 2年理科出前講義 色覚検査 (~5/31)	21	木	21	㊤ ● 夏季休業 (3年8/16・12年8/22まで) 1・2年夏期課外 (~7/30)	21	火 3年出校日	21	金
22	㊤	22	火 社会人講演会 (全生徒)	22	金 3年進研マーク模試 内科検診② (~6/23)	22	㊤	22	水 3年出校日 3年校内模試 (~8/23)	22	㊤ 県職員採用試 験準備
23	月	23	水 同窓会常任幹事会・幹 事会 (戦災復興記念館)	23	㊤	23	㊤ 振休 (7/14)	23	木 集会 1・2年実力考査	23	㊤ 秋分の日 県職員採用試験
24	火 眼科検診	24	木 防災訓練① 尿検二次② 大掃除①	24	㊤	24	火 ● 保護者面談 (~7/30)	24	金	24	㊤ 振替休日
25	水 尿検一次②	25	金	25	月	25	水 ●	25	㊤	25	火
26	木 歯科検診	26	㊤	26	火	26	木 ●	26	㊤	26	水 生徒図書購入② 救急法(AED)講習会
27	金 春季体育大会	27	㊤	27	水 眼科健康相談 (色覚)	27	金 ●	27	月	27	木 集会・後始業式 3年課外Ⅲ (~12/20)
28	㊤	28	月	28	木 P T A 研修旅行 大掃除②	28	㊤ 学校説明会	28	火	28	金 C C I (1・2年)
29	㊤ 昭和の日	29	火	29	金 3年進研記述模試 (~6/30)	29	㊤	29	水	29	㊤
30	㊤ 振替休日	30	水	30	㊤ 1・2年進研模試①	30	月 ●	30	木	30	㊤
		31	木 教育課程説明会			31	火 東北大学オープン キャンパス (~8/1)	31	金 秋桜祭 (~9/1)		
3年学習進路希望調査		プール濾過装置等保守点 検		1・2年学習進路希望調査 飲料水・プール水質検査 3年保健講話 (眼科)		読書感想文コンクール 3年小論文模試① 1年保健講話 (性教育)		消防設備点検 ボイラー缶体整備 3年学習進路希望調査		受水槽高架水槽清掃 2年保健講話 (歯科) 学友会選挙	

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1月	大掃除⑤	1木		1(土)	2年研修旅行	1(火)	元日	1金	自宅学習日	1金	第71回卒業式
2火	学校評価	2金	3年ベネッセ駿台 マーク模試(～11/3) 2年進研模試②(～11/3)	2(日)		2水		2(土)		2(土)	
3水	学校公開 (～10/10)	3(土)	文化の日 1年進研模試②	3月	2年振休 (12/1)	3木		3(日)		3(日)	
4木		4(日)		4火	1・3年後期考査 2年振休(12/2)	4金		4月	3年出校日	4月	○
5金	健康相談	5月		5水	1年理科数科講 演会(午後)	5(土)		5火	3年出校日	5火	○ 検査場設営
6(土)	P T A 校内研修会 (理科講) 理数科説明会(視聴覚)	6火		6木	P T A 役員会 ③	6(日)		6水	3年出校日	6水	後期選抜 自宅学習日
7(日)		7水		7金	2年理科数科講演会(午後) 3年センタートレ①(希望者) (～12/8)	7月	3年出校日 3年センタートレ② (全員～1/8)	7木	3年出校日 午前2時間授業	7木	自宅学習日
8(月)	体育の日	8木	防災訓練②	8(土)	1・2年GTEC (全員)	8火	集会・1・2年 実力考査	8金	前期選抜合格発表 3年出校日 2年センター試験 早期対策模試(～2/9)	8金	自宅学習日
9火	大表	9金	研修旅行前 健康相談	9(日)		9水		9(土)		9(土)	
10水		10(土)		10月		10木		10(日)		10(日)	
11木	秋季体育大会 (～10/12)	11(日)		11火		11金		11(月)	建国記念の日	11月	みやぎ鎮魂の日 自宅学習日
12金		12月		12水		12(土)		12火	3年課外V (～2/19)	12火	自宅学習日
13(土)		13火		13木		13(日)		13水	課題研究発表会 P T A 役員会④	13水	○
14(日)		14水		14金	健康相談	14(月)	成人の日	14木	3年出校日 集会・同窓会入会式 同窓会常任幹事会	14木	○ 後期選抜合格 発表
15月		15木	歯科健康相談②	15(土)		15火		15金		15金	○ 4校合同課題 研究発表会
16火		16金		16(日)		16水		16(土)		16(土)	
17水	1・2年理科数科施設 見学会	17(土)		17月		17木		17(日)		17(日)	
18木	集会・学友会総会	18(日)		18火		18金	健康相談	18月		18月	○
19金	3年ベネッセ駿台 記述模試 (～10/20)	19月		19水		19(土)	センター試験 (～1/20)	19火		19火	○
20(土)		20火		20木	大掃除⑥	20(日)		20水	2年 年度末考査	20水	自宅学習日
21(日)		21水	2年後期中間考査	21金	集会 3年課外IV (～12/28)	21月		21木	1年 年度末考査	21(木)	春分の日
22月		22木		22(土)	● 1・2年冬期課外 (～12/28)	22火		22金		22金	○ 集会・修業式 合格者説明会
23火		23(金)	勤労感謝の日	23(日)	天皇誕生日	23水		23(土)		23(土)	
24水	文化行事	24(土)		24(月)	振替休日 冬季休業(3年1/6、 1・2年1/7まで)	24木		24(日)		24(日)	
25木		25(日)		25火	●	25金	2年進研模試③ (～1/26)	25月		25月	↑ 学年末休業 (～3/31)
26金		26月		26水	●	26(土)	1年進研模試③	26火		26火	
27(土)		27火		27木	●	27(日)		27水	<平常授業>	27水	
28(日)		28水	3年後期考査	28金	●	28月		28木	午前3時間授業 式場設営	28木	○ 離任式 諸帳簿提出
29月		29木	↑ 2年 研修旅行	29(土)		29火				29金	
30火		30金	↑ 1年後期 中間考査	30(日)		30水	検査場設営			30(土)	
31水				31月		31木	前期選抜 自宅学習日			31(日)	
センター試験出願 1・2年学習進路希望調査 3年小論文模試② 1・2年小論文模試(全員) 空気・照度検査				1・2年小論文模試(希望者) 3年小論文模試③		トイレ清掃 台南一中来校		防災訓練③ 空気・照度検査		1年課題研究ガイダンス 2年ポスターセッション 植木剪定 消防設備点検 新2年スタディサポート 1・2年小論文模試(希望者) 1年キャリアセミナー	

### Ⅲ 教 職 員 組 織

#### A 定 数

区 分 費	校 長	教 頭	事 務 室 長	主 幹 教 諭	教諭										養 護 教 諭	実 習 講 師	常 勤 講 師	総 括 主 幹 ( <small>事務次長</small> )	主 任 主 査 ( <small>学校司書</small> )	主 事	技 師 ( <small>庁務</small> )	非 常 勤 講 師	A L T	校 医	薬 劑 師	カ ウン セ ラー	臨 時 職 員	計
					国 語	地 歴 公 民	数 学	理 科	保 体	英 語	芸 術 音 楽	美 術	家 庭	情 報														
	1	2	1	2	7	9	11	11	5	11	1	1	1	1	2	3	1	1	1	2	1	2	1	5	1	1	2	87

#### B 平成30年度教職員一覧

職 名	担当教科・科目	氏 名	校務分掌	学 友 会 顧 問	備 考
校 長		吉野 隆			
教 頭	理科(生物)	佐藤 周			
教 頭	理科(物理)	加藤 徳善			
主幹教諭	数 学	井崎 英滋	企画研究	書道・かるた	企画研究部長
主幹教諭	国 語	山田 昌弘	理 数	サッカー・合唱	理数部長
教 諭	国 語	菅野 聡	図書IT	陸上競技	図書IT部長
教 諭	国 語	穀田 恵子	生 徒	文学・華道	
教 諭	国 語	鈴木 里美	進 路	文学	3年次主任
教 諭	国 語	久我 由朋	総 務	弓道・軽音楽	
教 諭	国 語	愛澤 英治	生 徒	学友会・JRC・ギター	
教 諭	国 語	都築 みと	教 務	バレーボール・茶道	
教 諭	国 語	谷口 亜希			育児休業中
常勤講師	国 語	宮本はるな	図書IT	書道	
教 諭	地歴(地理)	大宮 亨	図書IT	JRC	司書教諭
教 諭	地歴(日本史)	米田 和由	生 徒	山岳・スキー	
教 諭	地歴(日本史)	市村 賢則	進 路	ギター・サッカー	
教 諭	公民(倫理)	山本 幸毅	生 徒	かるた・バドミントン	
教 諭	公民(倫理政経現社)	佐藤 哲郎	進 路	水泳・クイズ研	
教 諭	地歴(世界史)	三品 明子	進 路	合唱・新体操	
教 諭	公民(政経)	阿部 孝	教 務	ハンドボール	2年次主任
教 諭	地歴(世界史)	渡辺 貴幸	教 務	管弦楽・水泳	
教 諭	地歴(地理)	富岡 理世	保健厚生	漫画研究会・ジャズダンス	
教 諭	数 学	阿部 晃	総 務	テニス	
教 諭	数 学	舘 節子	進 路	新体操	
教 諭	数 学	佐藤 浩志	総 務	サッカー	総務部長
教 諭	数 学	平岡 太郎	教 務	ソフトテニス	
教 諭	数 学	圓谷 敬	教 務	ソフトテニス	教務部長
教 諭	数 学	三文字和史	進 路	ソフトボール・数学	進路指導部長
教 諭	数 学	高橋 正典	教 務	サッカー	
教 諭	数 学	澤田 哲也	教 務	バドミントン	
教 諭	数 学	山内 勝利	生 徒	弓道	
教 諭	数 学	高橋 基	教 務	囲碁	
教 諭	数 学	和田 由美	企画研究	演劇・数学	
教 諭	理科(地学)	稲継 昌毅	保健厚生	山岳・地学	特別支援教育コーディネーター
教 諭	理科(化学)	窪田 篤人	理 数	理化・演劇	
教 諭	理科(物理)	田中 敏公	図書IT	バスケットボール・放送	情報化推進リーダー

職名	担当教科・科目	氏名	校務分掌	学友会顧問			備考	
教諭	理科(化学)	高橋 樹順	総務	映画研究・写真				
教諭	理科(生物)	鈴木 俊彦	理数	生物・テニス・バトントワリング				
教諭	理科(生物)	高橋 周之	図書IT	写真・野球観戦				
教諭	理科(化学)	間 健	進路	テニス・男子バスケットボール				
教諭	理科(化学)	増山 裕子	保健厚生	囲碁・箏曲				
教諭	理科(物理)	佐藤 文晃	進路	卓球・理化部				
教諭	理科(化学)	菅原 健久	進路	テニス				
教諭	理科(生物)	二瓶 貴之	教務	バスケットボール				
教諭	保健体育	清水 俊司	生徒	バスケットボール				
教諭	保健体育	上原 政弘	総務	陸上競技			防災主任	
教諭	保健体育	齋藤 勝寿	生徒	ソフトボール			生徒部長	
教諭	保健体育	早坂 功多	総務	バレーボール				
教諭	保健体育	千田 佳代	保健厚生	ハンドボール				
教諭	英語	春日 章	保健厚生	剣道			保健厚生部長	
教諭	英語	森 俊之	進路	放送				
教諭	英語	佐藤 利和	教務	バドミントン				
教諭	英語	島倉 透子	企画研究	ジャズダンス				
教諭	英語	早坂 昌弘	生徒	卓球				
教諭	英語	内田 由紀	保健厚生	語学				
教諭	英語	菊地 美和	教務	箏曲				
教諭	英語	佐藤 匠	進路	剣道				
教諭	英語	浅野 靖子	総務	山岳・茶道				
教諭	英語	田邊 智洋	企画研究	ソフトボール・男子バスケットボール				
教諭	英語	千葉 雪乃	総務	華道・囲碁				
教諭	芸術(美術)	佐々木秀夫	生徒	美術				
教諭	芸術(音楽)	天野 綾子	教務	管弦楽				
教諭	家庭	横山 植	企画研究	箏曲・調理				
教諭	情報	八巻 一智	企画研究	軽音楽・スキー			1年次主任	
養護教諭	養護	西澤 朋子	保健厚生					
養護教諭	養護	金井久美子	保健厚生					
実習講師	理科	福地恵理美	理数	理化・美術				
実習講師	理科	長谷川美枝子	保健厚生	生物				
実習講師	理科	渡邊 美樹	総務	地学・ジャズダンス				
職名	担当	氏名	職名	担当	氏名	職名	担当	氏名
事務室長	総括	半澤 洋一	非常勤講師	理科	黒澤 伸一	学校医	(歯科)	大内 康弘
総括主幹 (事務次長)	管財・総務	大沼 浩二	〃	社会	舟山 睦子	〃	(耳鼻科)	古川加奈子
主任主査 (学校司書)	図書	中田理恵子	ALT	英語	ティム・ロス・ イエランド	学校薬剤師		岩崎奈緒子
主事	経理・総務	阿部 聖菜	管理校医	(内科)	古賀 詔子	スクールカウンセラ		小川原麻美
主事	経理・総務	大石 麻依	学校医	(眼科)	小田 円	臨時職員	庁務	木之下俊弘
技師	庁務	菅澤 昭博	〃	(歯科)	飯塚 俊輔	〃	業務補助	渡邊 勝也

C 平成29年度 校内分掌・各部諸係

◎：部長，○：副部長，各係先頭が主管

<b>企画研究部(6)</b> ◎井崎 英滋 ○田邊 智洋 島倉 透子 横山 植 八巻 一智 和田 由美	企画事業	総括	井崎・島倉	調査事業	総括	井崎・横山
		国際交流	島倉・田邊		授業評価	横山・島倉
	研究事業	総括	田邊・八巻・和田・井崎	広報事業	学校評価	横山・島倉
		高次連携	横山・島倉		総括	井崎・和田
		C	C	H P ・ I C T		八巻・田邊
		公開授業	井崎・田邊	学校案内		島倉・和田
		研究員研修	田邊・横山	各種説明会		井崎・田邊
		カリキュラム	田邊・和田	学校通信		和田・島倉・横山

<b>総務部(9)</b> ◎佐藤 浩志 ○上原 政弘 久我 晃 由朋 久我 由朋 高橋 樹順 早坂 功多 浅野 靖子 千葉 雪乃 渡邊 美樹	総務	一職	佐浩・上原・早坂功	渉外	P T A 事務	佐浩・早坂功・千葉・渡邊美	
	行事	職員配置	浅野・佐浩		同窓会	奨学	佐浩
		反省要望会議	阿部晃			早坂功	
	防災	年間行事	佐浩・上原		企画	行事検討	佐浩
		月間行事	久我			学校保健	佐浩・上原
	庶務	防災体制・計画	上原・佐浩		学校評価	研修旅行	佐浩
		防災訓練	上原・佐浩			研究員	阿部晃
	奨学金	学校要覧	阿部晃		情報セキュリティ対策	防犯対策	早坂功
		生徒住所録	高橋樹・渡邊美			入試選抜	上原・佐浩
			入学のしおり		久我		
		日本学生支援機構・予約	浅野・千葉				
		在学各種奨学金	高橋樹・渡邊美				
			久我				

<b>教務部(12)</b> ◎圓谷 敬 ○澤田 哲也 佐藤 利和 平岡 太郎 天野 綾子 高橋 正典 阿部 孝 渡辺 貴幸 菊地 美和 都築 みと 二瓶 貴 高橋 基	教務	総括	圓谷・澤田	中央黒板担当	英数国	菊地・都築		
	教課	学校説明会	二瓶・渡辺貴		校務支援システム担当	校務支援	澤田・高橋正	
		全課程	菊地・二瓶			電子掲示板担当	平岡・二瓶	
	時間	1年科目選択	圓谷・澤田		各委	種	員	会
		2年科目選択	高橋基・渡辺貴					
	時間	割成	阿部孝・澤田		行事	検討	圓谷・澤田	
		割変	阿部孝・澤田					
	シラバス(学習予定表)	副教	阿部孝・澤田		教育	課程	圓谷・澤田	
		副教	阿部孝・澤田					
	定期考査	副教	阿部孝・澤田		研修	旅行	阿部孝	
		副教	阿部孝・澤田					
	教務規	副教	阿部孝・澤田		不登校対策	いじめ	圓谷・澤田	
		副教	阿部孝・澤田					
	教育実習	副教	阿部孝・澤田		入試選抜	め	圓谷・澤田・高橋正・高橋基	
		副教	阿部孝・澤田					
	教科書	副教	阿部孝・澤田		学校保健	圓谷		
		副教	阿部孝・澤田					
	副教	副教	阿部孝・澤田		学校評価	圓谷		
副教		阿部孝・澤田						
学籍異動(含転出入)	副教	阿部孝・澤田	教科書選定	渡辺貴・圓谷・澤田・高橋正・高橋基・天野				
	副教	阿部孝・澤田						
庶務(留学・国際協力・成績証明書等)	副教	阿部孝・澤田	調査書・就職	圓谷				
	副教	阿部孝・澤田						
高校入試	副教	阿部孝・澤田	学校案内作成	菊地・都築				
	副教	阿部孝・澤田						
振替	副教	阿部孝・澤田	情報セキュリティ対策	平岡				
	副教	阿部孝・澤田						
特別教室使用簿	副教	阿部孝・澤田	特別支援教育	圓谷				
	副教	阿部孝・澤田						
みやぎ学力状況調査	副教	阿部孝・澤田	防火対策	圓谷				
	副教	阿部孝・澤田						

<b>進路指導部(11)</b> ◎三文字 和史 ○佐藤 哲郎 佐藤 匠 菅原 健久 佐藤 文見 市村 賢則 三品 明子 森 俊之 鈴木 里美 間 健 館 節子	庶務	文書整理	三文字・佐藤(哲)	資料	合格者・進路決定一覧など	三文字・鈴木(里)	
	学力向上	進路の手引き	菅原・三文字		他	センター試験自己採点集計	全員
		進路の手引き	三品・菅原			資料・情報・相談	全員
	進路意識啓発	課外講習	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・市村・三品・館・間		就職・公務員	就職・公務員	鈴木(里)・三文字
		課外講習	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・森・三品・間・佐藤(哲)			企業	三文字・鈴木(里)
	資料	実力テスト・校内模試	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・森・三品・間・佐藤(哲)		小論文	小論文	鈴木(里)・市村・三文字
		業者模試	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・森・三品・間・佐藤(哲)			行事	三文字
	資料	小論文模試	市村・森・佐藤(哲)・鈴木(里)		学校案内作成	学校案内作成	三文字
		小論文模試	市村・森・佐藤(哲)・鈴木(里)			教育課程	三文字
	資料	スタディーサポート	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・森・市村		入試選抜	入試選抜	三文字
		スタディーサポート	佐藤(文)・佐藤(匠)・菅原・森・市村			調査書作成	鈴木(里)・佐藤(哲)・間・館・三文字
	資料	3年小論文指導・面接指導	鈴木(里)・佐藤(哲)		就職選考	就職選考	鈴木(里)・佐藤(哲)・間・館・三文字
		3年小論文指導・面接指導	鈴木(里)・佐藤(哲)			学校評価	三文字
	資料	GPS - Academic	佐藤(匠)・菅原・佐藤(文)・三品・森・間		学校保健	学校保健	三文字
GPS - Academic		佐藤(匠)・菅原・佐藤(文)・三品・森・間	情報セキュリティ	佐藤(匠)			
資料	総合的な学習の時間	佐藤(匠)・菅原・佐藤(文)・三品・森・間・佐藤(哲)・館・鈴木(里)	教科書選定	教科書選定	佐藤(哲)		
	総合的な学習の時間	佐藤(匠)・菅原・佐藤(文)・三品・森・間・佐藤(哲)・館・鈴木(里)		防火対策	三文字		
資料	Classi・Japan e-portfolio対応	佐藤(匠)・佐藤(文)・菅原・森・市村・間・佐藤(哲)					
	Classi・Japan e-portfolio対応	佐藤(匠)・佐藤(文)・菅原・森・市村・間・佐藤(哲)					
資料	キャリアセミナー	菅原・佐藤(匠)・佐藤(文)					
	キャリアセミナー	菅原・佐藤(匠)・佐藤(文)					
資料	難関大学見学会	市村・佐藤(匠)・三文字					
	難関大学見学会	市村・佐藤(匠)・三文字					
資料	COSMO(進路便り)	佐藤(匠)・菅原・市村・森・鈴木(里)・館・三文字					
	COSMO(進路便り)	佐藤(匠)・菅原・市村・森・鈴木(里)・館・三文字					
資料	浪人激励会	佐藤(匠)・佐藤(文)・三文字					
	浪人激励会	佐藤(匠)・佐藤(文)・三文字					
資料	進路希望調査	菅原・佐藤(匠)・佐藤(文)・市村・三品・間・三文字					
	進路希望調査	菅原・佐藤(匠)・佐藤(文)・市村・三品・間・三文字					
資料	受験報告書	三文字・鈴木(里)					
	受験報告書	三文字・鈴木(里)					

<b>生徒部(9)</b> ◎齋藤 勝寿 ○早坂 昌弘 清水 俊司 穀田 恵子 愛澤 英治 佐々木 秀夫 米田 和由 山内 勝利 山本 幸毅	総務・企画・記録	齋藤・早坂・清水	
	生徒指導関連	企画	交通安全教室 : 早坂 佐々木 薬物乱用防止教室: 清水 (1年次)
		校内関係	遺失物・紛失物・掲示物 : 愛澤 ロッカー鍵管理 : 穀田 自転車通学指導 : 早坂・佐々木(全員) 諸届け(対外試合・学友会・会計支出・遠征費等) : 齋藤 個人写真 : 米田・山本 生徒手帳・刊行物発注 : 山内・愛澤
	部活動	運動部: 早坂・清水(合宿) 文化部: 穀田・佐々木	
	L H R	早坂 1年: 清水 2年: 佐々木 3年: 山本	
	歌合戦企画・運営	山内・早坂・清水・米田(会計)	
	秋桜祭企画・運営	愛澤(会場)・山本(会計)・穀田(出店)・佐々木(プロボス)	

総務部続き

学友会顧問	執行部	総務 選学管理 規律	総務(総会・評議員・総務委員会・会計監査委員会・HR各係選出)愛澤・山本・山内・早坂(国際交流) <会計>山内(学友会)・米田(遠征費)・穀田(補助)	学級	山本	集会	穀田・米田・清水
	事業部	新聞委員 雑誌委員	清水(マナーアップ推進)	各種委員会	企画 教育課程 行事検討 不登校・いじめ 学校保健 学校評価	応援団 齋藤 齋藤 清水 齋藤・早坂・清水 齋藤・清水 齋藤	佐々木・山本(会計)・米田 教科書選定 就職者選考 情報セキュリティ 山内・早坂 特別支援教育 齋藤 研修旅行 米田
校外会議	学	警連	齋藤・佐々木	外部団体	クラブ活動	運営	齋藤・早坂・昌・穀田・佐々木
	中高	連協	山本		後援会	会報作成	米田・清水
	県	生研	山内・山本(青少年指導)				
	高体	文連	齋藤・早坂				
	高文	特別活動部	清水・愛澤				

保健厚生部(9) ◎春日 章 ◎富岡 理世 稲継 昌毅 長谷川美枝子 内田 由紀 増山 裕子 千田 佳代 金井久美子 西澤 朋子	企画・運営・渉外(保健健康関係)	春日・金井・西澤	学友会 委員 各種委員会	保健委員会	金井・西澤
	生徒健康診断	金井・西澤		美化委員会	稲継・千田
	健康相談	金井・西澤		園芸委員会	内田・長谷川
	環境衛生	金井・西澤		行事検討	春日
	教育相談	稲継・富岡・増山・春日・内田・長谷川・千田・金井・西澤		不登校対策	稲継・富岡・増山・春日・金井・西澤
	清掃	稲継・千田		企画	春日
	AED講習会	富岡・春日		学校保健(生徒対象)	(全員)
	保健講話	[1年] 富岡・増山・金井 [2年] 千田・金井 [3年] 内田・長谷川・金井		衛生[衛生管理者] [衛生担当者] [衛生委員]	金井 西澤 春日・大沼
	日本スポーツ振興センター事務	金井・西澤		特別支援教育	稲継・富岡・増山・春日・金井・西澤
	企画・運営・渉外(教育相談関係)	稲継・富岡・春日		防災対策	春日
	記録作成	稲継・増山		学校評価	春日
	統計	稲継・増山		情報セキュリティ対策	内田
通級指導	増山	特別支援コーディネーター	稲継・富岡・増山		
		学校カウンセラー	小川原麻美		

図書IT部(6) ◎菅野 聡 ◎高橋 周之 大宮 享 田中 敏公 宮本はるな 中田理恵子	総務	部内外の連絡調整	菅野・高橋周・中田	IT 委員会	情報化推進リーダー	田中・高橋周
	図書	図書購入・整理	中田・高橋周・大宮・田中・宮本・菅野		Cosmos1データ管理	田中・高橋周
		図書室利用指導	中田・菅野・宮本		IT機器管理	田中・高橋周
		読書指導	宮本・大宮・中田		校内LAN管理	田中・高橋周
		LHR読書会指導	宮本・菅野・中田		メール管理	田中・高橋周
	読書感想文コンクール(読書感想画)	宮本・菅野・中田	業務パソコン保守		田中・高橋周・宮本	
広報活動	「図書館だより」 「図書館報 the Letter from the library」 「図書館報」	大宮	IT研修会	田中・高橋周・菅野		
行事	文化行事(今年度・次年度)	大宮・菅野・中田	IT関係予算決算・機材購入	田中・高橋周		
視聴覚	視聴覚予算決算・機材購入 視聴覚室の管理	高橋周・田中・菅野 田中・高橋周・菅野	企画委員会	菅野		
			行事検討委員会	菅野		
			図書館運営委員会	菅野・高橋周・中田		
			学校評価委員会	菅野		
			防災対策委員会	菅野		
			情報セキュリティ推進委員会	田中・高橋周		

理数部(4) ◎山田 昌弘 ◎鈴木 俊彦 ◎窪田 篤人 福地 恵理美	総務	山田・鈴木	行事担当	1年次理数科施設見学・講演会	鈴木・山田
	企画	窪田・鈴木・福地		2年次理数科施設見学・講演	福地・山田
	調査・統計	山田・福地		出前授業・講義	窪田・鈴木・福地
	会計	福地		課題研究	山田・鈴木
				高大連携事業	山田・鈴木

年次分掌

	主任		1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	年次所属
1年次	主任 八巻 一智 副主任 早坂 功多	正担任 清水 俊司 副担任 渡辺 貴幸	横山 植 早坂 昌弘	高橋 正典 宮本はるな	早坂 功多 浅野 靖子	佐藤 匠 穀田 恵子	佐藤 文晃 鈴木 俊彦 増山 裕子	菅原 健久 富岡 理世	金井久美子 渡邊 美樹	
2年次	主任 阿部 孝 副主任 三品 明子	正担任 和田 由美 副担任 菊地 美和	市村 賢則 愛澤 英治	田邊 智洋 大宮 亨 都築 ひと	三品 明子 高橋 樹順	阿部 晃 森 俊之	澤田 哲也 佐々木秀夫 千田 佳代	高橋 周之 島倉 透子	福地恵理美	
3年次	主任 鈴木 里美 副主任 平岡 太郎	正担任 内田 由紀 副担任 山本 幸毅 副担任 山内 勝利	天野 綾子 佐藤 哲郎	二瓶 貴之 上原 政弘	間 健 千葉 雪乃	平岡 太郎 米田 和由	館 節子 久我 由朋	窪田 篤人 佐藤 利和	長谷川美枝子	

教科主任

教科名	国語	社会	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	情報
主任名	穀田恵子	三品明子	三品明子	佐藤哲郎	和田由美	菅原健久	千田佳代	天野綾子	佐藤 匠	横山 植	八巻一智

外郭団体

同窓会	(顧問) 吉野校長 佐藤教頭 加藤教頭 (事務局長) 島倉 (校内幹事) 穀田 西澤 中田 千葉 宮本
奨学会	(常務理事) 吉野校長 佐藤教頭 (理事) 加藤教頭 (評議員) 井崎 佐浩 (事務局長) 半澤事務室長 (書記) 大沼
PTA	(参与) 吉野校長 (副会長) 佐藤教頭 (会計) 半澤事務室長 (事務局長) 加藤教頭 (書記) 佐浩 早坂功 千葉 渡邊美 大沼
教育振興会	(参与) 吉野校長 (副会長) 佐藤教頭 (会計) 半澤事務室長 (事務局長) 加藤教頭 (書記) 佐浩 早坂功 千葉 渡邊美 大沼
クラブ活動後援会	(参与) 吉野校長 (副会長) 佐藤教頭 (会計兼運営委員) 半澤事務室長 (運営委員会委員長兼事務局長) 加藤教頭 (運営委員兼書記) 齋藤 愛澤 (運営委員) 佐浩 千田 早坂昌 穀田 大石

## Ⅳ 生徒に関する事項

### A 設置課程・学科及びクラス別生徒数

課 程	学 科	修 業 年 限	募 集 定 員
全 日 制	普 通 科	3 年	200名
	理 数 科	3 年	80名

クラス別生徒数（4. 8現在）

組 年次	普 通 科										理 数 科				計		
	1		2		3		4		5		6		7				
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計
1	0	40	0	40	0	40	8	33	7	33	13	27	14	26	42	239	281
2	0	39	0	40	9	31	0	41	9	31	12	28	12	27	42	238	280
3	0	42	0	41	14	28	0	34	12	22	10	30	11	30	47	227	274
計	男子59 女子536 計595										男子72 女子168 計240				131	704	835

### B 各種統計

#### 1. 保護者現住所

市町村区名	仙台市					富 谷 市	塩 竈 市	多 賀 城 市	東 松 島 市	松 島 町	大 和 町	大 郷 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町	石 巻 市	大 崎 市	名 取 市	岩 沼 市	白 石 市	角 田 市	気 仙 沼 市	他 県 内	計
	宮 城 野 区	青 葉 区	泉 区	太 白 区	若 林 区																		
普通科	44	202	96	96	34	26	9	21	1	4	1	2	2	12	2	2	15	7	0	3	0	16	595
理数科	16	74	37	27	11	14	9	9	2	0	3	0	7	1	1	10	5	3	1	0	10	240	
計	60	276	133	123	45	40	18	30	3	4	4	2	2	19	3	3	25	12	3	4	0	26	835

#### 2. 通学方法（主な方法1つ）

方 法	徒 歩	自 転 車	市 営 バ ス	宮 交 バ ス	地 下 鉄	東 北 本 線	仙 石 線	仙 山 線	そ の 他	計
普通科	41	85	140	13	198	70	38	4	6	595
理数科	19	35	51	5	66	36	22	1	5	240
計	60	120	191	18	264	106	60	5	11	835

### 3. 出身中学校

中学校名	1年		2年		3年		中学校名	1年		2年		3年	
	普通科	理数科	普通科	理数科	普通科	理数科		普通科	理数科	普通科	理数科	普通科	理数科
仙 台 第 一	16	4	11	4	12	5	大 河 原	1	1	0	0	0	0
仙 台 第 二	7	4	5	1	6	2	大 村 田 第 一	0	0	0	0	0	0
三 条	1	2	0	0	0	0	富 岡	0	0	0	0	0	0
上 杉	5	5	7	4	5	3	角 田	1	1	0	0	1	0
五 城	0	0	1	1	3	0	北 角	0	0	0	0	0	0
宮 野	3	3	3	1	4	0	丸 森	1	0	0	1	0	0
東 仙 台	1	0	5	1	1	1	塩 竈 第 一	2	1	1	2	2	1
東 華	1	0	3	0	0	0	塩 竈 第 二	0	0	1	1	0	1
五 橋	7	1	8	0	2	5	塩 竈 第 三	1	1	1	0	0	0
愛 宕	1	0	1	0	1	0	玉 川	0	0	0	1	1	0
八 軒	1	0	1	0	3	1	利 府	0	0	3	0	1	1
南 小	2	2	2	0	4	1	しらかし	1	0	1	0	1	0
長 町	2	1	4	0	4	0	利 府 西	2	1	1	1	2	3
中 田	0	2	0	1	4	0	松 島	2	0	1	0	1	0
七 郷	0	0	3	0	2	0	多 賀 城	3	1	4	2	2	1
高 砂	0	0	0	1	0	0	多 賀 城 第 二	1	1	2	1	0	1
岩 切	2	1	2	0	0	0	鹿 島	1	0	1	0	0	0
西 多 賀	1	1	1	0	0	1	東 豊 崎	0	0	0	0	0	0
生 出	1	0	0	0	1	0	高 崎	4	1	3	1	0	0
郡 山	6	0	2	0	1	1	向 洋	1	0	1	0	0	0
台 原	1	0	5	1	2	3	名 取 第 一	1	1	3	0	0	1
北 仙 台	4	0	1	0	3	0	増 田	4	2	0	1	1	0
鶴 谷	1	0	0	0	0	0	名 取 第 二	1	0	2	1	0	0
八 木 山	5	3	9	0	8	0	関 上	0	0	0	1	0	0
中 山	3	1	4	1	2	2	み どり	1	2	0	1	1	0
山 田	1	0	0	1	2	0	岩 沼	1	0	1	0	1	1
蒲 町	0	0	1	0	0	0	玉 沼	1	0	0	0	0	0
桜 丘	5	1	6	0	1	0	岩 沼 西	2	1	0	1	2	1
中 野	1	0	1	0	0	0	山 元 山 下	0	0	1	0	0	0
折 立	1	2	2	1	2	1	亘 理	0	1	0	0	0	0
幸 町	1	0	0	2	3	0	逢 隈	0	1	1	1	1	1
沖 野	2	2	1	1	1	1	金 津	1	0	0	0	0	0
人 来 田	0	1	1	0	0	0	宮 床	0	0	0	0	0	1
西 山	3	0	2	1	0	0	大 和	0	0	1	0	0	2
広 瀬	11	3	10	5	7	1	大 吉 田	0	0	0	0	0	1
大 沢	2	0	2	1	1	1	富 谷 第 一	0	0	2	0	0	0
吉 成	1	0	2	3	6	1	富 谷 第 二	0	0	0	0	1	0
秋 保	0	0	0	0	1	0	向 陽	1	3	0	1	2	4
七 北 田	3	2	2	0	2	1	日 吉	0	0	2	0	3	0
根 白 石	0	0	0	0	0	1	成 田	0	0	4	2	9	1
八 乙 女	2	1	1	2	1	2	大 郷	1	0	1	0	1	0
将 監	2	1	9	0	4	3	古 川 東	0	0	0	0	0	1
南 光 台	1	1	0	0	1	0	古 川 南	0	0	0	0	0	0
向 陽 台	3	1	1	2	2	1	古 川 黎 明	1	0	0	0	0	0
加 茂	3	0	2	1	1	1	小 野 田	0	0	0	0	0	0
将 監 東	2	1	1	0	5	0	築 館	1	0	0	0	1	1
鶴 が 丘	0	0	1	0	0	0	栗 駒	0	0	1	0	0	0
寺 岡	5	1	3	2	7	0	瀬 峰	0	0	1	0	1	0
南 光 台 東	0	0	0	0	0	1	若 柳	0	0	0	0	0	0
長 命 ケ 丘	4	0	0	1	2	0	登 米 市 中 田	0	0	0	0	0	0
富 沢	8	3	3	2	6	4	松 山 卷	0	0	0	0	0	0
南 中 山	3	2	3	1	5	3	石 卷 田	0	1	0	0	1	0
茂 庭 台	0	0	0	0	1	1	蛇 田	0	1	0	0	1	0
高 森	1	1	2	1	0	0	石 卷 市 湊	0	0	0	0	0	0
田 子	2	0	1	0	1	1	石 卷 山 下	0	0	0	0	1	0
住 吉 台	0	0	0	1	1	0	矢 本 第 一	0	0	0	1	1	0
南 吉 成	7	0	4	3	4	1	矢 本 第 二	0	0	0	1	0	0
松 陵	1	0	1	0	0	0	河 南 東	0	0	0	0	0	0
柳 生	4	1	1	0	6	0	宮 教 大 付 属	4	3	8	4	6	4
館	4	1	3	0	2	1	宮 城 学 院	1	0	0	0	0	0
広 陵	0	0	0	0	0	0	ウ ル ス ラ	1	0	0	0	0	0
白 石 東	0	0	0	2	1	1	東 北 学 院	0	0	0	1	0	0
宮 宮	0	0	0	0	1	0	尚 綱 学 院	0	0	1	0	0	0
遠 刈 田	0	0	1	0	0	0	仙 台 白 百 合	0	0	1	1	2	1
槻 木	1	1	0	0	0	0	県 外	2	1	4	1	1	1
船 岡	1	0	1	1	0	0	海 外	0	0	1	0	0	0
船 迫	0	0	0	1	0	1	合 計	201	80	201	79	192	82

#### 4. 進路状況

##### 1) 2018年度大学入試等合格者数一覧

(総数は、70回生と卒業生との合計数)

国公立大学	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
北海道大		1	1
北教大岩見沢校	1		1
北教大函館校	1		1
弘前大	3		3
岩手大	5	2	7
東北大	11	6	17
宮城教育大	14	4	18
秋田大	1		1
山形大	18	8	26
福島大	4	2	6
茨城大	2	1	3
筑波大	4		4
埼玉大	1		1
東京外国語大	1		1
東京学芸大	2		2
東京農工大	1	1	2
横浜国立大		1	1
新潟大	2	3	5
信州大	1		1
静岡大		1	1
愛知教育大	1		1
大阪大	1		1
神戸大		1	1
高知大	1		1
琉球大		1	1
はこだて未来大	1		1
宮城大	16	3	19
国際教養大	1		1
高崎経済大	1		1
千葉県立保健医療大	1		1
横浜市立大	1		1
長岡造形大	1		1
都留文科大	1		1
金沢美術工芸大	1		1
合計	99	35	134

短期大学	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
山形県米沢女子短		1	1
仙台青葉学院短大	2		2
青山学院女短		1	1
女子栄養大短大	1		1

準大学	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
防衛大学校		1	1
国立看護大学校		1	1

専門学校	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
仙台医療附看助	2		2
東北労災看護	1		1
その他	5		5

私立大学	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
酪農学園大	1		1
岩手医大	1	3	4
石巻専修大	1		1
東北学院大	76	17	93
東北工大	15		15
東北福祉大	16	6	22
東北医科薬科大	17	8	25
宮城学院女子大	16	1	17
東北文化学園大	2		2
尚絅学院大	3		3
東北芸術工大	7		7
いわき明星大		1	1
国際医療福祉大	3		3
自治医大	1		1
獨協医大		1	1
白鷗大	1	1	2
高崎健康福祉大	1		1
獨協大		2	2
文教大		2	2
明海大		2	2
城西国際大	1		1
東都医療大		1	1
千葉工大	6		6
青山学院大	1		1
亜細亜大		2	2
桜美林大		1	1
大妻女子大	1		1
学習院大	1		1
北里大	2		2
共立女子大	1		1
杏林大	2		2
慶應義塾大	4		4
工学院大	1		1
駒澤大	4	4	8
実践女子大	2	2	4
芝浦工大	3	1	4
順天堂大		1	1
昭和 大	2		2
昭和女子大	4	1	5
成蹊大	2		2
成城大	1		1
聖心女子大	1		1
清泉女子大	1		1
専修大	2		2
多摩大	1		1
玉川大	1	2	3
中央大	5	5	10

私立大学	合格者数		
	70回生	卒業生	総数
津田塾大	2	2	4
東海大	4	3	7
東京家政大	2		2
東京医療保健大	1		1
東京工大	3		3
東京女子大	2		2
東京女子医大		1	1
東京電機大		1	1
東京農業大	8	3	11
東京薬科大	1		1
東洋大	5	7	12
二松学舎大		1	1
日本大	6	10	16
日本歯科大	1	1	2
日本獣医生命科学大	2		2
日本女子大	5	1	6
文化学園大	1		1
法政大	5	2	7
東京都市大		3	3
武蔵大	1		1
武蔵野大	1		1
武蔵野美大	1		1
明治大	6	2	8
明治学院大	2	1	3
立教大	6		6
立正大	1		1
早稲田大	4		4
麻布大	3	1	4
神奈川大		2	2
神奈川工大		2	2
フェリス女子大	1		1
新潟医療福祉大	1		1
中部大	4		4
名古屋外国語大		1	1
修文大	2		2
京都女子大		1	1
京都精華大		1	1
同志社大	2		2
立命館大	1	2	3
大阪樟蔭女子大	1		1
関西大		1	1
梅花女子大	1		1
関西学院大	1		1
甲南大		1	1
神戸女子学院大		1	1
立命館アジア大	1		1
合計	298	115	413

2) 卒業生の進路決定先と地元大学合格状況（10年間の推移）

I. 進路決定先…実数（2018年卒業生274名）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
国公立大 （四年制）	121	97	113	95	83	87	86	98	83	95
私立大 （四年制）	69	72	78	80	81	95	107	108	102	92
国公立 （短大）	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
私立 （短大）	1	0	1	2	1	1	0	2	1	2
受験準備等	118	97	85	103	102	79	67	68	76	75
就 職	0	0	1	0	1	1	1	1	1	2
専門・各種学校 その他 留学準備等	6	4	5	1	6	7	6	4	13	8
卒業生総数	315	270	283	281	275	270	270	283	277	274
進学達成率	63%	64%	70%	63%	63%	71%	74%	75%	72%	72%

II. 地元大学合格状況…延数

（ ）内は現役数

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東 北 大	49 (33)	32 (21)	42 (29)	39 (27)	40 (19)	32 (16)	21 (14)	21 (14)	13 ( 9)	17 (11)
宮城教育大	22 (19)	17 (15)	22 (20)	20 (14)	7 ( 4)	8 ( 5)	19 (14)	13 (13)	13 ( 9)	18 (14)
宮 城 大	20 (14)	21 (17)	23 (17)	20 (16)	15 (13)	14 (12)	18 (14)	15 (13)	12 (12)	19 (16)
東北学院大	45 (34)	54 (38)	85 (65)	52 (39)	54 (46)	52 (47)	84 (70)	66 (49)	86 (72)	93 (76)
宮城学院 女子大	12 ( 7)	24 (16)	8 ( 7)	13 (12)	10 ( 7)	15 (13)	12 (10)	13 (12)	29 (22)	17 (16)
東北医科 薬科大	21 (11)	20 (14)	32 (24)	22 (14)	13 ( 9)	24 (17)	39 (23)	35 (28)	16 ( 9)	25 (17)
東北福祉大	10 ( 7)	4 ( 2)	7 ( 5)	14 ( 8)	10 ( 7)	16 (14)	30 (22)	35 (31)	28 (23)	22 (16)

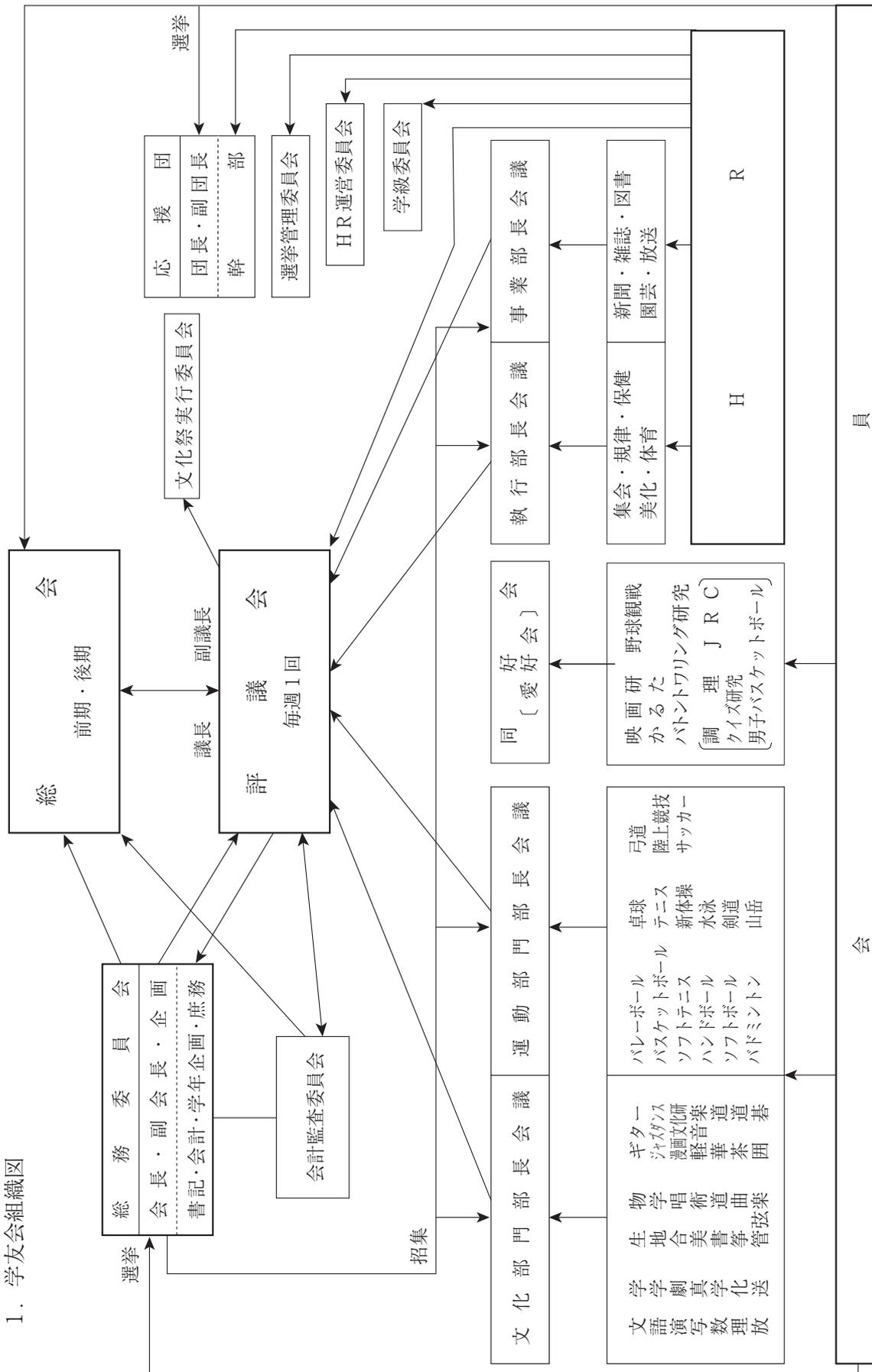
### C 卒業生数

卒業生	回数	人数	卒業生	回数	人数	卒業生	回数	人数		
高等女学校別科			同技芸専修科			昭和58	35	406		
明治31	1	16	明治39	1	36	59	36	392		
高等女学校本科			40	2	30	60	37	401		
明治32	1	23	41	3	39	61	38	392		
33	2	48	42	4	39	62	39	391		
34	3	61	43	5	33	63	40	401		
35	4	79	44	6	27	平成1	41	396		
36	5	103	45	7	39	2	42	403		
37	6	118	計			243	3	43	401	
38	7	80	同実科			4	44	405		
39	8	80	大正3	1	38	5	45	408		
40	9	69	4	2	41	6	46	404		
41	10	80	5	3	42	7	47	407		
42	11	80	6	4	46	8	48	406		
43	12	83	7	5	43	9	49	408		
44	13	85	計			210	10	50	380	
45	14	84	併設中学校			11	51	343		
大正2	15	89	昭和23	1	243(12)	普通 理数				
3	16	92	24	2	280(11)	12	52	286	78	
4	17	93	計			523(23)	13	53	276	79
5	18	90	高等学校			14	54	279	83	
6	19	97	昭和24	1	33	15	55	284	78	
7	20	92	25	2	100	16	56	272	71	
8	21	90	26	3	226	17	57	246	84	
9	22	136	27	4	303	18	58	241	81	
10	23	139	28	5	293	19	59	244	81	
11	24	147	29	6	291	20	60	242	78	
12	25	141	30	7	311	21	61	235	80	
13	26	145	31	8	296	22	62	200	70	
14	27	142	32	9	311	23	63	203(9)	80(16)	
15	28	143	33	10	317	24	64	199(21)	82(12)	
昭和2	29	180	34	11	303	25	65	196(20)	79(19)	
3	30	143	35	12	309	26	66	192(16)	78(24)	
4	31	145	36	13	308	27	67	193(17)	77(26)	
5	32	144	37	14	316	28	68	205(10)	78(12)	
6	33	199	38	15	316	29	69	201(15)	75(22)	
7	34	191	39	16	307	30	70	199(23)	75(25)	
8	35	186	40	17	316	計			24,531(274)	
9	36	194	41	18	452					
10	37	208	42	19	462					
11	38	191	43	20	471					
12	39	192	44	21	460	同専攻科				
13	40	205	45	22	448	昭和31	1	36		
14	41	199	46	23	444	32	2	24		
15	42	207	47	24	422	33	3	16		
16	43	214	48	25	412	34	4	23		
17	44	212	49	26	402	35	5	25		
18	45	222	50	27	413	36	6	19		
19	46	219	51	28	418	37	7	17		
20	47	227	52	29	415	38	8	12		
21	48	202	53	30	422	39	9	17		
22	49	23	54	31	411	40	10	6		
23	50	205	55	32	406	計			195	
24	51	119	56	33	401	併設中学校( )は中学のみのもの				
計		6,936	57	34	393	総計			31,880	

平成23年からの( )は男子数

D 学友会 (4月現在)

1. 学友会組織図



2. 平成30年度 部・同好会・愛好会登録状況

部活動名	1年		2年		3年		全体		合計
	女	男	女	男	女	男	女	男	
<b>【運動部】</b>									
バレーボール	7	0	5	0	1	0	13	0	13
バスケットボール	6	0	6	0	4	0	16	0	16
ソフトテニス	6	0	5	0	3	1	14	1	15
ハンドボール	7	0	6	0	5	0	18	0	18
バドミントン	6	5	5	3	5	3	16	11	27
ソフトボール	5	0	6	0	5	0	16	0	16
卓球	6	2	2	0	4	0	12	2	14
テニス	8	2	6	6	6	3	20	11	31
新体操	2	0	1	0	4	0	7	0	7
水泳	6	1	0	1	4	3	10	5	15
剣道	3	1	0	3	4	4	7	8	15
山岳	11	1	10	2	3	4	24	7	31
弓道	8	2	11	5	0	1	19	8	27
陸上競技	7	5	12	3	9	3	28	11	39
サッカー	19	3	8	3	11	4	38	10	48
男バスケット	0	0	0	1	0	2	0	3	3
スキー	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録人数	107	22	83	27	68	28	258	77	335
%	45%	52%	35%	64%	30%	60%	37%	59%	40%
<b>【文化部】</b>									
文学	1	0	3	0	1	1	5	1	6
語学	1	0	5	0	17	0	23	0	23
演劇	3	1	5	0	4	2	12	3	15
写真	11	2	11	0	3	0	25	2	27
数学	1	0	0	0	1	0	2	0	2
理化	1	5	2	4	6	2	9	11	20
放送	8	1	9	2	7	0	24	3	27
生物	4	2	3	0	1	1	8	3	11
地理	3	0	9	3	9	2	21	5	26
合唱	2	0	7	0	6	0	15	0	15
美術	6	1	8	0	10	0	24	1	25
書道	11	0	13	0	17	0	41	0	41
箏曲	1	0	2	0	1	0	4	0	4
管弦楽	11	1	12	1	12	0	35	2	37
ギター	10	1	8	1	9	1	27	3	30
ジャズダンス	23	0	21	0	18	0	62	0	62
漫画文化研究	1	0	13	0	5	0	19	0	19
軽音楽	14	9	12	5	9	10	35	24	59
華道	5	0	3	0	14	0	22	0	22
茶道	8	0	16	0	11	0	35	0	35
囲碁	2	0	3	0	6	2	11	2	13
映画研究	8	0	11	0	0	0	19	0	19
野球観戦	2	1	6	2	5	1	13	4	17
かるた	13	0	3	0	8	0	24	0	24
調理	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JRC	0	0	6	0	6	0	12	0	12
バトントワリング	5	0	7	0	2	0	14	0	14
クイズ研究	0	0	0	0	2	0	2	0	2
登録人数	155	24	198	18	190	22	543	64	607
%	65%	57%	83%	43%	84%	47%	77%	49%	73%

## V 図 書 館

### A 設 備 ( ) は図書整理室の分

閲覧室	210㎡ (30㎡)	手	洗	1	(1)
閲覧座席	60	書架延長		約833m	(約30m)
閲覧机	15	雑誌架		2	
照明電灯	120w × 24	新聞架		1	

### B 在庫図書数

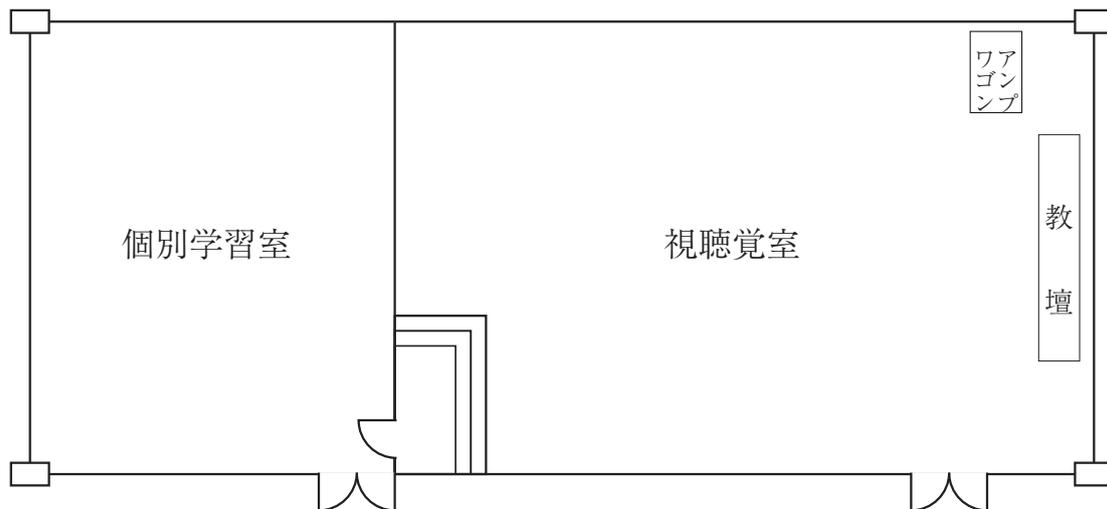
分 類	冊 数	%	分 類	冊 数	%
総 記	1,257	4.0	産 業	453	1.4
哲 学	1,423	4.5	芸 術	1,876	6.0
歴 史	3,837	12.2	言 語	1,102	3.5
社 会 科 学	3,703	11.8	文 学	12,438	39.6
自 然 科 学	4,121	13.1			
技 術	1,229	3.9	計	31,439	100

(登録蔵書数 平成30年3月末)

### C 視聴覚関係

ビデオプロジェクター, 電動スクリーン, ワゴンアンプ (DVD, CD, プレゼンター等を含む),  
ポータブルDVDプレーヤー

付属施設 (視聴覚室150㎡, 個別学習室72.5㎡)

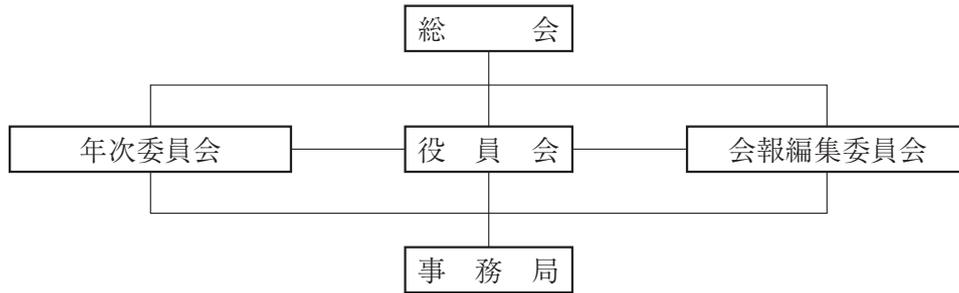






# VII P T A

## A 組 織



平成30年度 P T A役員会

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	増 田 恵美子	2年次委員長	鈴 木 陽 子
参 与	吉野 隆 <small>(校長)</small>	〃 副委員長	久保田 久美子
副 会 長	千代窪 美 紀	3年次委員長	芦 澤 緑
〃	加 藤 由香利	〃 副委員長	中 澤 さおり
〃	小 野 明 子	会報編集委員長	姥 浦 令 子
〃	佐藤 周 <small>(教頭)</small>	〃 副委員長	中 川 佐 智
会 計	阿 部 真由美	〃 〃	後 藤 美 枝
〃	半澤 洋一 <small>(事務室長)</small>	事 務 局 長	加藤 徳善 <small>(教頭)</small>
監 事	井 上 啓 子	書 記	佐 藤 浩 志
〃	高 橋 直 子	〃	早 坂 功 多
〃	小 野 由起子	〃	千 葉 雪 乃
1年次委員長	小 澤 陽 子	〃	渡 邊 美 樹
〃 副委員長	山 崎 美 幸	〃	大沼 浩二 <small>(事務次長)</small>

## B 平成30年度事業計画

### I 学校と家庭の連絡提携

- 1) 総 会——4月21日(土) 午後2:35~
- 2) 年次P T A——〈1・2・3年次〉6月14日(木)
- 3) 役員会(年5回)——4月13日(金), 5月10日(木), 9月13日(木), 12月6日(木),  
2月13日(水) 各午後1:30~
- 4) P T A会報編集委員会(年10回程度)
- 5) P T A会報発行(年2回)——104号(7月中旬), 105号(12月中旬)
- 6) 年次委員会(必要に応じて開催)
- 7) 一斉メール配信の運営

### II 教育施設・教科運営の改善・充実・促進と補助

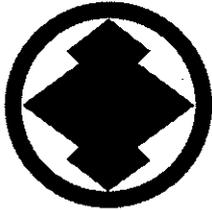
- 1) 環境整備
- 2) 教科運営の充実
- 3) 進路指導の充実

### III 会員の研修

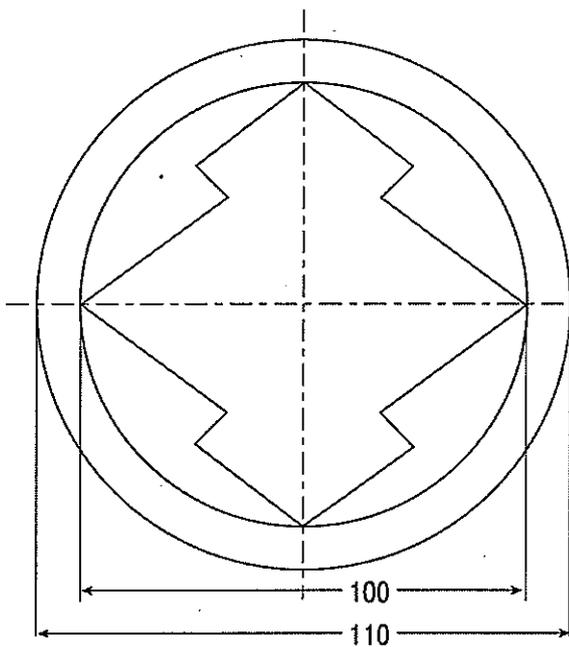
- 1) P T A合唱団発表——9月1日(土) 秋桜祭
- 2) 年次委員会による独自企画
- 3) P T A役員・委員研修会——6月下旬 校内研修会——10月上旬
- 4) みやぎ高校P T Aフェスティバル2018——10月中旬
- 5) 県高校P T A連合会仙塩支部会員研修会——11月
- 6) 第67回東北地区高校P T A連合会郡山大会——7月5日(木)~6日(金)

校章

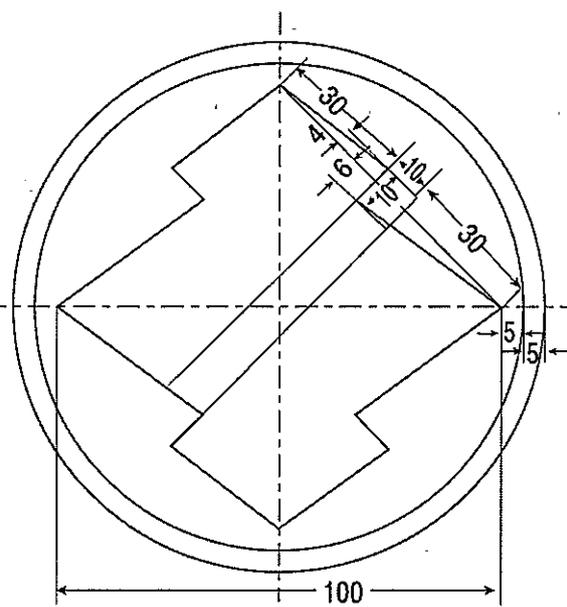
丸に松皮菱



「元寺小路校庭の古松と小笠原家の定紋を顧慮して制定し、貞操、質朴、礼節、明晰、円満等の徳を寓した」と言われているが、正確な文献は残っていない。（明治39年4月制定）



正章（校旗）



略章（応援旗、バッジ）  
（美術科 小山喜三郎）

1978. 12



# The Most Brilliant Senior High School



2018



宮城県宮城第一高等学校

学校案内

普通科 200名 / 理数科 80名

受けつがれる

# 自主自律



創立以来 31,000 名以上の卒業生を世に送り出し、多くの人材が様々な分野の第一線で活躍しています。

今後も、21 世紀のリーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を輩出していきます。

校章



丸に松皮菱

「元寺小路の古松と小笠原家の定紋を顧慮して制定し、貞操、素朴、礼節、明晰、円満等の徳を寓した」と言われている。

(明治 39 年 4 月制定)

## 沿革抄

- 1897 年 (明治 30 年) 「仙台市高等学校」として開校
- 1899 年 (明治 32 年) 校歌制定
- 1904 年 (明治 37 年) 「宮城県立高等女学校」と改称
- 1906 年 (明治 39 年) 校章制定
- 1918 年 (大正 7 年) 「宮城県立第一高等女学校」と改称
- 1919 年 (大正 8 年) 「宮城県第一高等女学校」と改称
- 1948 年 (昭和 23 年) 学制改革により「宮城県第一女子高等学校」と改称
- 1953 年 (昭和 28 年) 現在地に移転
- 1973 年 (昭和 48 年) 服装自由化実施
- 1997 年 (平成 9 年) 創立 100 周年、理数科新設
- 2002 年 (平成 14 年) スーパーサイエンスハイスクールの第 1 期の指定校 (全国で 26 校)
- 2007 年 (平成 19 年) 創立 110 周年、サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト参加
- 2008 年 (平成 20 年) 「宮城県宮城第一高等学校」と改称 (男女共学開始、単位制移行)
- 2015 年 (平成 27 年) 文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」の指定校
- 2016 年 (平成 28 年) 英国シティ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールと姉妹校締結
- 2017 年 (平成 29 年) 創立 120 周年

## 高い進路目標の達成を支援します



詳細情報はコチラ！

### ■単位制のメリットを生かした進路指導が充実しています→P3

▶▶▶多彩な選択科目を設置

### ■来年度から 50 分 7 時間授業に変わります→P7

▶▶▶これまでの 55 分 6 時間より単位数増による充実した授業

### ■学校行事・部活動が充実しています→P5、P6

▶▶▶男子の団体活動も拡大・人材育成を重視

### ■英国姉妹校や台湾台南一中などとの交流が行われています

▶▶▶海外交流事業による国際的視野の醸成

平成 28 年に英国シティ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールと姉妹校締結を行いました。平成 30 年 1 月に姉妹校校長夫妻が来校し、3 月に本校から生徒 9 名が訪英するなど活発な交流活動を行っています (写真)。また、2 月には台南第一高級中学から 69 名の生徒、校長、PTA 会長などが本校を訪問し、本校からも 2 年次研修旅行で希望により台湾を訪れることになっています。



# 特色ある取り組み

## 宮城一高ならではの体験・出会い

### ①コスモス理科実験講座

本校では、県内外の大学や研究施設を生徒が訪問し、講義・実験・見学を行う実験講座を全校生徒対象に希望者を募って行っています。昨年度は、東北大学の他、高工エネルギー加速器研究機構（つくば）や核融合総合研究所（那珂市）などを訪問しました。大学生から大学や研究の様子を直接聞く機会もあり、参加した生徒は科学に対する興味・関心が大いに高まったようです。



### ②東北大学等講義聴講

放課後、東北大学川内キャンパス等へ赴き、現役の大学生と一緒に大学の先生の講義を受講します。その成果は本校では学校設定科目の単位として認定しています。  
1年次7月には、総合学習の一環として、独自見学マニュアルを作成し、オープンキャンパスに参加します。



### ③CCI (コスモス・カレッジ・インターンシップ)

各大学で「面白い授業！」をしている先生方を、本校の卒業生や教職員が独自のネットワークを駆使し、直接お願いをして実施するのが本校の大学出張講義「CCI」です。CCIで、もう一つ上の「大学での講義・研究の面白さ」が体験できます。



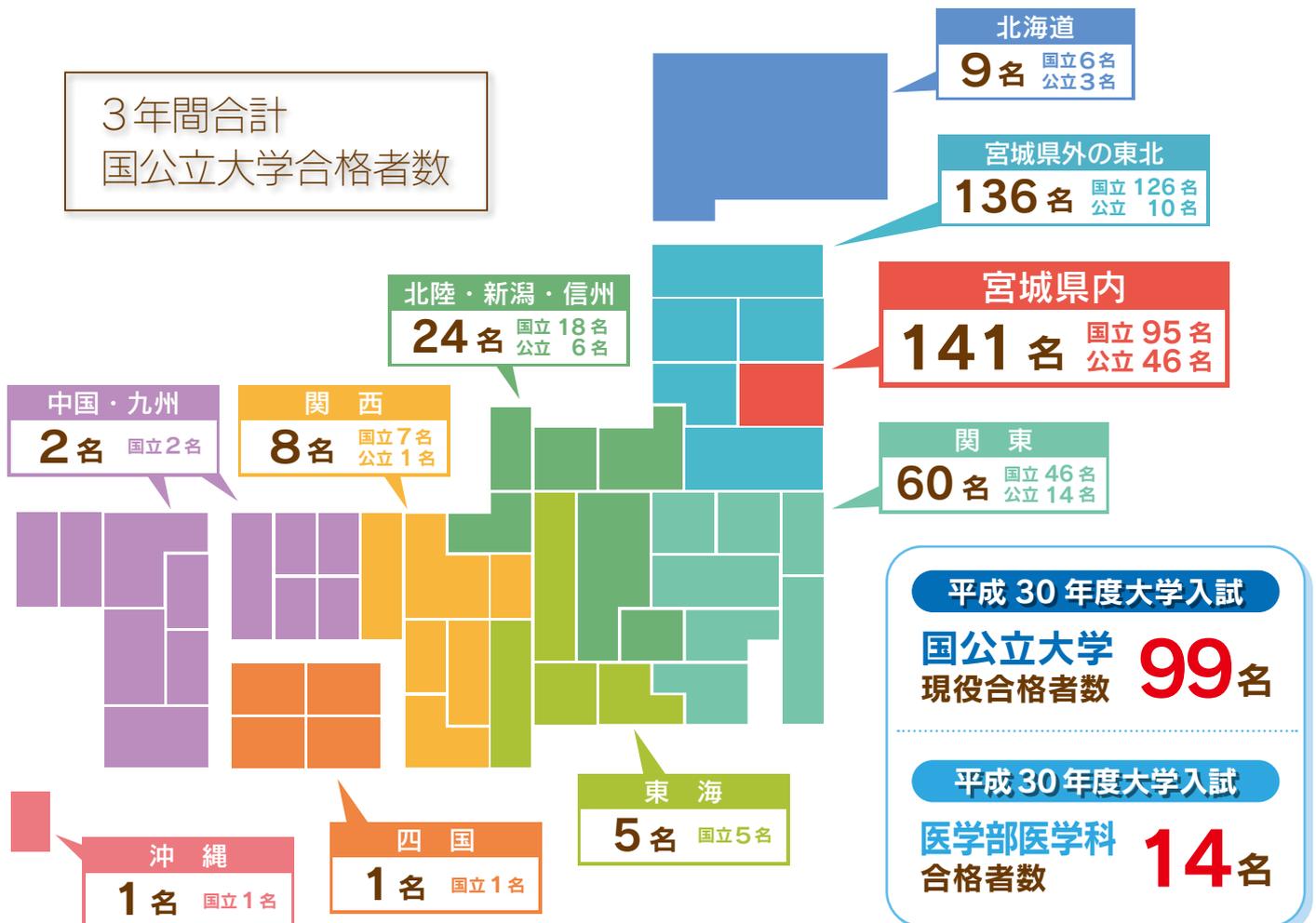
### ④体験型研修旅行

2年次で行っている「研修旅行」では、研修先として従来の関西方面に加え、今年度から海外の台湾も希望により選択できるようになりました。台湾では台南一中との交流プログラムが組まれています。



# 進路状況

宮城第一高校として男女共学になった後も、国公立大学や難関私立大学等に多数の合格者を輩出しています。



# 普通科

## 教育課程表 ※下の表は平成31年度入学生のもの（予定）であり、今後変更されることもあります。

1年次は、高校を卒業するために必ず履修しなければならない科目を中心に学習しますので、クラス単位の授業がほとんどとなります。基礎学力の充実を図りながら各自の進路を見極めることができるように、2年次から選択科目が増え、3年次では多様な設定科目からの選択となります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年次			国語総合			倫理		数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	(音・美)	芸術Ⅰ	英語Ⅰ	コミュニケーション	英語表現Ⅰ	家庭基礎	情報の科学	総合	L	H	R										
2年次	現代文B	政治経済		数学ⅡⅢ			数学B	体育	保健	英語Ⅱ	コミュニケーション	英語表現Ⅱ	【選択科目】 進路希望によって授業を選択（文系・理系クラス別） 2年次では計13単位が選択科目となります。														総合	L	H	R					
3年次	現代文B	体育		英語Ⅲ	コミュニケーション	英語表現Ⅱ	【選択科目】 進路希望によって授業を選択（文系・理系クラス別） 3年次では計22単位が選択科目となります。 学校設定科目として、古典文学研究、国際政治史、英語探究、実践数学、デザイン・素描などがあり、進路にあわせて選択します。														総合	L	H	R											

# 理数科

## 教育課程表 ※下の表は平成31年度入学生のもの（予定）であり、今後変更されることもあります。

理科・数学を普通科よりも多くの時間をかけて学習するという理数科の特性から、普通科に比べてクラス単位の授業が多くなります。将来、医学・理学・工学・薬学・農学等の理科系への進学を希望している人、理科・数学への関心を持つ人に適しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年次			国語総合			世界史A		数学Ⅰ数		理数化学	理数生物	理数物理	体育	保健	(音・美)	芸術Ⅰ	英語Ⅰ	コミュニケーション	英語表現Ⅰ	家庭基礎	総合	L	H	R											
2年次	現代文B	古典B	現代社会	選択地歴		数学Ⅱ数	特選数論	理数物理	理数化学	理数生物	課題研究	体育	保健	情報の科学	英語Ⅱ	コミュニケーション	英語表現Ⅱ	【選択科目】 進路希望によって授業を選択 地歴・公民・理数数学特論・理数理科の中から17単位を、進路にあわせて選択します。										総合	L	H	R				
3年次	現代文B	体育		英語Ⅲ	コミュニケーション	英語表現Ⅱ	数学Ⅱ数	【選択科目】 進路希望によって授業を選択 地歴・公民・理数数学特論・理数理科の中から17単位を、進路にあわせて選択します。														総合	L	H	R										

## 卒業生からのメッセージ



手代 那央子

現大学：学部  
大阪大学外国語学部  
出身中学校  
成田中学校  
高校での所属部活動  
ハンドボール部

### ■ 次の夢を見つける場 ■

私が大阪大学に行きたいと思えたのは、宮城一高の自由な校風があったからだと思います。自由の中で、一人一人の良さを伸ばし、育ててくださる先生方は、とても大きな存在でした。また、多様な友人と交流し絆を深めてゆく上で、夢に共感したり素直に尊敬したりできました。高校時代の出会いは、本当に一生の宝物です。私は今でも、宮城一高に入って本当に良かったと思っています。宮城一高に入って、新たな夢を見つけてほしいです。夢が見つかったなら、それを実現させるモチベーションにもつながるはずです！



金井 美沙紀

現大学：学部  
国際教養大学国際教養学部  
出身中学校  
成田中学校  
高校での所属部活動  
書道部、漫画文化研究部

### ■ 人として成長できる場所 ■

宮城一高は、他の高校よりも自由な校風で有名ですが、これは生徒一人一人の自主自律がなければ成り立たないことなのです。生徒自身が自ら考え行動するチャンスがあることにより、人として成長することができます。また、宮城一高はイギリスに姉妹校があり、私は第一回研修生として現地を訪問しました。学校体験やロンドン市内の研修などを通して、自分の見識を広げることができたと思います。どんな悩みも親身になって聞いてくれる優しい先生方や、個性あふれる素晴らしい友人たちとの出会いは、私の人生の宝物です。



大森 真琴

現大学：学部  
東北大学法学部  
出身中学校  
五橋中学校  
高校での所属部活動  
卓球部

### ■ 自主性を育む場所 ■

宮城一高は自由な学校です。校則もあつてないようなものです。しかし自主自律の校風が示すように自由な中でも自分の行動に責任をもち積極的に動くことが求められます。実際に多くの行事では、先生が意見してくれることは少なく、仲間と時にぶつかりながらも協力して一から作り上げます。行事が終わる毎に自分がどんどん人間として成長するのが分かります。宮城一高でどのような3年間を過ごすのかは全て生徒の自主自律にゆだねられています。宮城一高ならば、自分の手で充実した素晴らしい3年間を作り上げることができるでしょう。



今野 佑磨

現大学：学部  
東北大学工学部  
出身中学校  
大和中学校  
高校での所属部活動  
野球観戦愛好会

### ■ 大切な経験 ■

宮城一高は生徒一人一人の自主性を大切にしてくれます。宮城一高には他の進学校より、充実した学校行事の中で自分の考えを表現したり、逆に様々な考え方を耳にする機会が多くあります。その中でかけがえのない人間関係を築いていくとともに、自分を確立していくきっかけになっていくと思います。私自身、素敵な仲間や先生方に囲まれて、勉強や部活、学校行事を充実させていくことができました。これから高校進学を考える皆さん、宮城一高は勉強だけでなく、楽しむことにも一生懸命です。ぜひ入学して最高の3年間にしてください！

# 主な年間行事

学習活動とともに、ホームルーム活動、学校行事などの活動にも積極的に取り組んでいます。幅広い視野を育て、仲間との友情を深めながら充実した時間を過ごしています。

April

4月

- 始業式・入学式
- 対面式・部紹介
- 創立記念日
- 1年オリエンテーション
- 春季体育大会



May

5月



- 高校総体
- 総体報告会
- 前期中間考査

June

6月

- 県総体壮行式
- 校友会総会
- 2年理数科出前授業
- 防災訓練①

July

7月

- 学校公開①
- 夏季休業
- 1～3年課外講習
- 保護者面談
- 学校説明会

- 秋桜祭
- 前期末考査
- CCI (コスモスカレッジインターナショナル)
- 校友会選挙
- 後期始業式

September

9月



August

8月

- 夏季休業
- つくば宿泊研修
- 保護者面談 (3年)



October

10月

- 秋季体育大会
- 1・2年理数科施設見学会
- 校友会総会
- 理数科説明会



November

11月

- 防災訓練②
- 1・2年後期中間考査
- 2年研修旅行
- 3年後期考査



December

12月

- 1年理数科講演会
- 2年理数科講演会
- 1～3年課外講習
- 冬季休業



- 卒業式
- 高校入試後期選抜
- 合格者説明会
- 学年末休業
- 県理数科課題研究発表会
- 1年キャリアセミナー
- 修業式
- 離任式

March

3月



February

2月

- 高校入試前期選抜
- 同窓会入会式
- 2年理数科課題研究発表会
- 1・2年年度末考査
- 防災訓練③

January

1月

- 冬季休業
- 3年センター試験

# 部活動

心と体を鍛え自分を高める部活動は、学習活動とともに高校生活の両輪です。宮城一高の自由な校風の中で、一人ひとりが自分の個性、可能性を大いにのばし実績を上げています。

## 運動部

バレーボール	新	体	操
バスケボール(女子)	水	泳	
ソフトテニス	剣	道	
ハンドボール	山	岳	
ソフトボール	弓	道	
バドミントン	陸	上	競
卓球	サ	ッ	カ
テニス	ー		



## 文化部

文芸	学	漫	画	文	化	研	究
演劇	軽	音	楽				
美術	茶	道					
書道	管	弦	楽				
箏華	曲	写	真				
生地	物	数	理				
合唱	学	放	送				
ジャズダンス	囲	碁					



## 同好会

野球観戦	か	る	た
映画研究			



## 愛好会

調理	パ	ト	ウ	リ	ン	グ
JRC	ク	イ	ズ	研	究	
バスケボール(男子)	ボ	ー	ド	ゲ	ー	ム

Science and Mathematics

## 理数科

- ①自然科学（理科・数学）について、基礎基本から応用・発展的な内容までじっくりと幅広く学習できます。
- ②実験・観察・演習を通して、自然科学の原理・法則を系統的に学ぶことができます。
- ③将来、理工系・医療系・生命科学（農学）系など理系学部への進学を希望している生徒に適しています。

### 理数科独自の特色ある行事

#### 1年次

- ・施設見学会（10月）
- ・理数科講演会（12月）



施設見学会 みやぎ復興パーク 宮城県農業・園芸総合研究所

#### 2年次

- ・出前授業（5月）
- ・施設見学会（10月）
- ・理数科講演会（12月）



課題研究 グループ研究を通して科学の方法—仮説・実験・検証を学びます。主体的・探究的な学びにより科学的思考力・課題解決能力を身につけ、論文作成やプレゼンテーションで表現力も養います。

理数科ではこの他に「研究室訪問」やLHRを活用した「ミヤイチ☆キャンパス」「プロフェッショナルトーク」など特色ある行事を実施しています。高大連携の行事や、最先端の研究をしている大学の先生の講義・自然科学の分野で活躍している方の講話などを聴く機会も豊富で、学部選択・大学進学から将来の生き方に至るまで視野を広げてじっくりと考えることができます。

# Q & A

宮城第一高校についてもっと知りたいこと、  
分からないことを Q&A 形式で詳しく説明します。

## Q 授業時間は何分ですか？

A 来年度から 50 分授業 7 校時となり、授業終了時間は 16:10 になります。これは現 1 年次生が 3 年次の時に導入される大学入学共通テスト (2021.1) や新学習指導要領 (2022 年度より) にむけてしっかり対応していくため、教育課程 (カリキュラム) を変更したからです。

## Q 普通科理系、理数科の違いは？

A どちらも理系分野への進学を主にしていますが、理数科には普通科では行われない行事や講演会があります。カリキュラムにも専門科目 (理数数学など) や課題研究といった理数科ならではの科目があり、特に理科と数学では 1 年次のうちから幅広い分野を学習することを特徴としています。普通科では 1 年次の 6 月に文系・理系の選択を行います。

## Q 理数科に入学しても文系学科に進学することは可能ですか？

A 理数科入学後に文系希望に変わった生徒 (文転者) に対しては、3 年次の数学、社会、理科等の選択科目において可能な限り配慮しています。現実に、文転者は毎年数名いますが、東北大学をはじめとする国立大学文系学部合格しています。

## Q 学校行事はありますか？

A 4 月、10 月に行われる体育大会、7 月の歌合戦、9 月の文化祭、2 年次研修旅行など、様々な学校行事が行われています。これらの行事の運営のほとんどが生徒主体の委員会が計画され、実施されていることが宮一の特徴です。4 月の体育大会は入場行進の際、仮装するのが伝統になっています。1 年次は入学後、先輩方の仮装に宮一の凄さを実感するようです。

## Q 歌合戦とは何ですか？

A 毎年 7 月に行われる、各クラス対抗の行事です。クラス毎にテーマを決め、曲・衣装・背景等を自作し、歌と踊りとパフォーマンスを披露する本校最大の学校行事です。

## Q 修学旅行はありますか？

A 本校では 2 年次で研修旅行という行事があります。今年度は 2 年次 280 名のうち約 160 名が台湾へ、約 120 名が関西方面に行くことになっています。時期は 11 月末～12 月初旬、台湾か関西かは生徒の希望で選択できます。台湾では台南第一高級中学との交流会、関西では京都大の特別授業参加など様々なことにチャレンジしています。

## Q 海外研修はありますか？

A 本校では 2 年次で研修旅行 (台湾) に行くことが可能です。また本校は 2016 年 12 月 City of London Freeman's School と姉妹校締結を行い、2018 年 3 月に生徒 9 名をイギリスに派遣しています。今後も海外の交流等は継続される予定です。

## Q 男子生徒は何人くらい入学していますか？

A 平成 30 年度は 1 年生 42 名 2 年生 43 名 3 年生 47 名 計 132 名が在籍しています

## Q 男子生徒の部活動の状況を教えてください。

A 運動部については、サッカー、バドミントン、弓道、剣道、水泳、山岳、陸上競技、テニス、卓球の 9 つの部に所属し、活動しています。運動部・文化部ともに男子の活動の場が増えています。

## Q 制服はないのですか？

A ありません。極端に派手になったり華美になっている生徒はほとんどいません。本校に校則や制服といった決まりはありません。校風として「自主自律」は受け継がれています。つまり、服装などに制約はありませんが、勉強や部活、それぞれの場に適した高校生らしさを自分でしっかり考えることが求められています。

## Q 普通科と理数科の入試の内容や方法は違いますか？

A (ア) 募集定員：普通科 前期選抜 60 名 後期選抜 140 名  
理数科 前期選抜 32 名 後期選抜 48 名  
(イ) 内容：前期選抜 普通科・理数科共通で学力検査 (国数英)  
+ 学校独自問題  
後期選抜 学力検査 (国数社英理)

## Q 第 2 志望とは何ですか？

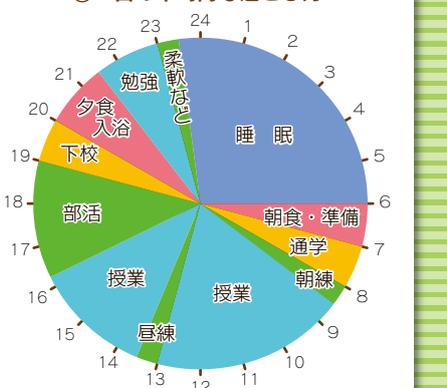
A 宮城第一高校の後期選抜では普通科は理数科を、理数科は普通科をそれぞれ相互に第 2 志望とすることができます。出願するとき、希望者は忘れずに願書に記入してください。ただし、第 2 志望することで受験で有利になったり不利になったりすることは一切ありません。

### 理数科 2 年 久保田 樹里



部活動 ジャズダンス  
出身中 高森中学校

#### ① 1 日の平均的な過ごし方



#### ② 学校生活の感想

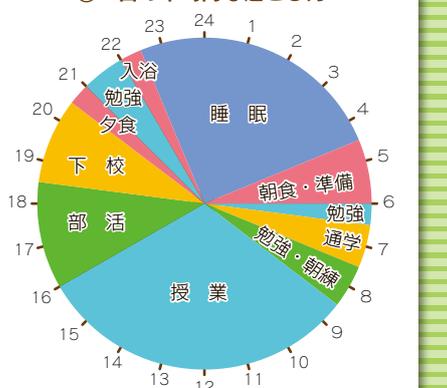
私の部はほとんど休みがなくとても忙しいですが、通学の時間や休み時間などのスキマ時間を使って少しずつ勉強するようにしていました。高校は中学とは比べものにならないくらい忙しいですが、自分なりに工夫することで勉強と部活が両立できると思います。

### 普通科 2 年 阿部 綺星



部活動 陸上競技部  
出身中 巨理山下中学校

#### ① 1 日の平均的な過ごし方



#### ② 学校生活の感想

中学生時代とは比べられないくらい忙しくなりますが、時間の使い方を工夫したり、慣れて何とかこなせるようになります！通学時間や休み時間等の時間を効率良く使えば、部活と勉強の両立は不可能ではありません！



## 募集定員

普通科 200名 / 理数科 80名

- 前期選抜の割合  
普通科30%以内 理数科40%以内
- 後期選抜  
普通科と理数科相互に第2志望可能

宮城第一高等学校は、昨年百二十周年を迎えた長い歴史の中で培われてきた校風のもと、これからも学習はもちろんのこと、学校行事や部活動、ボランティア活動などに積極的に参加しようとする意欲にあふれる生徒諸君の入学を期待しています。

三年間の高校生活はかけがえのないものです。何事にも意欲的に取り組む先輩や同級生と共に、国際交流活動等を通して、幅広い分野に目を向けた人々と、実りある高校生活にしましょう。

そんな君たち、一人ひとりの頑張りが宮城第一高等学校の新たな伝統となります。

## アクセス

地下鉄東西線の開業によってより一層通いやすくなりました

JR 仙台駅から			
バス	【バスプール内】		
	9・10番のりば	大学病院経由交通公園・川内(営)行→宮城一高前下車	
	9・10番のりば	大学病院経由で大崎八幡神社を通るもの (作並温泉行、定義行など)→八幡一丁目下車	
	15番のりば	実況営業所前行、国見ヶ丘一丁目行→八幡一丁目下車	
	所要時間	約20分から40分(渋滞時)	
地下鉄	東西線：仙台駅→国際センター駅下車(3駅目、約4分)		
	南北線：仙台駅→北四番丁駅下車(3駅目、約5分)		
地下鉄東西線 国際センター駅から			
自転車	所要時間	徒歩	所要時間
	約6分		約15分
地下鉄南北線 北四番丁駅から			
バス	【二日町北四番丁バス停 1番のりば】		
		大学病院経由交通公園・川内(営)行→宮城一高前下車	
		大学病院経由作並温泉、定義、白沢車庫、みやぎ台・大國神社、赤坂・畑前北、折立・西花苑など大崎八幡神社を通るもの→八幡一丁目下車	
	所要時間	約10分から15分	
自転車	所要時間	徒歩	所要時間
	約10分		約25分



# 宮城県宮城第一高等学校

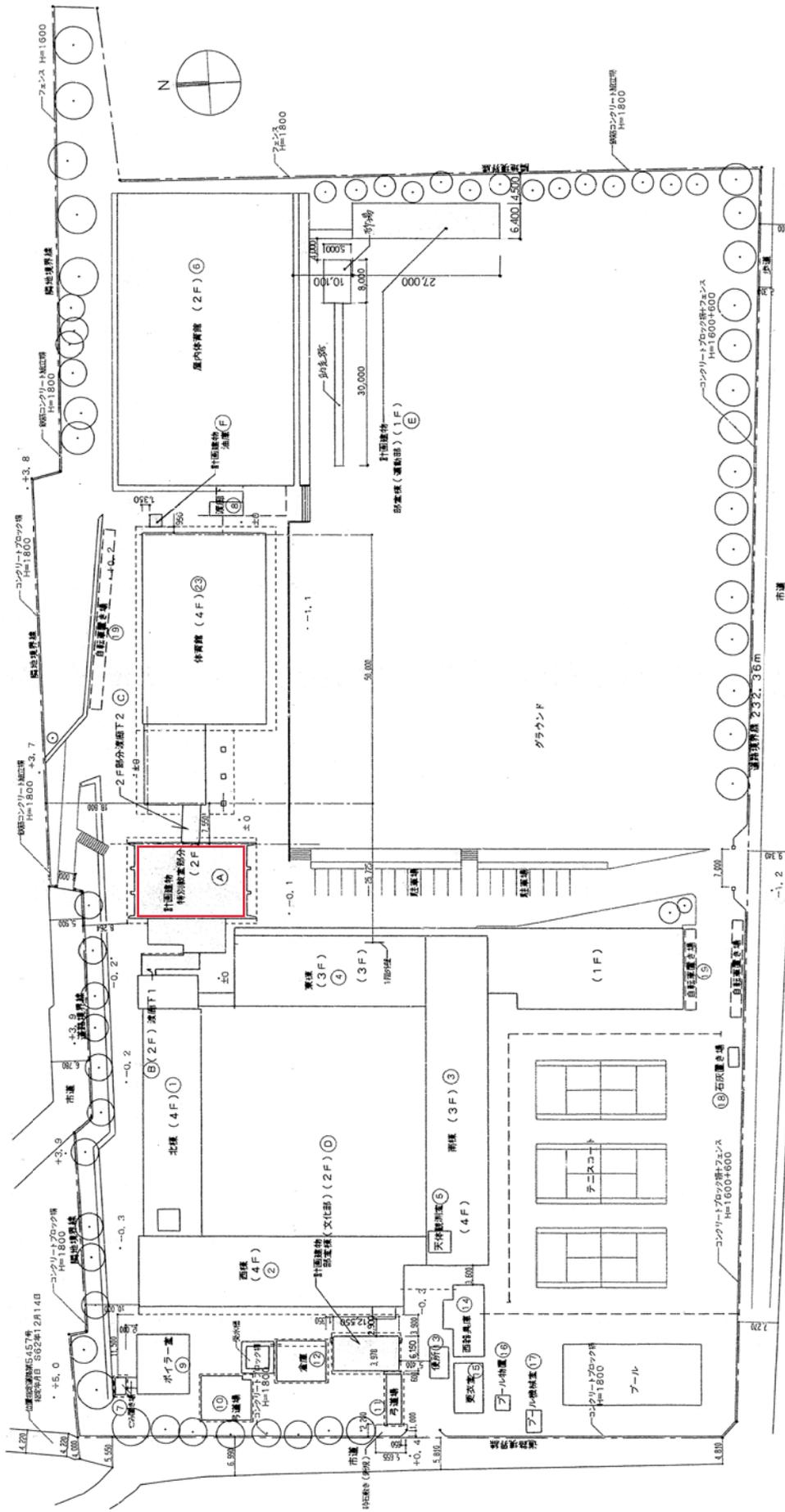
<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

〒980-0871 仙台市青葉区八幡 1-6-2 TEL 022-227-3211 FAX 022-227-3213









配置図 (1:500)

棟番号	名称・用途	建設面積	延床面積	建築総量	種別	用途	構造	確認申請年	備考	種別	名称・用途	建設面積	延床面積	建築総量	種別	用途	構造	確認申請年	備考	
1	北棟	460.00	1660.00	73.22	RC造	特別教室部分	S造	S.41		A	特別教室部分	391.56	730.33	391.56	S造	特別教室部分	S.53			
2	西棟	629.61	2999.19	49.68	RC造	更衣室	W造	S.43		B	床下1	30.74	61.48	30.74	S造	床下1	S.57			
3	南棟	498.92	1627.52	6.84	RC造	校舎部分	プール付	S.42		C	床下2	20.57	20.57	20.57	S造	床下2	S.57			
4	東棟	1122.23	1970.65	7.02	RC造	プール付	RC造	S.41		D	部室棟(文化部)	74.67	91.07	74.67	S造	部室棟(文化部)	S.57			
5	天体観望	16.64	16.64	9.94	S造	天体観望	W造	S.46		E	部室棟(運動部)	167.10	134.29	167.10	S造	部室棟(運動部)	S.57			
6	屋内体育館	1643.00	1968.22	89.10	S造	石炭庫(3棟)	RC造	S.46		F	油庫	4.84	4.84	4.84	CB造	油庫	S.57			
7	二カ所	6.20	6.20	17.95	RC造	中央倉庫	RC造	S.46			合計	689.48	1042.58	689.48		合計				
8	入り口	7.56	7.56	17.95	S造	油庫	RC造	H.8			合計	6731.09	14260.81	6731.09		合計				
9	ポイラー	81.00	81.00	4.80	RC造	倉庫	RC造	S.59			解体建物					解体建物				
10	分室棟(科棟)	71.28	71.28	1178.92	S造	特別教室部分	RC造	S.59			解体建物					解体建物				
11	分室棟(科棟)	24.84	24.84	6239.48	CB造	解体建物	RC造	S.59			解体建物					解体建物				
12	倉庫	66.24	66.24	197.87	W造	解体建物	RC造	S.57			解体建物					解体建物				
13	併所	16.00	16.00	604.61	CB造	解体建物	RC造	S.57			解体建物					解体建物				
													解体建物		RC造		S.53			
													解体建物		RC造		H.8			
													解体建物		RC造		S.59			
													解体建物		RC造		S.57			

A 9教15-001号 一女高特別教室増築その他工事

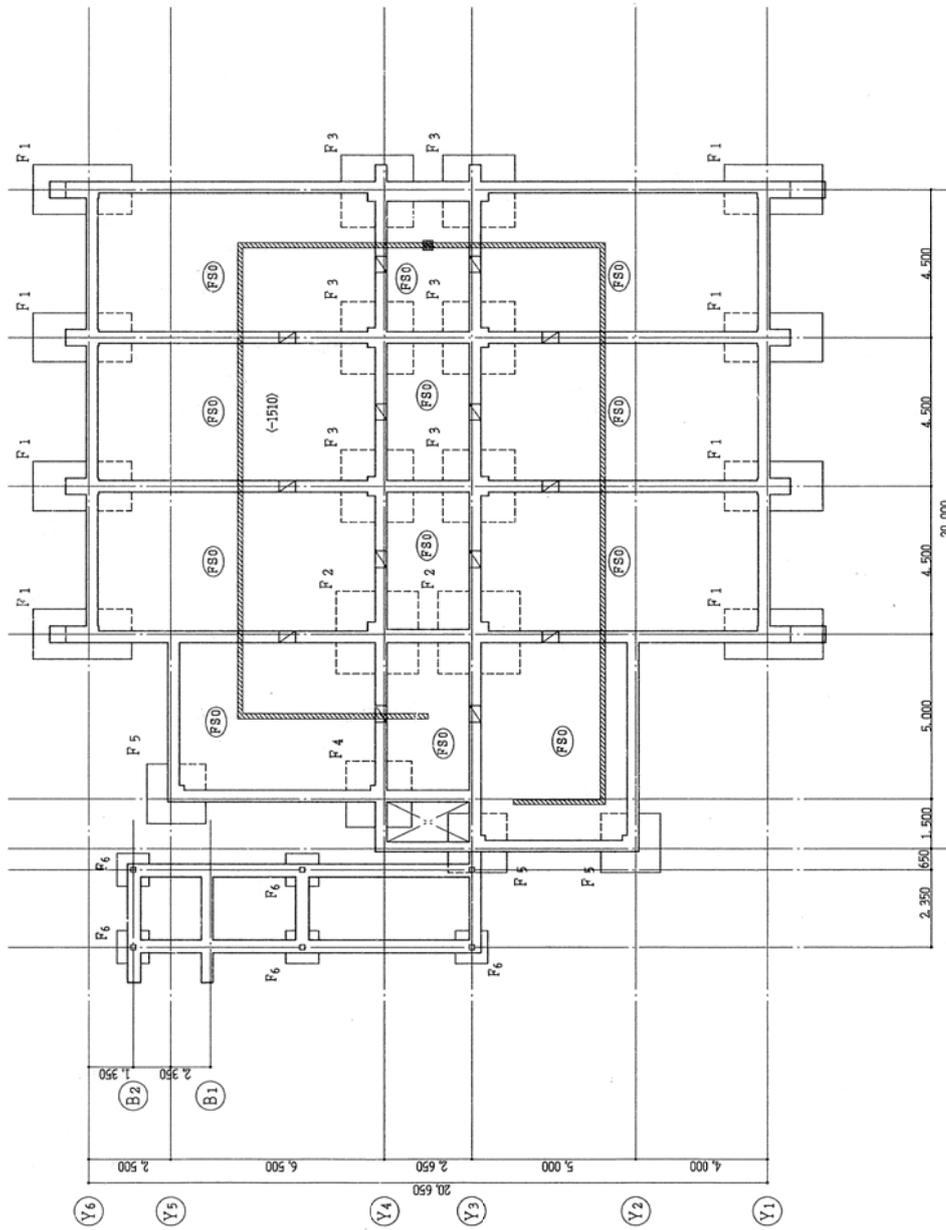
監理 蔵王建築設計事務所  
 代表取締役 蔵王 敬一  
 建築士 蔵王 敬一  
 登録番号 55288

106

SCALE 1:500  
DATE  
DRAWN BY







基礎伏図・ピット床伏図 1/100

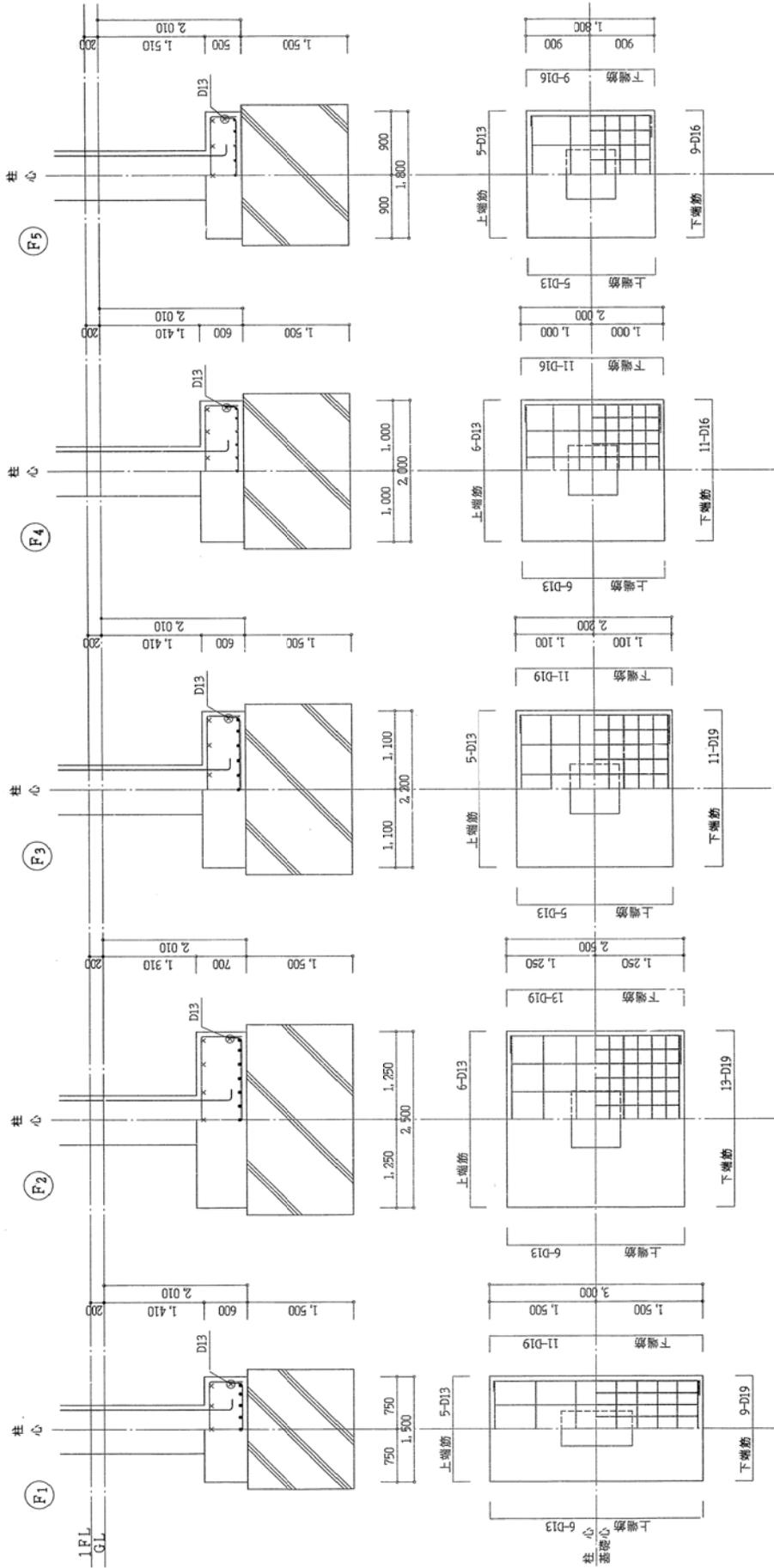
- ・F.L.=G.L.+200
- ・< >内は、1.F.L.からのスラブ天端位置を示す。
- ・スラブ天端と梁下層の異なる部分は、梁打のこと。
- ・ピットスラブ配筋は着打によりとる。
- ・漢字(上)100#を各スパンに2箇所づつ敷ける。
- ・配筋は、鉄筋(300×300×300)を示す。
- ・配筋は、鉄筋(500×500)を示す。
- ・配筋は、鉄筋を示す。
- ・基礎心柱心は一致させること。

S	9教15-001号 一女高特別教室増築その他工事	図名	1/100
	特別教室棟 基礎伏図・ピット床伏図	図番	
104	株式会社 威王建設事務所	作成者	
	〒12288 東京都足立区 1-1-1	承認者	



基礎リスト 1/40

・地盤 ラップルコンクリート⑥ 1500とする。

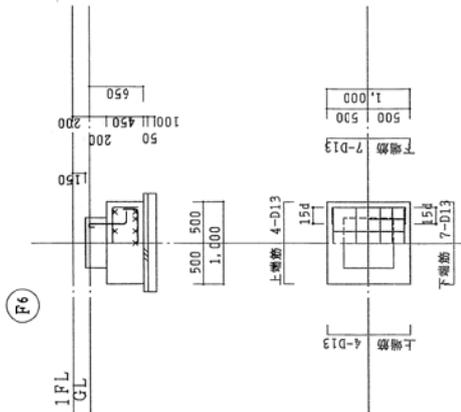


S	9教15-001号 一女高特別教室増築その他工事	基礎リスト	1/40
108	株式会社 威王建設設計事務所 東京都中央区新富1-1-1 電話番号 33288	基礎リスト	1/40

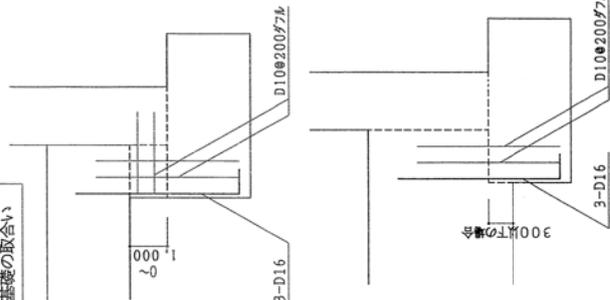


基礎リスト 1/40

・地盤 ラップコンクリートとする。



地中梁と基礎の取合い



※300以上重ならない場合必要

地中梁リスト 1/40

・巾止筋φD10は、φ1000以内に入れる。  
・開口部配筋位置は、伏図に依る。

・（ ）内は1FLからの地中梁天端を示す。

符号	位置	断面	FG1A	FG2	FG3	FG4	FG4A	FG5	FG5A
			全断面 (-110)	開口部 (-10)	中央 (-10)	全断面 (-10)	全断面 (-160)	全断面 (-10)	全断面 (-110)
B x D			350 x 1,500	400 x 1,500	400 x 1,500	400 x 1,500	400 x 1,350	350 x 1,500	350 x 1,400
上端筋			4-D22	4-D22	3-D22	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22
下端筋			4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22
腰筋			6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13
助筋			□-D13-φ250	□-D13-φ250 □-D13-φ100	□-D13-φ200	□-D13-φ150	□-D13-φ150	□-D13-φ250	□-D13-φ250
符号			FG6	FG7	FG8 (FG8A)	FG9	FG10	FG10	FG10
位置			全断面 (-10)	全断面 (-10)	全断面 (-170)	全断面 (-150)	全断面 (-150)	全断面 (-150)	全断面 (-150)
断面									
B x D			350 x 1,500	500 x 1,000	FG8A (-300) 350 x 700	400 x 600	400 x 600	400 x 600	400 x 600
上端筋			4-D22	4-D22	3-D22	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19
下端筋			4-D22	3-D22	3-D22	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19
腰筋			6-D13	4-D13	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
助筋			□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D10-φ150	□-D10-φ150	□-D10-φ150	□-D10-φ150	□-D10-φ150
符号			FB1	FB2	FB3				
位置			全断面 (-150)	全断面 (-400)	全断面 (-150)				
断面									
B x D			250 x 600	350 x 600	300 x 600				
上端筋			2-D19	4-D19	3-D19				
下端筋			2-D19	4-D19	3-D19				
腰筋			2-D10	2-D10	2-D10				
助筋			□-D10-φ250	□-D10-φ150	□-D10-φ200				

S	9教15-001号 一女高特別教室増築その他工事
109	特別教室棟 基礎リスト・地中梁リスト
	森 威王建築設計事務所
	東京都中央区 一軒家ビル
	SCALE 1/40
	DATE
	DRAWN BY



宮城第一高改築設計  
公募型プロポーザル判定委員会設置要綱

(設置)

第1条 宮城第一高改築設計業務を委託するに当たり、より優れた設計者を公募型プロポーザルによって選定するために、「宮城第一高改築設計公募型プロポーザル判定委員会」(以下「判定委員会」という。)を設置する。

(判定委員会の所掌事務及び報告義務)

第2条 判定委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) プロポーザル方式の実施要項等の策定に関すること。
  - (2) 公募型プロポーザル方式による設計者の評価・選定に関すること。
  - (3) プロポーザルに係る提案書類等を審査し、設計候補者を選定すること。
- 2 判定委員会は、前項の選定結果を判定結果報告書により知事に報告する。

(組織)

第3条 判定委員会は判定委員5名をもって構成する。

- 2 判定委員は、別表に掲げる者を充てる。

(任期)

第4条 判定委員の任期は、この要綱の施行の日から平成31年3月31日までとする。

(会長及び副会長)

第5条 判定委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、判定委員の互選によって定める。
- 3 会長は会務を総理し、判定委員会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 判定委員会の会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

- 2 判定委員会の会議は、判定委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 判定委員会の議事は、出席した判定委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会長は必要に応じて、判定委員会の会議に判定委員以外の者の出席を求めることができる。

(秘密の保持)

第7条 判定委員は、審査上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(責務)

第8条 判定委員は、プロポーザルに参加する設計者に対して援助を行ってはならない。

(庶務)

第9条 判定委員会の庶務は、土木部営繕課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、判定委員会の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成30年8月9日から施行する。
- 2 この要綱は、平成31年3月31日限り、その効力を失う。

別表（第3条関係）

宮城第一高改築設計公募型プロポーザル判定委員会  
判定委員名簿（敬称略）

※凡例：◎会長 ○副会長

※	分野	区分	氏名	所属・役職
◎	建築	学識経験者	いししい さとし 石井 敏	東北工業大学 工学部建築学科 教授
	建築	行政（国）	きさきき しょういち 佐々木 章一	国土交通省 東北地方整備局営繕部整備課 課長
	教育	行政（県）	たかはし たけひこ 高橋 剛彦	宮城県 教育庁 教育次長
	教育	施設管理者	よしの たかし 吉野 隆	宮城県 宮城第一高等学校 校長
○	建築	行政（県）	みうら としのり 三浦 俊徳	宮城県 土木部 技監兼次長（技術担当）